

調査結果の分析

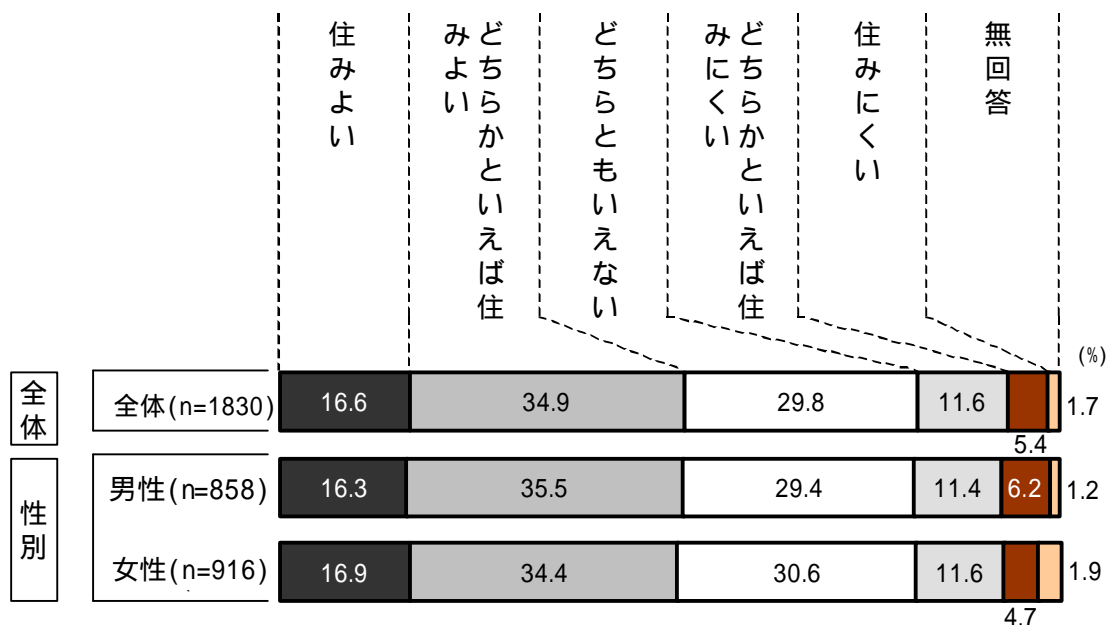
1 居住環境について

(1) 銚田市の住みごころ

『住みよい』が半数を超す（「住みよい」+「どちらかといえば住みよい」=51.5%）、「どちらともいえない」は約3割。

問1 銚田市の住みごころはいかがですか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】		
1 住みよい	16.6 %	
2 どちらかといえば住みよい	34.9	
3 どちらともいえない	29.8	
4 どちらかといえば住みにくい	11.6	
5 住みにくい	5.4	
無回答	1.7	[n = 1,830]

< 図表 1 - 1 > 銚田市の住みごころ (全体・性別)

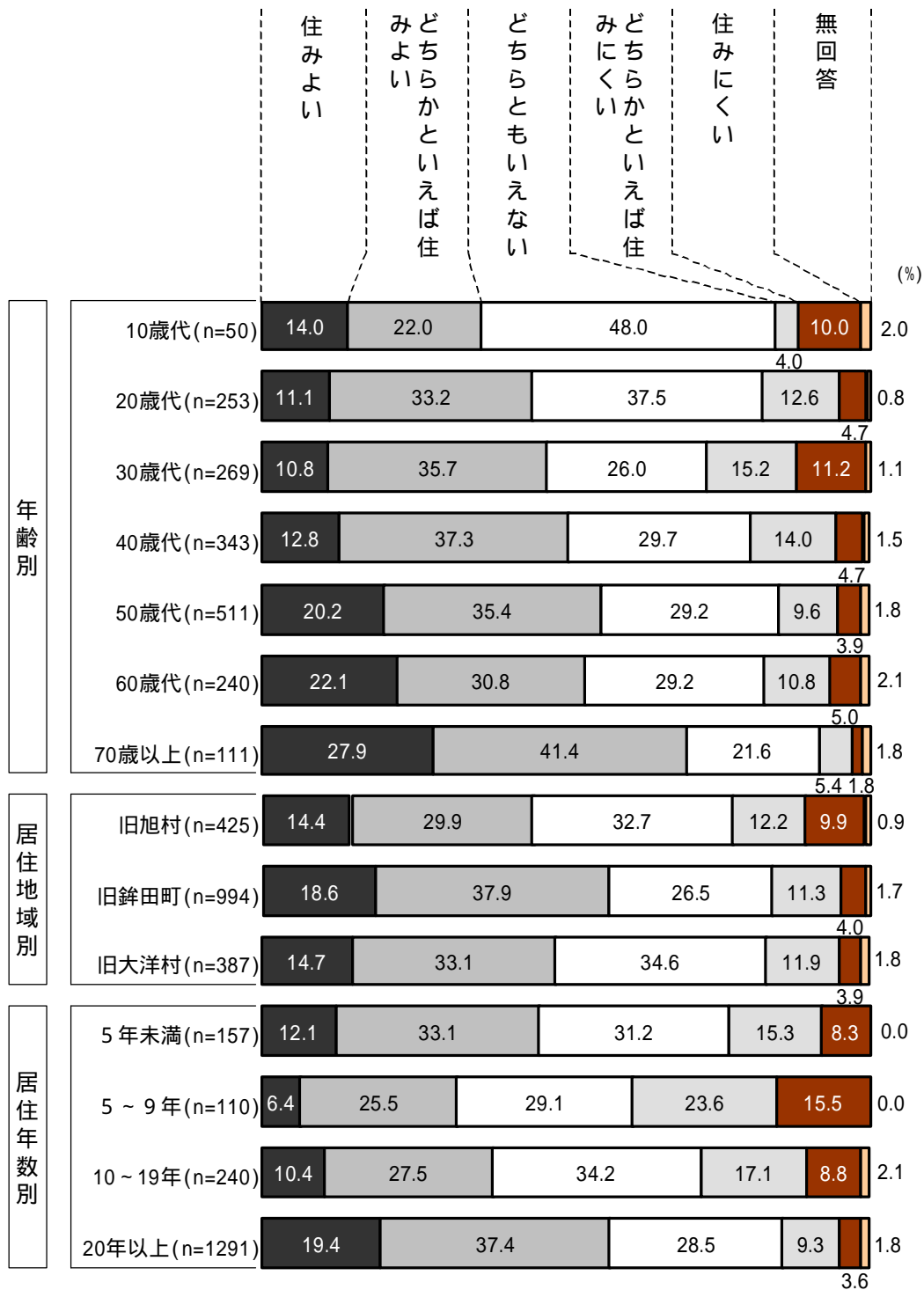


【全体】銚田市の住みごころについては、「どちらかといえば住みよい」が最も高く 34.9%、次いで「どちらともいえない」が 29.8%となっている。

また、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい』が 51.5%、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい』が 17.0%となっている。

【性別】性別による大きな差異はみられない。

< 図表 1 - 2 > 銚田市の住みごころ (年齢別・居住地域別・居住年数別)



【年齢別】70歳以上で『住みよい』が69.3%と、年齢が上がるにつれて(60歳代を除き)高くなっている。

【居住地域別】旧銚田町地域で、『住みよい』が56.5%と、他の2地区(旧旭村:44.3%、旧大洋村:47.8%)より高くなっている。

【居住年数別】20年以上で『住みよい』が56.8%と高くなっている。一方、5～9年では『住みにくい』が39.1%と、『住みよい』(31.9%)より高くなっている。

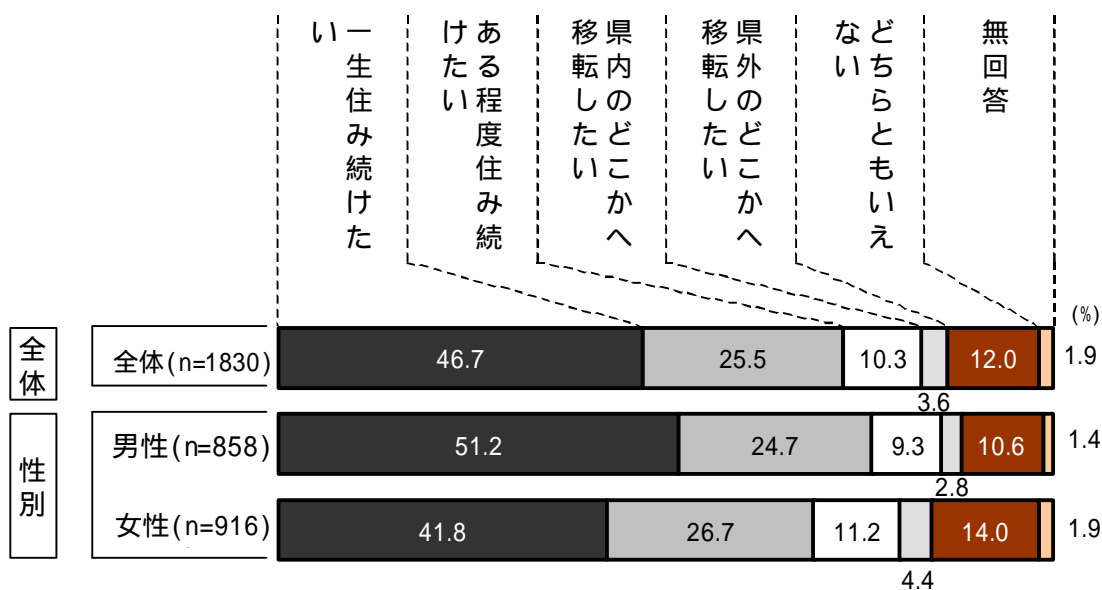
(2) 居住継続意向

『住み続けたい』が7割を超す(「一生住み続けたい」+「ある程度住み続けたい」=72.2%)。『移転したい』(「県内のどこかへ移転したい」+「県外のどこかへ移転したい」)は13.9%。

問2 あなたは、今後も銚田市に住み続けたいとお考えですか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】

1	一生住み続けたい	46.7	%
2	ある程度住み続けたい	25.5	
3	県内のどこかへ移転したい	10.3	
4	県外のどこかへ移転したい	3.6	
5	どちらともいえない	12.0	
	無回答	1.9	[n = 1,830]

< 図表 1 - 3 > 居住継続意向 (全体・性別)

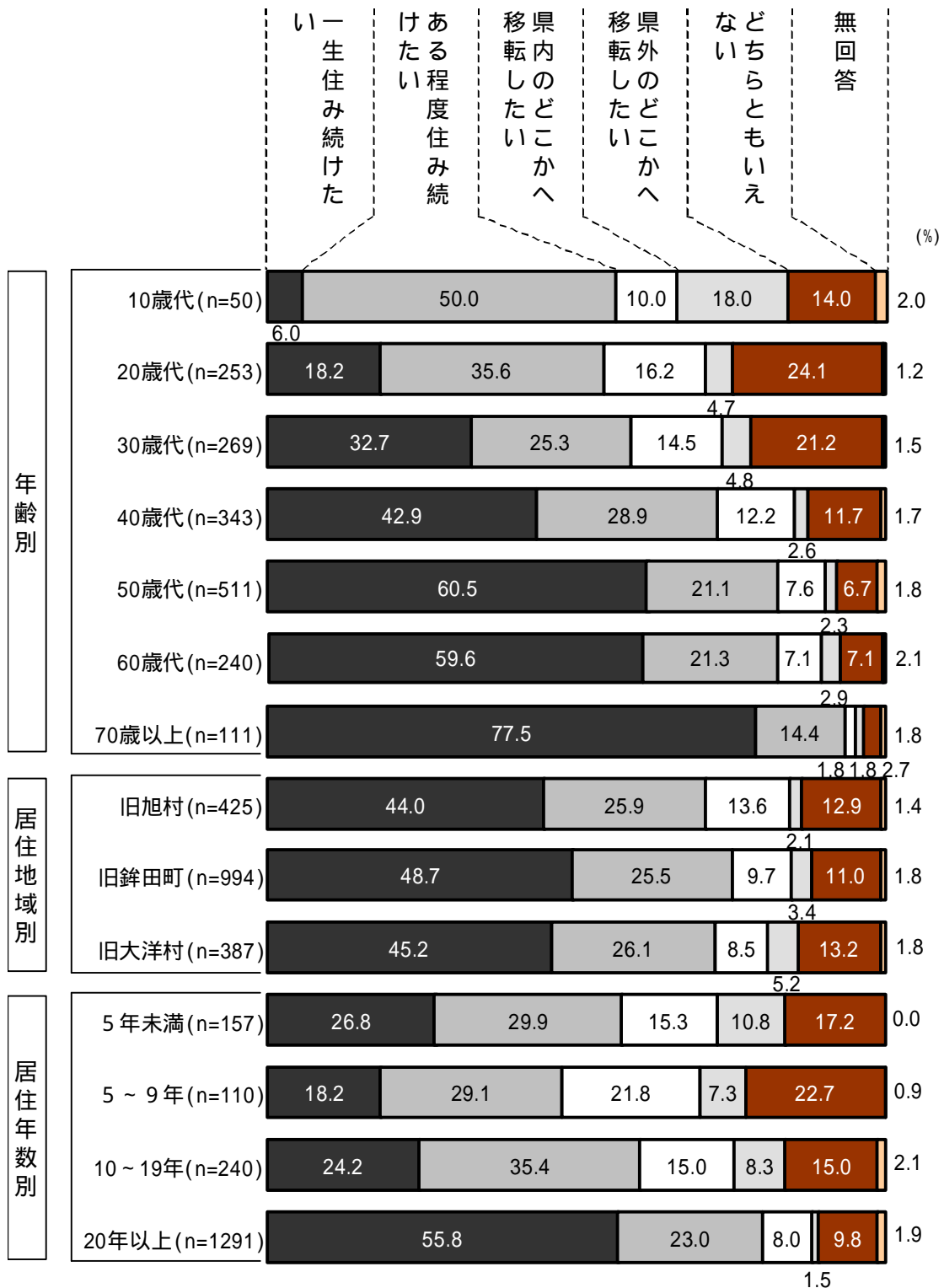


【全体】居住継続意向については、「一生住み続けたい」が最も高く 46.7%、次いで「ある程度住み続けたい」が 25.5%となっている。

また、「一生住み続けたい」と「ある程度住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』が 72.2%、「県内のどこかへ移転したい」と「県外のどこかへ移転したい」を合わせた『移転したい』が 13.9%となっている。

【性別】男性の『住み続けたい』は 75.9%と、女性より 7.4 ポイント高くなっている。

< 図表 1 - 4 > 居住継続意向（年齢別・居住地域別・居住年数別）



【年齢別】「一生住み続けたい」は、70歳以上で77.5%と、年齢が上がるにつれて（50歳代を除き）高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

【居住年数別】20年以上で「一生住み続けたい」は55.8%と、他より倍以上高くなっている。

(3) 移転したい理由

「交通が不便」46.9%、「下水・公園・道路などの都市施設が整っていない」42.9%、「買物が不便」36.2%、「医療・福祉面に不安がある」33.5%が上位。

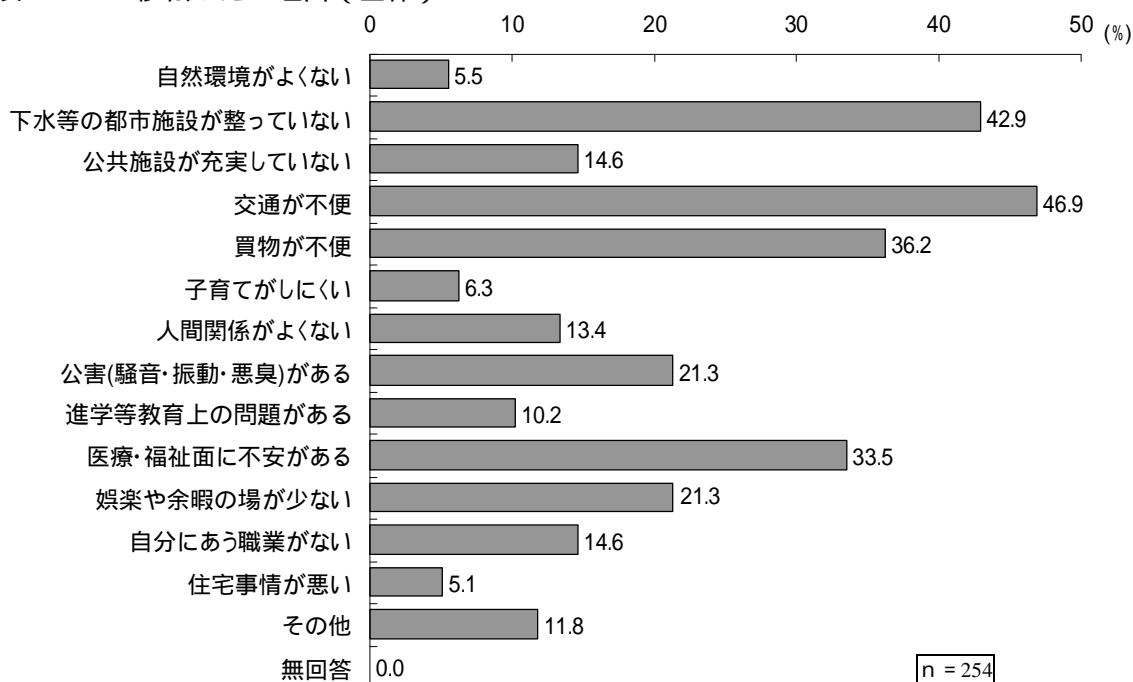
<問2で3、4のいずれかを回答された方のみにおたずねします>

問2 1 今の場所から移りたいとお考えになる理由は何でしょうか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1 自然環境がよくない	5.5 %
2 下水・公園・道路などの都市施設が整っていない	42.9
3 公共施設が充実していない	14.6
4 交通が不便	46.9
5 買物が不便	36.2
6 子育てがしにくい	6.3
7 人間関係がよくない	13.4
8 公害（騒音・振動・悪臭）がある	21.3
9 進学など教育上の問題がある	10.2
10 医療・福祉面に不安がある	33.5
11 娯楽や余暇の場が少ない	21.3
12 自分にあう職業がない	14.6
13 住宅事情が悪い	5.1
14 その他	11.8
無回答	0.0

[n = 254]

<図表1-5> 移転したい理由（全体）



【全体】移転したい理由については、「交通が不便」が46.9%、「下水・公園・道路などの都市施設が整っていない」が42.9%と高くなっている。続いて「買物が不便」(36.2%)、「医療・福祉面に不安がある」(33.5%)となっている。

< 図表 1 - 6 > 移転したい理由 (性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	自然環境がよくなる	下水等の都市施設が整っていない	公共施設が充実していない	交通が不便	買物が不便	子育てがしにくい	人間関係がよくなる	騒音・振動・悪臭がある	公害(騒音・振動)がある	進学等教育上の問題がある	医療・福祉面に不安がある	少ない余暇の場がない	自分にあう職業がない	住宅事情が悪い	その他	無回答
全体		254	5.5	42.9	14.6	46.9	36.2	6.3	13.4	21.3	10.2	33.5	21.3	14.6	5.1	11.8	0.0	
性別	男性	104	6.7	47.1	13.5	47.1	35.6	6.7	7.7	24.0	8.7	27.9	21.2	12.5	5.8	15.4	0.0	
	女性	143	4.2	38.5	14.7	46.9	38.5	6.3	16.8	17.5	11.9	37.8	22.4	15.4	4.9	9.8	0.0	
年齢別	10歳代	14	0.0	35.7	14.3	64.3	50.0	0.0	7.1	0.0	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	7.1	0.0	
	20歳代	53	1.9	22.6	13.2	47.2	45.3	13.2	7.5	9.4	11.3	26.4	39.6	37.7	1.9	7.5	0.0	
	30歳代	52	1.9	38.5	13.5	44.2	42.3	7.7	15.4	11.5	9.6	36.5	15.4	13.5	7.7	19.2	0.0	
	40歳代	51	5.9	52.9	27.5	45.1	17.6	3.9	17.6	21.6	15.7	43.1	15.7	3.9	7.8	9.8	0.0	
	50歳代	51	13.7	51.0	9.8	39.2	37.3	5.9	13.7	39.2	3.9	37.3	11.8	5.9	5.9	7.8	0.0	
	60歳代	24	4.2	54.2	8.3	58.3	45.8	0.0	12.5	29.2	4.2	25.0	20.8	8.3	4.2	16.7	0.0	
	70歳以上	4	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
居住地域別	旧旭村	67	9.0	44.8	11.9	38.8	37.3	7.5	20.9	23.9	11.9	38.8	20.9	7.5	4.5	9.0	0.0	
	旧鉾田町	130	3.1	40.0	16.9	50.8	27.7	6.2	10.8	21.5	10.0	32.3	22.3	19.2	4.6	13.1	0.0	
	旧大洋村	53	5.7	49.1	11.3	47.2	54.7	5.7	9.4	17.0	7.5	32.1	17.0	13.2	7.5	13.2	0.0	

【性別】「医療・福祉面に不安がある」で女性が37.8%と、男性より9.9ポイント高くなっている。同じく「人間関係がよくなる」で女性が16.8%と、男性より9.1ポイント高くなっている。一方、「下水・公園・道路などの都市施設が整っていない」で男性が47.1%と、女性より8.6ポイント高くなっている。

【年齢別】基数が少ないため数字は参考程度でしかないが、「買物が不便」では40歳代で17.6%と他の年齢層に比べて低くなっている。「娯楽や余暇の場が少ない」では10歳代・20歳代で高くなっている。同じように「自分にあう職業がない」で20歳代が高くなっている。

【居住地域別】旧旭村では「交通が不便」が38.8%と、他の地域より10ポイント前後低くなっている。また、旧大洋村では、「買物が不便」が54.7%と、他の地域より高くなっており、半数以上の人が理由にあげている。

(4) 銚田市の生活環境や市の施設の満足度

1) 道路・交通

『不満である』(「どちらかといえば不満である」+「不満である」)が高いのは、「バスの便と路線網について」62.5%、「鉄道の便について」46.9%、「道路の整備について」46.6%など。

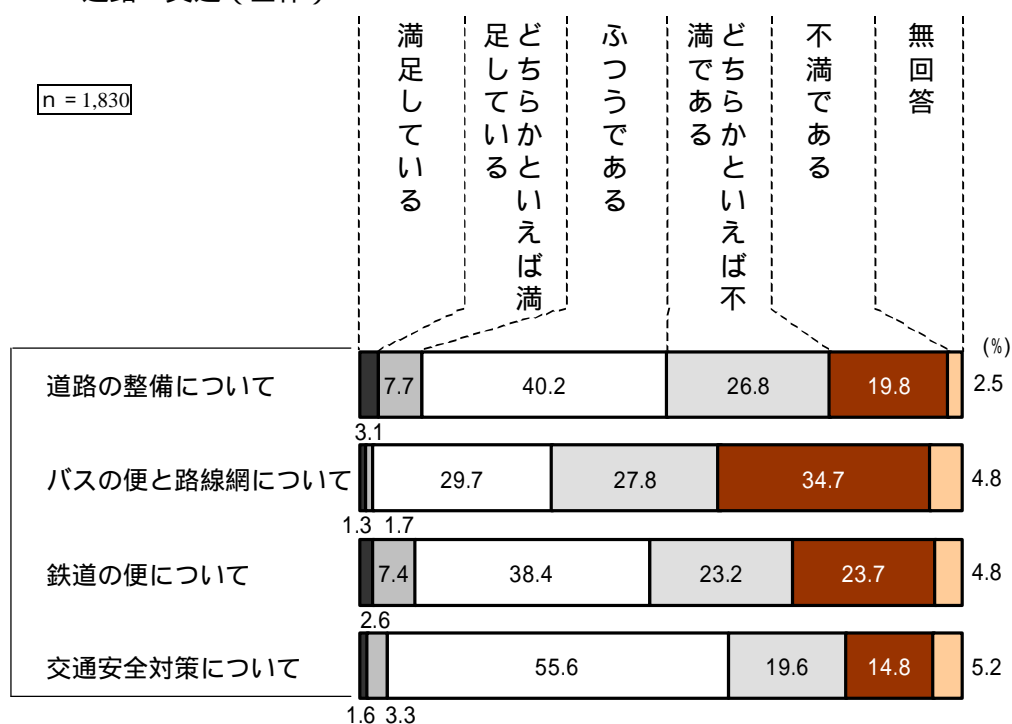
問3 あなたは、銚田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選びをつけてください。【 は1つずつ】

{ n = 1,830 }

	満足している	どちらかといえば満足している	ふつうである	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
道路の整備について	3.1	7.7	40.2	26.8	19.8	2.5
バスの便と路線網について	1.3	1.7	29.7	27.8	34.7	4.8
鉄道の便について	2.6	7.4	38.4	23.2	23.7	4.8
交通安全対策について	1.6	3.3	55.6	19.6	14.8	5.2

(%)

<図表1 - 7> 道路・交通 (全体)



【全体】道路・交通の満足度については、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた『不満である』が高いものが「バスの便と路線網について」(62.5%)、「鉄道の便について」(46.9%)、「道路の整備について」(46.6%)の順となっている。

2) 生活環境

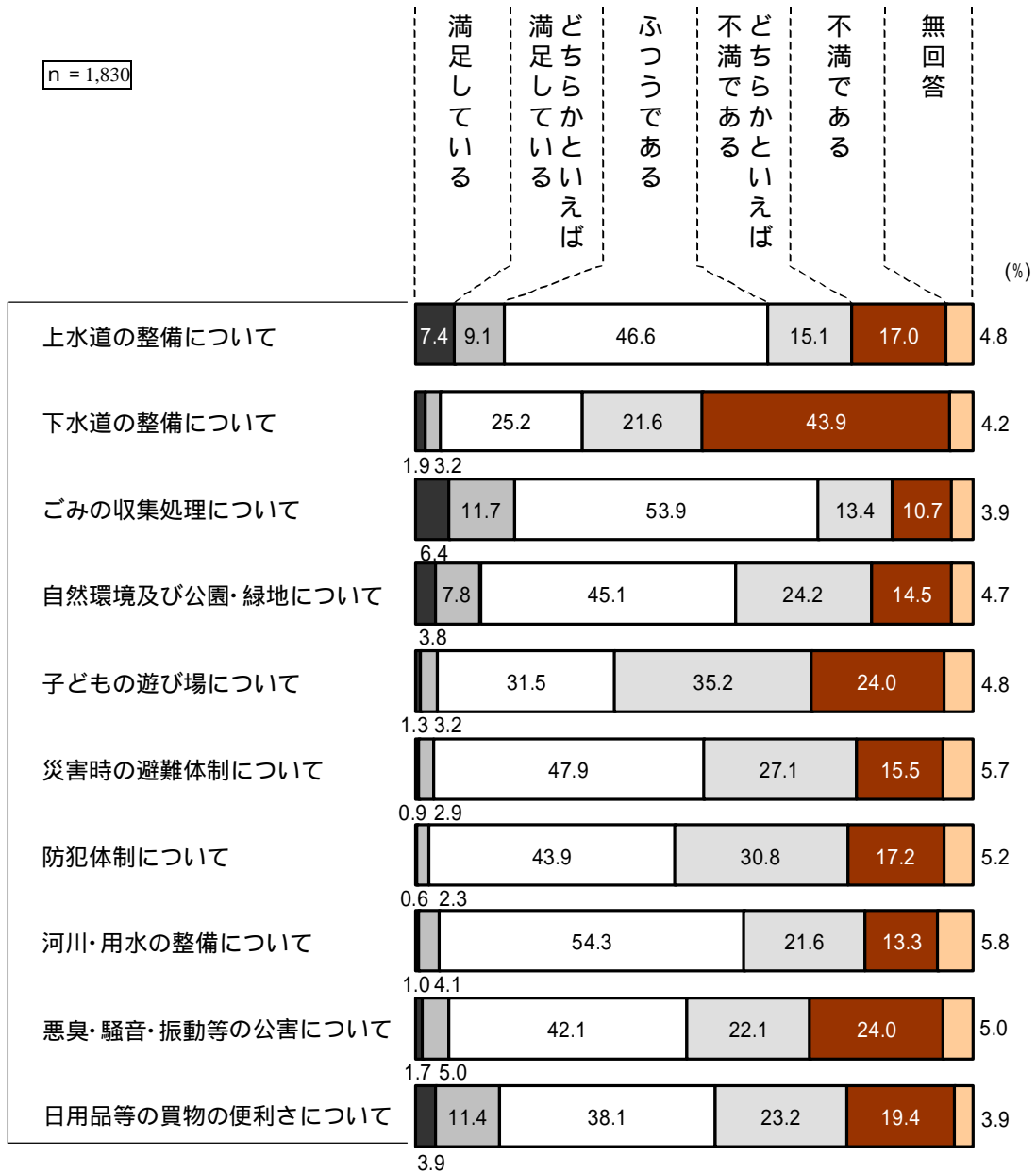
『不満である』が高いのは、「下水道の整備について」65.5%、「子どもの遊び場について」59.2%、「防犯体制について」48.0%、「悪臭・騒音・振動などの公害について」46.1%など。

問3 あなたは、銚田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選びをつけてください。【 は1つずつ】

{ n = 1,830 }

	満足している	どちらかといえ ば満足している	ふつうである	どちらかといえ ば不満である	不満である	無回答
						(%)
上水道の整備について	7.4	9.1	46.6	15.1	17.0	4.8
下水道の整備について	1.9	3.2	25.2	21.6	43.9	4.2
ごみの収集処理について	6.4	11.7	53.9	13.4	10.7	3.9
自然環境及び公園・緑地について	3.8	7.8	45.1	24.2	14.5	4.7
子どもの遊び場について	1.3	3.2	31.5	35.2	24.0	4.8
災害時の避難体制について	0.9	2.9	47.9	27.1	15.5	5.7
防犯体制について	0.6	2.3	43.9	30.8	17.2	5.2
河川・用水の整備について	1.0	4.1	54.3	21.6	13.3	5.8
悪臭・騒音・振動などの公害について	1.7	5.0	42.1	22.1	24.0	5.0
日用品などの買物の便利さについて	3.9	11.4	38.1	23.2	19.4	3.9

< 図表 1 - 8 > 生活環境（全体）



【全体】生活環境の満足度については、『不満である』が高いものが「下水道の整備について」65.5%、「子どもの遊び場について」(59.2%)、「防犯体制について」(48.0%)、「悪臭・騒音・振動などの公害について」(46.1%)の順となっている。

3) 教育・文化・コミュニティ

どの項目も「ふつうである」が6割前後。『不満である』は、「スポーツ・レクリエーション施設について」で29.1%と、他よりわずかながら高い。

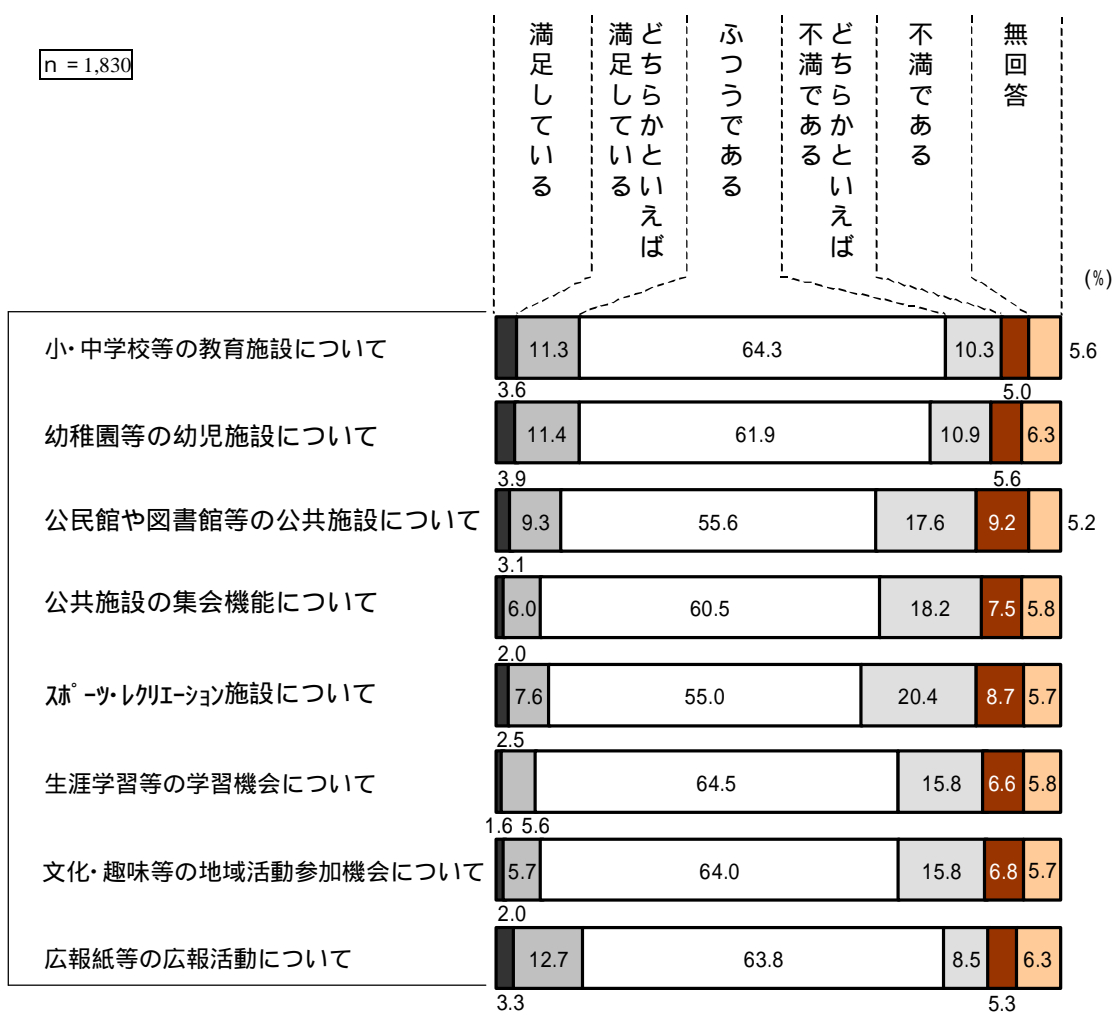
問3 あなたは、銚田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選びをつけてください。【 は1つずつ】

{ n = 1,830 }

	満足している	どちらかといえ ば満足している	ふつうである	どちらかといえ ば不満である	不満である	無回答
小・中学校などの教育施設について	3.6	11.3	64.3	10.3	5.0	5.6
幼稚園などの幼児施設について	3.9	11.4	61.9	10.9	5.6	6.3
公民館や図書館などの公共施設について	3.1	9.3	55.6	17.6	9.2	5.2
公共施設の集会機能について	2.0	6.0	60.5	18.2	7.5	5.8
スポーツ・レクリエーション施設について	2.5	7.6	55.0	20.4	8.7	5.7
生涯学習などの学習機会について	1.6	5.6	64.5	15.8	6.6	5.8
文化・趣味・スポーツなどの地域活動や サークル活動への参加機会について	2.0	5.7	64.0	15.8	6.8	5.7
広報紙などの広報活動について	3.3	12.7	63.8	8.5	5.3	6.3

(%)

< 図表 1 - 9 > 教育・文化・コミュニティ（全体）



【全体】教育・文化・コミュニティの満足度については、どの項目も「ふつうである」が6割前後を占めている。『不満である』は、「スポーツ・レクリエーション施設について」で29.1%と、他よりわずかながら高い。また、「広報紙等の広報活動について」が唯一、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』が16.0%と、『不満である』より2.2ポイントとわずかながら高くなっている。

4) 保健・医療・福祉

『不満である』が高いのは、「夜間・休日などの救急医療について」56.8%、「医療機関・医療体制について」51.6%など。

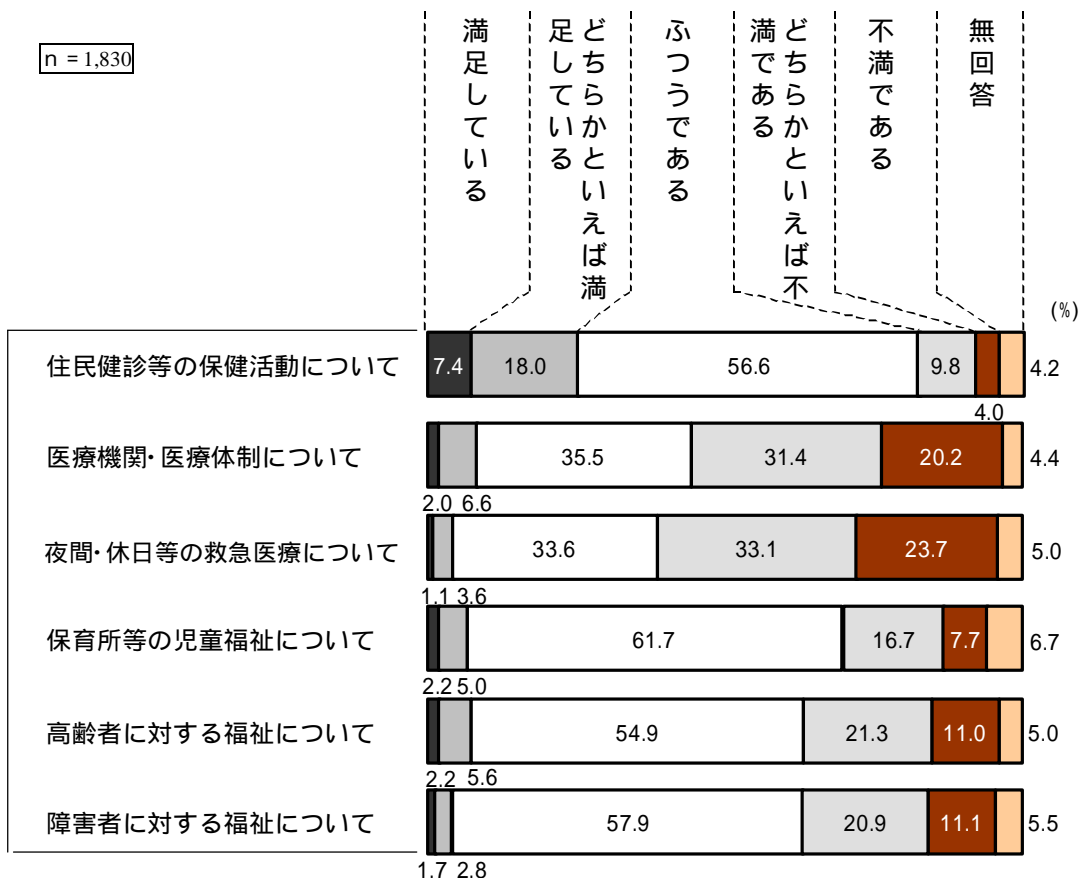
問3 あなたは、銚田市の生活環境や市の施設についてどのように感じていますか。次の項目ごとに該当する番号をそれぞれ1つ選びをつけてください。【は1つずつ】

[n = 1,830]

	満足している	どちらかといえ ば満足している	ふつうである	どちらかといえ ば不満である	不満である	無回答
住民健診などの保健活動について	7.4	18.0	56.6	9.8	4.0	4.2
医療機関・医療体制について	2.0	6.6	35.5	31.4	20.2	4.4
夜間・休日などの救急医療について	1.1	3.6	33.6	33.1	23.7	5.0
保育所等の児童福祉について	2.2	5.0	61.7	16.7	7.7	6.7
高齢者に対する福祉について	2.2	5.6	54.9	21.3	11.0	5.0
障害者に対する福祉について	1.7	2.8	57.9	20.9	11.1	5.5

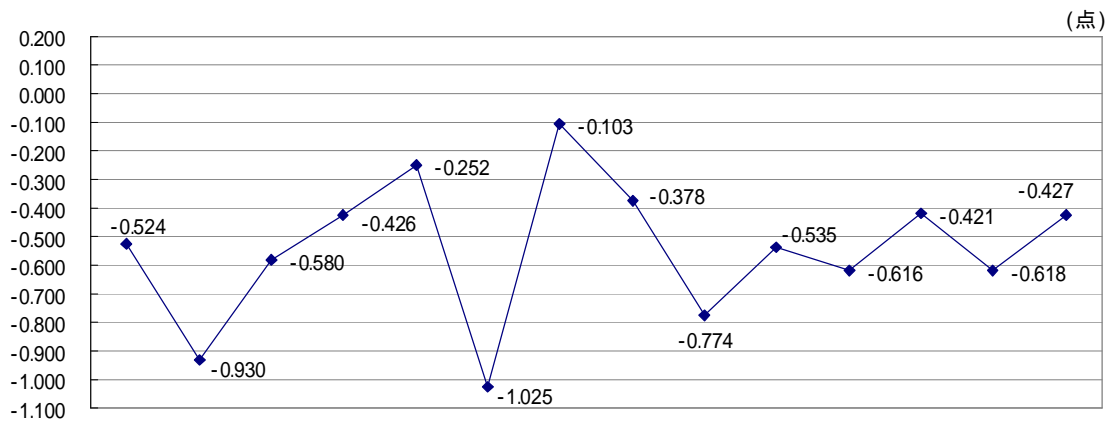
(%)

< 図表 1 - 10 > 保健・医療・福祉（全体）



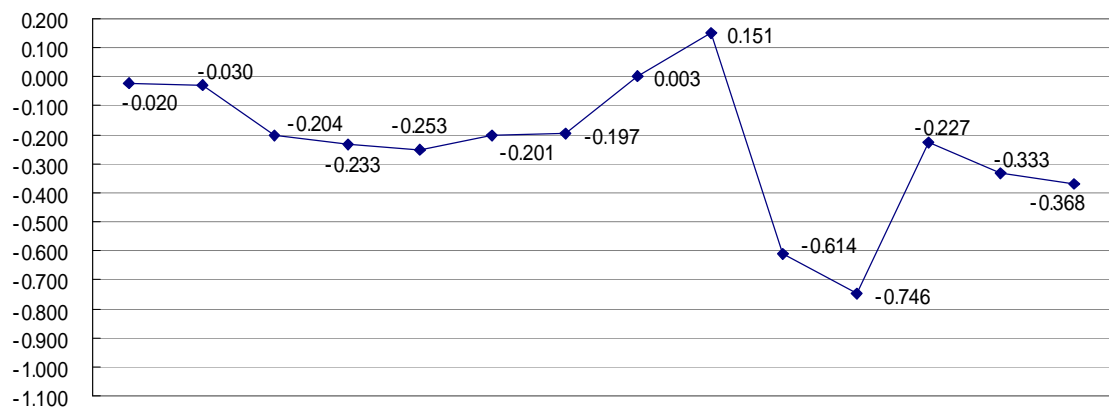
【全体】保健・医療・福祉の満足度については、『不満である』が高いものが「夜間・休日などの救急医療について」(56.8%)、「医療機関・医療体制について」(51.6%)の2つとなっている。また、「住民健診等の保健活動について」が唯一、『満足している』が25.4%と、『不満である』より11.6ポイント高くなっている。

< 図表 1 - 11 > 銚田市の生活環境や市の施設 (加重平均値)



道路・交通

生活環境



教育・文化・コミュニティ

保健・医療・福祉

【加重平均値比較】生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その評価をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。「満足している」を+2点、「どちらかといえば満足している」を+1点、「どちらかといえば不満である」を-1点、「不満である」を-2点とし、その平均を評価点とした。

分野ごとの満足度の平均は、「教育・文化・コミュニティ」(-0.142)、「保健・医療・福祉」(-0.356)、「生活環境」(-0.515)、「道路・交通」(-0.615)の順であった。

個別の項目で、評価点がプラスになっているのは、「保健・医療・福祉」の「住民健診などの保健活動について」と、「教育・文化・コミュニティ」の「広報紙などの広報活動について」のみで、不満よりも満足が上回ったのはこの2つだけであった。

評価が悪かったものとしては、「生活環境」の「下水道の整備について」(-1.025)が最も高く、「道路・交通」の「バスの便と路線網について」(-0.930)、「生活環境」の「子どもの遊び場について」(-0.774)、「保健・医療・福祉」の「夜間・休日などの救急医療について」(-0.746)、「生活環境」の「悪臭・騒音・振動などの公害について」(-0.618)と「防犯体制について」(-0.616)、「保健・医療・福祉」の「医療機関・医療体制について」(-0.614)などが続いている。

2 まちづくりについて

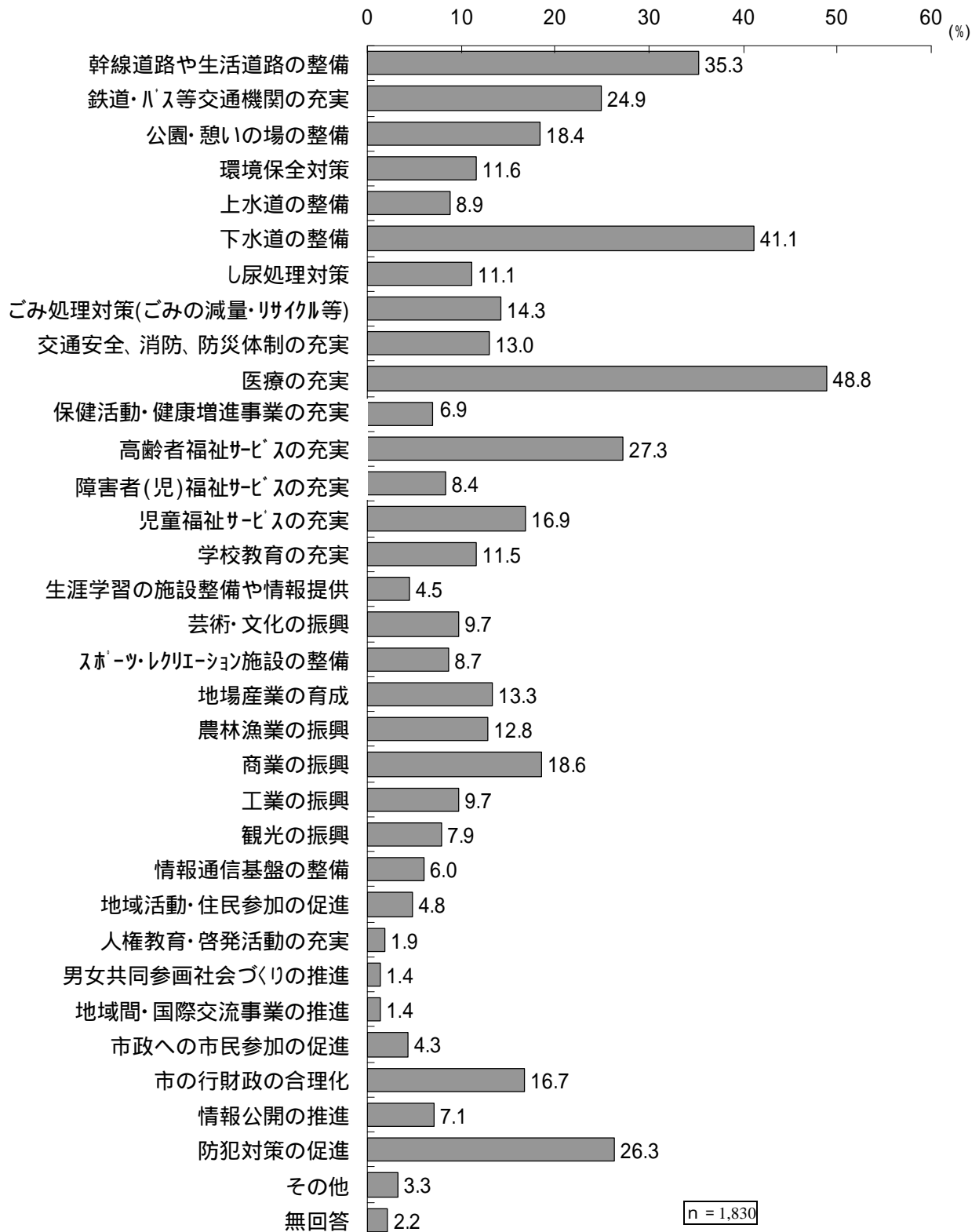
(1) 今後力を入れてほしい施策・事業

「医療の充実」48.8%、「下水道の整備」41.1%、「幹線道路や生活道路の整備」35.3%の順。

問4 これからの市政（まちづくり）において、特に力を入れてほしい施策や事業は何ですか。次の中から該当するものを5つ以内で選んでください。【 は5つまで】

1	幹線道路や生活道路の整備	35.3	%
2	鉄道・バス等交通機関の充実	24.9	
3	公園・憩いの場の整備	18.4	
4	環境保全対策	11.6	
5	上水道の整備	8.9	
6	下水道の整備	41.1	
7	し尿処理対策	11.1	
8	ごみ処理対策（ごみの減量化、リサイクル等）	14.3	
9	交通安全、消防、防災体制の充実	13.0	
10	医療の充実	48.8	
11	保健活動・健康増進事業の充実	6.9	
12	高齢者福祉サービスの充実	27.3	
13	障害者（児）福祉サービスの充実	8.4	
14	児童福祉サービスの充実（子育て支援体制の整備等）	16.9	
15	学校教育の充実（校舎の耐震補強工事、給食センター等の施設整備）	11.5	
16	生涯学習の施設整備や情報提供	4.5	
17	芸術・文化の振興（文化センター等の建設）	9.7	
18	スポーツ・レクリエーション施設の整備	8.7	
19	地場産業の育成	13.3	
20	農林漁業の振興（生産基盤の整備、担い手育成等）	12.8	
21	商業の振興（商店街の活性化等）	18.6	
22	工業の振興（工業基盤の整備、企業誘致等）	9.7	
23	観光の振興（観光拠点の整備、観光資源の創出等）	7.9	
24	情報通信基盤の整備	6.0	
25	地域活動・住民参加の促進	4.8	
26	人権教育・啓発活動の充実	1.9	
27	男女共同参画社会づくりの推進	1.4	
28	地域間・国際交流事業の推進	1.4	
29	市政への市民参加の促進	4.3	
30	市の行財政の合理化	16.7	
31	情報公開の推進	7.1	
32	防犯対策の促進	26.3	
33	その他	3.3	
	無回答	2.2	[n = 1,830]

< 図表 2 - 1 > 今後力を入れてほしい施策・事業（全体）



【全体】今後力を入れてほしい施策・事業については、「医療の充実」(48.8%)、「下水道の整備」(41.1%)、「幹線道路や生活道路の整備」(35.3%)が上位を占めている。その他「高齢者福祉サービスの充実」(27.3%)、「防犯対策の促進」(26.3%)、「鉄道・バス等交通機関の充実」(24.9%)が続いている。

< 図表 2 - 2 > 今後力を入れてほしい施策・事業（全体・性別・年齢別・居住年数別・居住地域別
 ランキング）

		1位	2位	3位	4位	5位	(%)
全体		医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	高齢者福祉サービスの充実	防犯対策の促進	
(n)1830		48.8	41.1	35.3	27.3	26.3	
性別	男性	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	防犯対策の促進	高齢者福祉サービスの充実	
	858	45.3	45.3	43.4	26.8	26.0	
	女性	医療の充実	下水道の整備	高齢者福祉サービスの充実	幹線道路や生活道路の整備	鉄道・バス等交通機関の充実	
	916	52.9	37.4	28.5	28.1	27.1	
年齢別	10歳代	鉄道・バス等交通機関の充実	医療の充実	商業の振興	幹線道路や生活道路の整備	防犯対策の促進	スポーツ・レクリエーション施設の整備
	50	48.0	46.0	42.0	34.0	26.0	26.0
	20歳代	医療の充実	幹線道路や生活道路の整備	鉄道・バス等交通機関の充実	公園 憩いの場の整備	児童福祉サービスの充実	
	253	49.8	35.6	32.4	29.6	25.3	
	30歳代	医療の充実	児童福祉サービスの充実	下水道の整備	防犯対策の促進	幹線道路や生活道路の整備	
	269	56.5	34.2	30.9	30.5	29.7	
	40歳代	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	防犯対策の促進	鉄道・バス等交通機関の充実	
	343	54.8	39.7	31.8	24.8	22.2	
	50歳代	下水道の整備	医療の充実	幹線道路や生活道路の整備	高齢者福祉サービスの充実	防犯対策の促進	
511	51.7	44.0	38.9	30.3	24.9		
60歳代	下水道の整備	医療の充実	幹線道路や生活道路の整備	高齢者福祉サービスの充実	鉄道・バス等交通機関の充実		
240	54.6	47.5	38.8	36.3	30.8		
70歳以上	下水道の整備	高齢者福祉サービスの充実	医療の充実	幹線道路や生活道路の整備	防犯対策の促進		
111	54.1	51.4	42.3	38.7	33.3		
居住年数別	5年未満	医療の充実	鉄道・バス等交通機関の充実	幹線道路や生活道路の整備	下水道の整備	防犯対策の促進	
	157	47.8	43.3	40.8	38.9	27.4	
	5～9年	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	鉄道・バス等交通機関の充実	高齢者福祉サービスの充実	
	110	53.6	46.4	40.0	39.1	31.8	
	10～19年	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	鉄道・バス等交通機関の充実	防犯対策の促進	
240	51.7	42.5	35.4	35.4	27.1		
20年以上	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	高齢者福祉サービスの充実	防犯対策の促進		
1291	48.5	40.7	34.1	27.8	25.8		
居住地域別	旧旭村	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	防犯対策の促進	高齢者福祉サービスの充実	
	425	45.4	38.4	38.1	28.5	25.2	
	旧鉾田町	医療の充実	下水道の整備	幹線道路や生活道路の整備	高齢者福祉サービスの充実	防犯対策の促進	
	994	51.5	39.1	33.5	27.3	24.8	
旧大洋村	下水道の整備	医療の充実	幹線道路や生活道路の整備	鉄道・バス等交通機関の充実	高齢者福祉サービスの充実		
387	49.6	47.0	37.0	35.7	29.5		

【性別】「幹線道路や生活道路の整備」で男性が43.4%と、女性より15.3ポイント高くなっている。

【年齢別】50歳代以上では「下水道の整備」が1位となっているが、10・20歳代ではランク外となっている。

【居住年数別】居住年数が低いほど、「鉄道・バス等交通機関の充実」が高くなっている。

【居住地域別】「下水道の整備」が旧大洋村で49.6%と、他の地域より10ポイント程度高くなっている。また、「鉄道・バス等交通機関の充実」でも大洋村で35.7%と、他の地域より10ポイント以上高くなっている。

< 図表 2 - 3 > 今後力を入れてほしい施策・事業（経年ランキング）

前回調査(新しいまちづくりに取り組むべき事業) (n = 1,051)			今回調査(今後力を入れてほしい施策・事業) (n = 1,830)		
1位	医療の充実	35.9 (%)	1位	医療の充実	48.8 (%)
2位	下水道の整備	32.5	2位	下水道の整備	41.1
3位	幹線道路や生活道路の整備	24.3	3位	幹線道路や生活道路の整備	35.3
4位	高齢者福祉サービスの充実	18.2	4位	高齢者福祉サービスの充実	27.3
5位	学校教育の充実	13.7	5位	防犯対策の促進	26.3
6位	公園・憩いの場の整備	13.0	6位	鉄道・バス等交通機関の充実	24.9
7位	環境保全対策	12.6	7位	商業の振興	18.6
8位	ごみ処理対策(ごみの減量・リサイクル等)	11.9	8位	公園・憩いの場の整備	18.4
9位	鉄道・バス等交通機関の充実	11.6	9位	児童福祉サービスの充実	16.9
10位	農林漁業の振興	11.0	10位	市の行財政の合理化	16.7

< 前回調査 > 問 10 合併後の新しいまちづくりを進めるために、あなたはどのような施策や事業に取り組むべきだと思いますか。各項目の中から5つまで選んでをつけてください。

この二つの選択肢は前回の設問にはなかったものです。

【経年比較】 前回調査との経年比較を試みた。上位4つに、変わりはない。「鉄道・バス等交通機関の充実」が前回の9位（11.6%）から、今回6位（24.9%）に上昇している。

また、今回新しく選択肢に加えた「防犯対策の促進」が26.3%と5位に入っている。

問4（P.30）、問5 - 1（P.35）、問5 - 2（P.38）で経年比較を試みているが、今回の調査は前回調査と設問・選択肢ともに多少の違いがあるため、あくまで目安としての比較である。
 前回調査：「旭村・銚田町・大洋村 新しいまちづくりに関する住民意向調査」旭村・銚田町・大洋村合併協議会（平成16年10月）

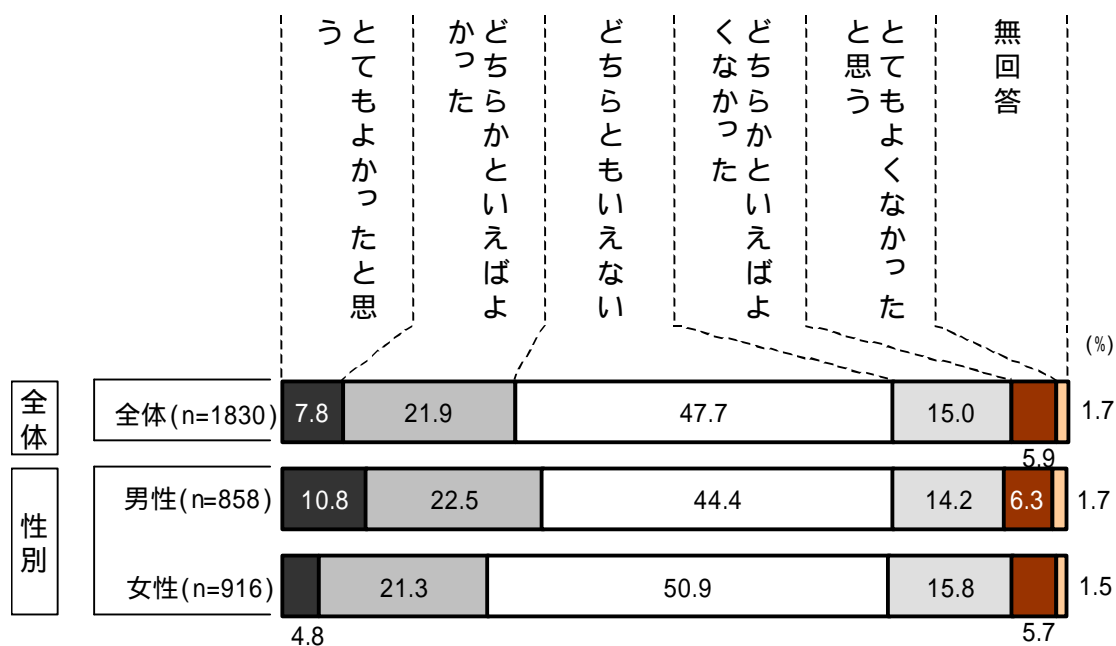
(2) 合併に対する評価

「どちらともいえない」が半数近くを占める。『よかったと思う』(「とてもよかったと思う」+「どちらかといえばよかったと思う」)が 29.7%で、『よくなかったと思う』(「どちらかといえばよくなかったと思う」+「とてもよくなかったと思う」)が 20.9%。

問5 3町村が合併し、新たに鉾田市が発足しましたが、あなたはこの合併をどのように評価していますか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】

1	とてもよかったと思う	7.8	%
2	どちらかといえばよかったと思う	21.9	
3	どちらともいえない	47.7	
4	どちらかといえばよくなかったと思う	15.0	
5	とてもよくなかったと思う	5.9	
	無回答	1.7	[n = 1,830]

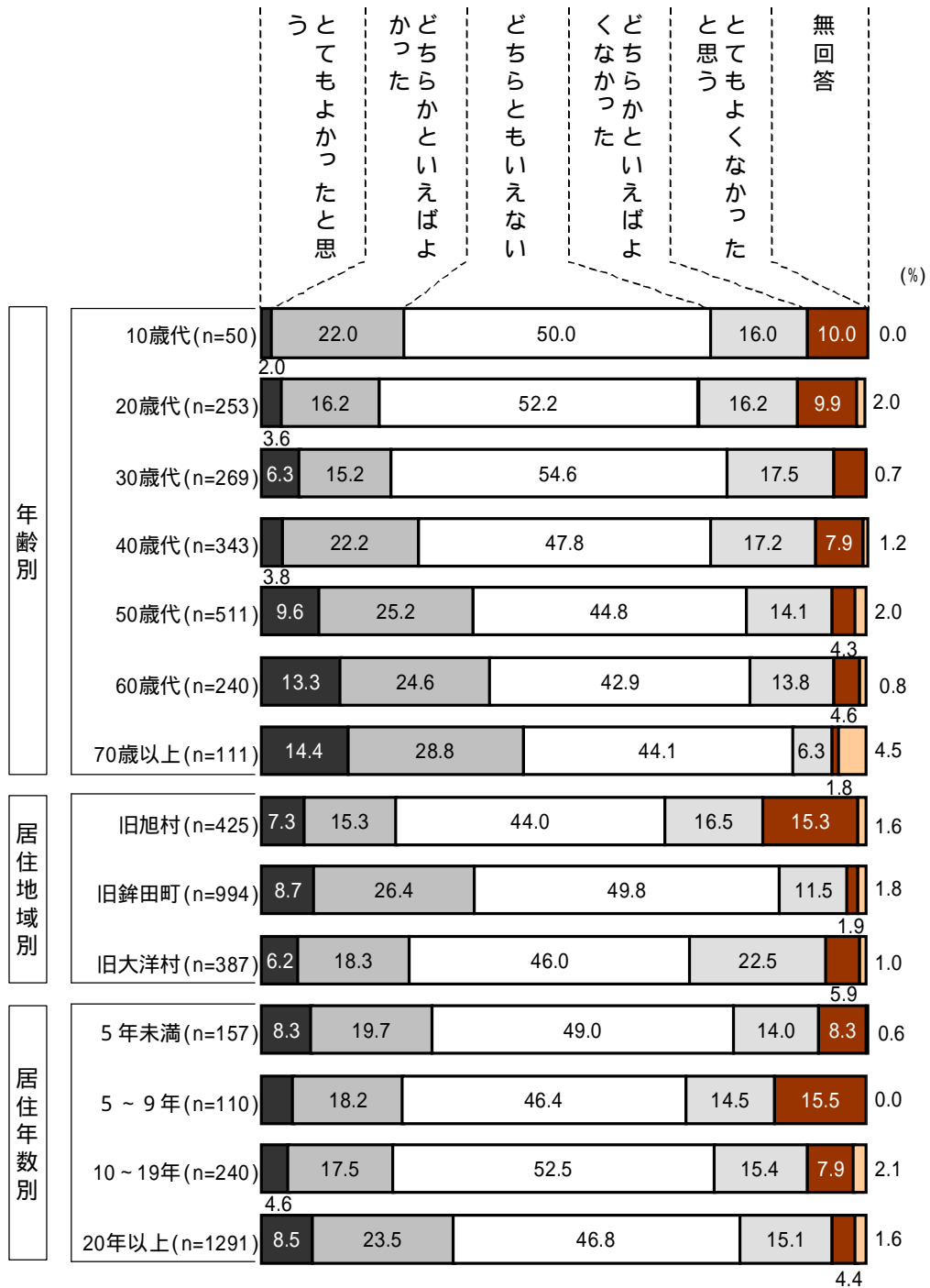
< 図表 2 - 4 > 合併に対する評価 (全体・性別)



【全体】合併に対する評価については、「どちらともいえない」が 47.7%と半数近くを占める。「とてもよかったと思う」と「どちらかといえばよかったと思う」を合わせた『よかったと思う』が 29.7%と、「どちらかといえばよくなかったと思う」と「とてもよくなかったと思う」を合わせた『よくなかったと思う』より 8.8 ポイント高くなっている。

【性別】『よかったと思う』が男性では 33.3%と、女性より 7.2 ポイント高くなっている。

< 図表 2 - 5 > 合併に対する評価（年齢別・居住地域別・居住年数別）



【年齢別】10歳代を除き、年齢層が高くなるにつれて『よかったと思う』が高くなり、70歳以上で43.2%となっている。

【居住地域別】旧鉾田町では、『よかったと思う』が35.1%と、『よくなかったと思う』より21.7ポイント高くなっているが、他の地域では『よくなかったと思う』が『よかったと思う』をわずかながら上回っている。

【居住年数別】20年以上・5年未満で『よかったと思う』が32.0%・28.0%と、他より高くなっている。

(3) 合併を評価する理由

「3町村の特色を活かす、新しいまちづくりができること」57.5%、「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること」50.9%、「新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること」37.1%が上位。

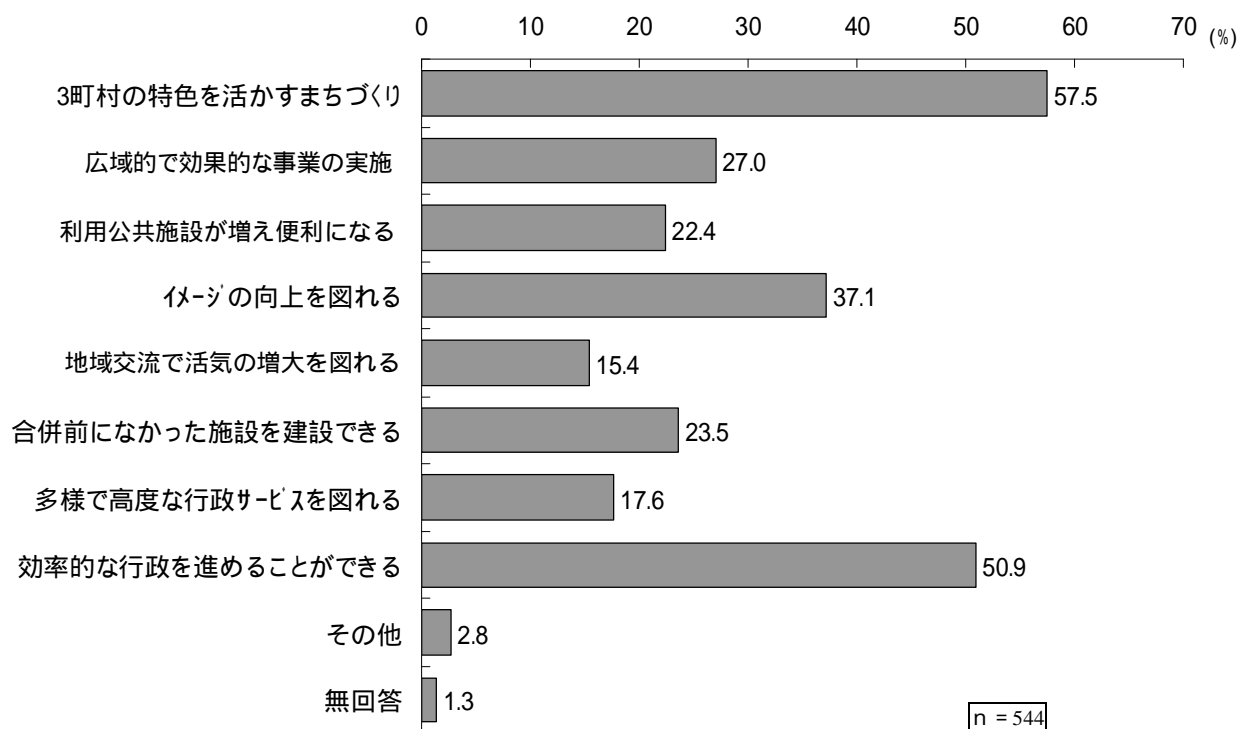
<問5で1、2のいずれかを回答された方のみにおたずねします>

問5 - 1 あなたは、どのような点をよかったと評価していますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	3町村の特色を活かす、新しいまちづくりができること	57.5 %
2	広域的で効果的な事業の実施ができること	27.0
3	利用できる公共施設が増え、便利になること	22.4
4	新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること	37.1
5	住民同士・地区同士の交流から、地域の活気の増大を図ることができること	15.4
6	合併前にはなかった施設の建設ができること(例：文化センター等)	23.5
7	行政職員の専門的知識・技術の向上により、多様で高度な行政サービスを図ることができること	17.6
8	経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること	50.9
9	その他	2.8
	無回答	1.3

{ n = 544 }

<図表2 - 6> 合併を評価する理由（全体）



【全体】合併を評価する理由については、「3町村の特色を活かす、新しいまちづくりができること」(57.5%)、「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること」(50.9%)、「新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること」(37.1%)が上位を占めている。

< 図表 2 - 7 > 合併を評価する理由 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	か3 す町 す村 まち の 特 色 を 活	事 業 的 な 実 施 の 効 果 的 な	え 利 用 公 共 施 設 が 増	図 イ メ ー ジ の 向 上 を	増 地 域 交 流 で 活 気 の	施 合 併 前 に な か っ た 設 施 の 建 設 が で き る こ と	サ ー ビ ス を 高 度 な 行 政	め 効 率 的 な 行 政 を 進	そ の 他	無 回 答
全体		544	57.5	27.0	22.4	37.1	15.4	23.5	17.6	50.9	2.8	1.3
性別	男性	286	56.6	32.5	17.5	35.0	15.7	18.2	20.3	59.1	2.8	1.4
	女性	239	57.3	20.9	27.2	41.0	14.6	31.4	14.2	39.7	2.9	1.3
年齢別	10歳代	12	50.0	16.7	0.0	33.3	25.0	25.0	0.0	25.0	16.7	0.0
	20歳代	50	52.0	34.0	26.0	52.0	8.0	26.0	16.0	24.0	6.0	0.0
	30歳代	58	53.4	19.0	27.6	44.8	10.3	27.6	17.2	43.1	3.4	0.0
	40歳代	89	51.7	31.5	18.0	38.2	12.4	16.9	18.0	50.6	3.4	0.0
	50歳代	178	60.7	28.1	23.0	36.0	15.7	20.2	14.0	53.4	1.7	3.4
	60歳代	91	60.4	25.3	15.4	34.1	16.5	30.8	28.6	65.9	2.2	1.1
	70歳以上	48	60.4	25.0	29.2	27.1	27.1	33.3	16.7	52.1	0.0	0.0
居住地域別	旧旭村	96	65.6	24.0	21.9	43.8	10.4	16.7	18.8	40.6	3.1	2.1
	旧鉾田町	348	57.2	28.4	21.6	35.3	17.8	24.7	15.2	52.3	2.9	1.1
	旧大洋村	95	50.5	24.2	27.4	38.9	11.6	27.4	25.3	55.8	2.1	1.1

【性別】「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること」で男性が59.1%と、女性より19.4ポイント高くなっている。同じく「広域的で効果的な事業の実施ができること」で男性が32.5%と、女性より11.6ポイント高くなっている。一方、「合併前にはなかった施設の建設ができること」で女性が31.4%と、男性より13.2ポイント高くなっている。同じく「利用できる公共施設が増え、便利になること」で女性が27.2%と、男性より9.7ポイント高くなっている。

【年齢別】基数が少ないため数字は参考程度でしかないが、20歳代で「新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること」が52.0%と他の年齢層より高くなっている。また、「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること」が、60歳代では65.9%と他の年齢層より高くなっているが、10歳代・20歳代ではそれぞれ25.0%・24.0%と他の年齢層より低くなっている。

【居住地域別】「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること」で旧旭村が40.6%と、他の地域より10ポイント以上低くなっている。

< 図表 2 - 8 > 合併を評価する理由（経年ランキング）

前回調査(合併に対して期待すること) (n = 1,051)			今回調査(合併を評価する理由) (n = 544)		
1位	経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めること	50.0 (%)	1位	3町村の特色を活かす、新しいまちづくりができること	57.5 (%)
2位	3町村の特色を活かす、新しいまちづくりをすること	47.9	2位	経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めることができること	50.9
3位	合併後に、これまででない施設の建設をすること	46.1	3位	新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること	37.1
4位	行政職員の専門的知識・技術の向上により、多様で高度な行政サービスを図ること	32.6	4位	広域的で効果的な事業の実施ができること	27.0
5位	利用できる公共施設が増え、便利になること	29.2	5位	合併前にはなかった施設の建設ができること	23.5
6位	住民同士・地区同士の交流から、地域に活気が出ること	22.9	6位	利用できる公共施設が増え、便利になること	22.4
7位	新しいまちとしてのイメージの向上を図ること	21.8	7位	行政職員の専門的知識・技術の向上により、多様で高度な行政サービスを図ることができること	17.6
8位	広域的で効果的な事業の実施ができること	20.7	8位	住民同士・地区同士の交流から、地域の活気の増大を図ることができること	15.4
9位	人権啓発の推進により、人権意識の高揚を図ること	5.1	9位	その他	2.8
10位	その他	4.9	10位	無回答	1.3
11位	無回答	1.3			

< 前回調査 > 問 8 3町村が合併する場合、あなたはどのような点に期待しますか。各項目の中から3つまで選んでをつけてください。

【経年比較】前回調査との経年比較を試みた。前回調査では、「経費削減等により財政基盤を強化し、効率的な行政を進めること」が50.0%で1位だった。今回は50.9%とパーセンテージは同じ程度であったが2位にとどまった。今回は、「3町村の特色を活かす、新しいまちづくりができること」が57.5%で前回より9.6ポイント高くなり、1位を占めている。

その他、今回3位の「新しいまちとしてのイメージの向上を図ることができること」が37.1%と、前回より15.3ポイント高くなっている。

一方、「合併後に、これまででない施設の建設をすること」(前回3位)は46.1%だったが、今回22.6ポイント下がっている。同様に「行政職員の専門的知識・技術の向上により、多様で高度な行政サービスを図ること」(前回4位)は32.6%だったが、今回15.0ポイント下がっている。

(4) 合併を評価しない理由

「公共料金や税金が高くなり、住民の負担が増えるおそれがあること」70.7%、「規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなるおそれがあること」55.8%が上位。

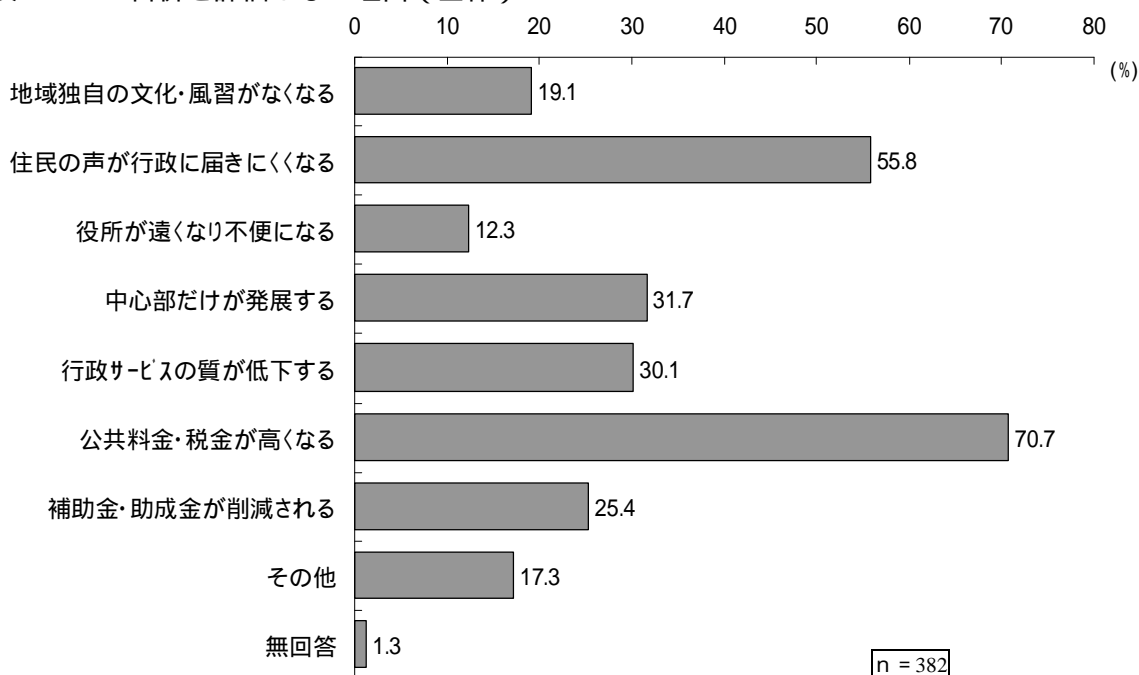
<問5で4、5のいずれかを回答された方のみにおたずねします>

問5 - 2 あなたは、どのような点をよくなかったと評価していますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	地域独自の文化や風習がなくなるおそれがあること	19.1 %
2	規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなるおそれがあること	55.8
3	役所が遠くなり、不便になるおそれがあること	12.3
4	中心部だけが発展し、周辺部が取り残されるおそれがあること	31.7
5	福祉や介護サービスなどの行政サービスの質が低下するおそれがあること	30.1
6	公共料金や税金が高くなり、住民の負担が増えるおそれがあること	70.7
7	各種団体等の補助金や助成金が削減されるおそれがあること	25.4
8	その他	17.3
	無回答	1.3

[n = 382]

< 図表 2 - 9 > 合併を評価しない理由（全体）



【全体】合併を評価しない理由については、「公共料金や税金が高くなり、住民の負担が増えるおそれがあること」が70.7%と最も高く、次いで「規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなるおそれがあること」が55.8%となっている。

< 図表 2 - 10 > 合併を評価しない理由（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	地域独自の文化・風習がなくなる	住民の声が届きにくくなる	役所が遠くなり不便になる	中心部だけが発展する	行政サービスの質が低下する	公共料金・税金が高くなる	補助金・助成金が削減される	その他	無回答
全体		382	19.1	55.8	12.3	31.7	30.1	70.7	25.4	17.3	1.3 (%)
性別	男性	176	17.0	55.1	10.2	30.1	30.1	74.4	23.9	22.2	0.6
	女性	197	20.8	57.4	13.7	33.0	29.4	68.0	26.4	12.2	2.0
年齢別	10歳代	13	15.4	69.2	38.5	7.7	15.4	69.2	23.1	46.2	0.0
	20歳代	66	21.2	45.5	7.6	33.3	18.2	63.6	25.8	19.7	0.0
	30歳代	62	17.7	53.2	8.1	33.9	35.5	61.3	32.3	12.9	0.0
	40歳代	86	23.3	50.0	12.8	29.1	33.7	73.3	27.9	17.4	2.3
	50歳代	94	20.2	64.9	16.0	31.9	30.9	79.8	18.1	13.8	1.1
	60歳代	44	11.4	63.6	6.8	34.1	34.1	70.5	25.0	18.2	4.5
	70歳以上	9	11.1	66.7	11.1	44.4	33.3	77.8	33.3	0.0	0.0
居住地域別	旧旭村	135	14.8	51.1	8.1	32.6	32.6	68.1	31.1	26.7	0.7
	旧鉾田町	133	18.8	57.9	12.8	19.5	35.3	71.4	24.1	11.3	3.0
	旧大洋村	110	25.5	58.2	17.3	45.5	21.8	72.7	20.9	11.8	0.0

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】基数が少ないため数字は参考程度でしかないが、20歳代で「規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなるおそれがあること」が45.5%と他の年齢層より低くなっている。同じく、10歳代・20歳代で「福祉や介護サービスなどの行政サービスの質が低下するおそれがあること」が15.4%・18.2%と他の年齢層より低くなっている。

【居住地域別】「中心部だけが発展し、周辺部が取り残されるおそれがあること」で旧鉾田町が19.5%と、他の地域より低くなっている。また、「その他」で旧旭村が26.7%と他の地域より15ポイント程度高くなっている。

< 図表 2 - 11 > 合併を評価しない理由（経年ランキング）

前回調査(合併に対して心配すること) [n = 1,051]			今回調査(合併を評価しない理由) [n = 382]				
1位	公共料金や税金が高くなり、住民の負担が増える	74.5	(%)	1位	公共料金や税金が高くなり、住民の負担が増えるおそれがあること	70.7	(%)
2位	規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなる	60.9		2位	規模が大きくなり、住民の声が行政に届きにくくなるおそれがあること	55.8	
3位	中心部だけが発展し、周辺部が取り残される	39.6		3位	中心部だけが発展し、周辺部が取り残されるおそれがあること	31.7	
4位	福祉や介護サービスなどの行政サービスの質が低下する	31.6		4位	福祉や介護サービスなどの行政サービスの質が低下するおそれがあること	30.1	
5位	各種団体等の補助金や助成金が削減される	17.4		5位	各種団体等の補助金や助成金が削減されるおそれがあること	25.4	
6位	役所が遠くなり、不便になる	17.2		6位	地域独自の文化や風習がなくなるおそれがあること	19.1	
7位	地域独自の文化や風習がなくなるおそれがある	15.3		7位	その他	17.3	
8位	特に心配はない	8.0		8位	役所が遠くなり、不便になるおそれがあること	12.3	
9位	その他	3.6		9位	無回答	1.3	
10位	無回答	1.1					

< 前回調査 > 問9 3町村が合併する場合、あなたはどのような点を心配しますか。各項目の中から3つまで選んで をつけてください。

【経年比較】前回調査との経年比較を試みたところ、上位5つに変わりはない。

3 市政への関心について

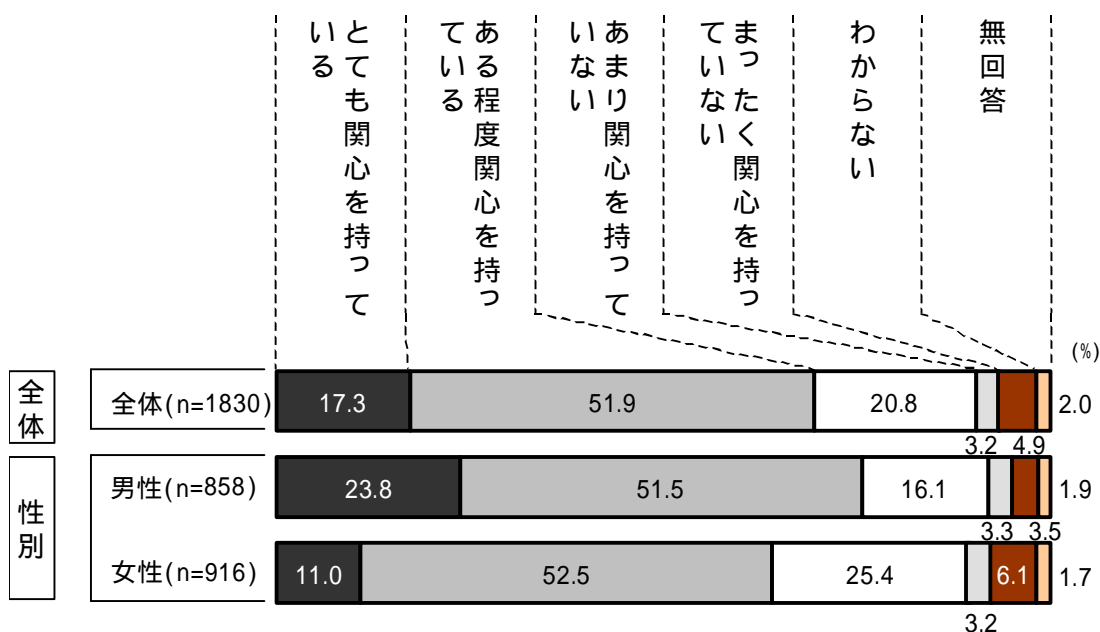
(1) 市政への関心

『関心を持っている』(「とても関心を持っている」+「ある程度関心を持っている」)が69.2%、『関心を持っていない』(「あまり関心を持っていない」+「まったく関心を持っていない」)が24.0%。

問6 あなたは、市政について、どの程度関心をお持ちですか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】

1	とても関心を持っている	17.3	%
2	ある程度関心を持っている	51.9	
3	あまり関心を持っていない	20.8	
4	まったく関心を持っていない	3.2	
5	わからない	4.9	
	無回答	2.0	[n = 1,830]

<図表3 - 1> 市政への関心 (全体・性別)

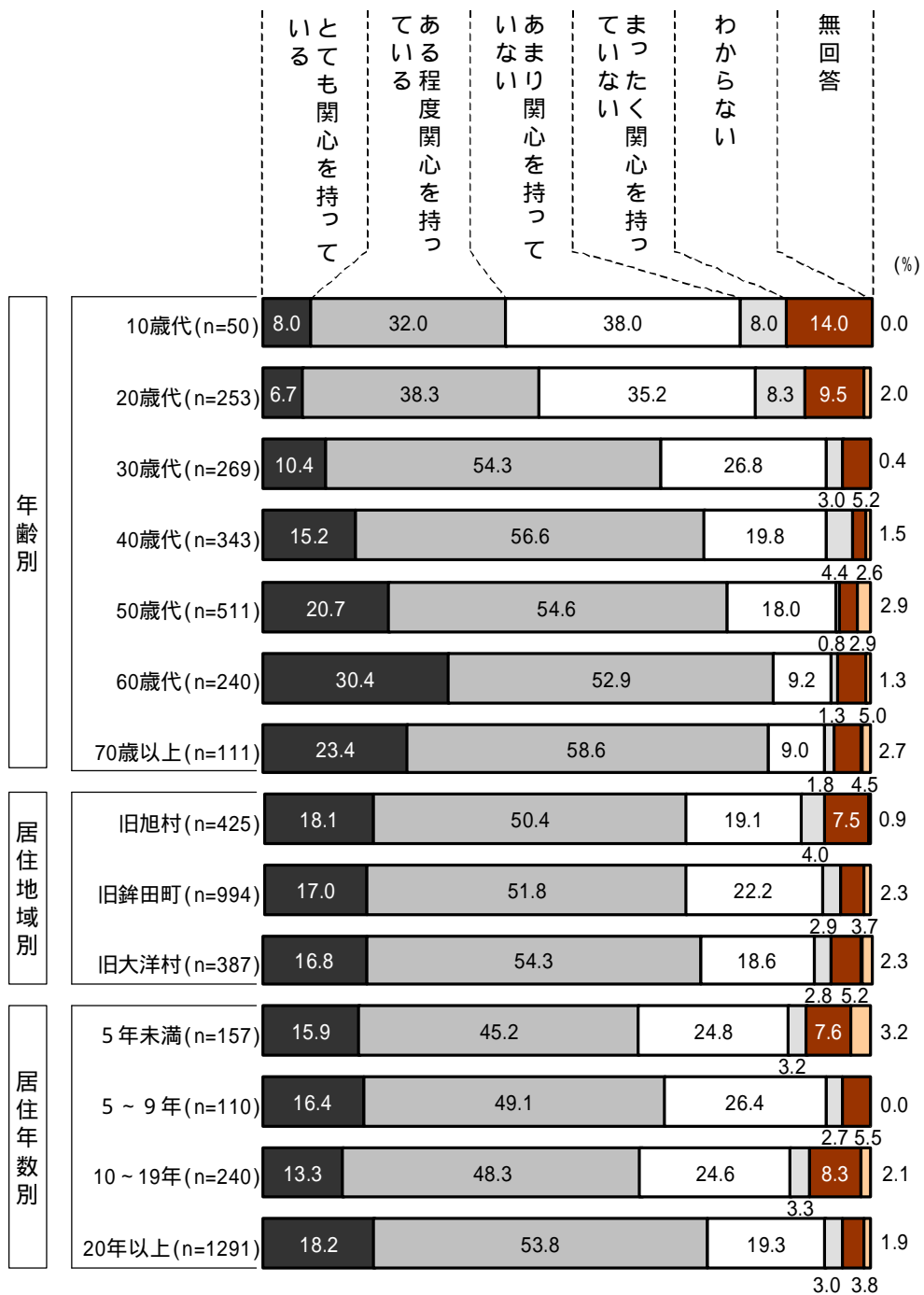


【全体】市政への関心については、「ある程度関心を持っている」が最も高く、51.9%を占めている。

「とても関心を持っている」と「ある程度関心を持っている」を合わせた『関心を持っている』が69.2%、「あまり関心を持っていない」と「まったく関心を持っていない」を合わせた『関心を持っていない』が24.0%となっている。

【性別】男性で『関心を持っている』が75.3%と、女性より11.8ポイント高くなっている。

< 図表 3 - 2 > 市政への関心（年齢別・居住地域別・居住年数別）



【年齢別】60歳代で『関心を持っている』が83.3%と最も高く、70歳以上を除き、年齢層が高くなるにつれて高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

【居住年数別】20年以上で『関心を持っている』が72.0%と他よりわずかに高くなっているが、大きな差異はみられない。

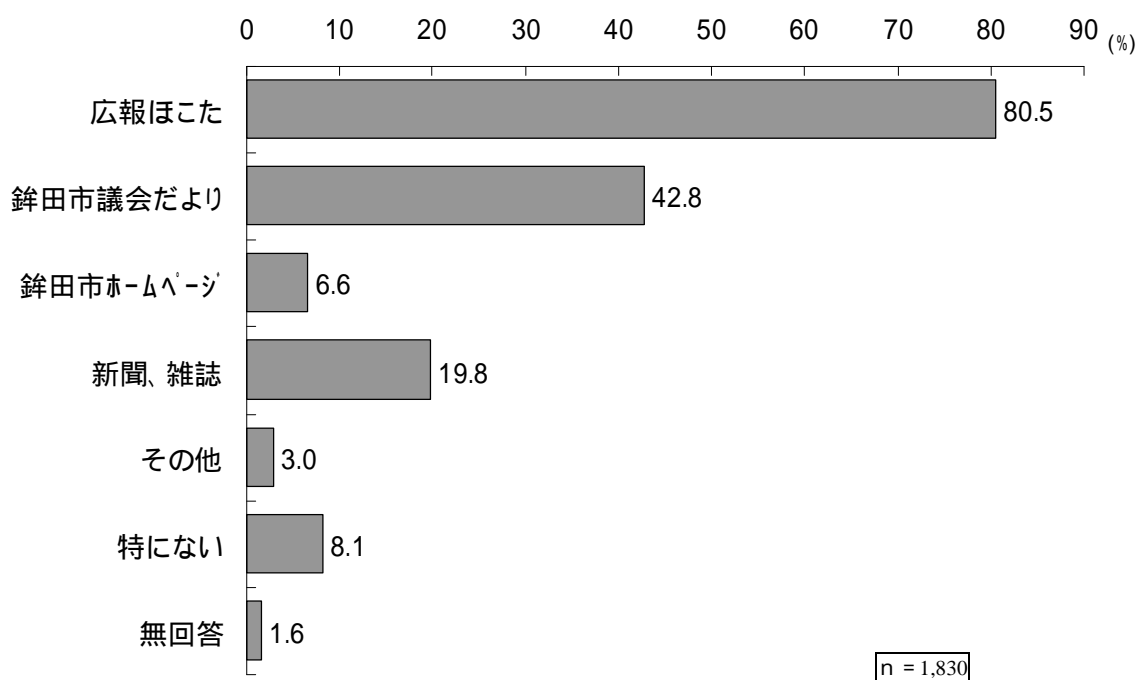
(2) 市の情報の入手媒体

「広報ほこた」が約8割で突出。「銚田市議会だより」が約4割で、「新聞、雑誌」が約2割。

問7 あなたは、銚田市の情報を日ごろ何から得ていますか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つまで】

1 広報ほこた	80.5 %	
2 銚田市議会だより	42.8	
3 銚田市ホームページ	6.6	
4 新聞、雑誌	19.8	
5 その他	3.0	
6 特にない	8.1	
無回答	1.6	[n = 1,830]

< 図表3 - 3 > 市の情報の入手媒体（全体）



【全体】市の情報の入手媒体については、「広報ほこた」が80.5%と突出している。その他「銚田市議会だより」が42.8%が続き、「新聞、雑誌」が19.8%となっている。

< 図表 3 - 4 > 市の情報の入手媒体（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	広報ほこた	銚田市議会だより	ジ銚田市ホームページ	新聞、雑誌	その他	特にない	無回答	(%)
全体		1830	80.5	42.8	6.6	19.8	3.0	8.1	1.6	
性別	男性	858	79.4	45.2	7.8	19.3	3.4	7.8	1.3	
	女性	916	81.7	40.5	5.6	20.4	2.5	8.5	1.6	
年齢別	10歳代	50	66.0	20.0	8.0	24.0	10.0	22.0	0.0	
	20歳代	253	70.8	26.1	5.9	22.9	3.6	15.8	1.6	
	30歳代	269	70.6	32.3	9.7	20.4	3.3	13.8	0.4	
	40歳代	343	84.5	44.9	9.6	19.0	3.2	5.2	1.5	
	50歳代	511	86.9	50.9	5.3	16.8	1.8	3.5	2.3	
	60歳代	240	84.2	55.8	3.8	18.3	2.9	5.8	1.3	
	70歳以上	111	84.7	46.8	3.6	30.6	1.8	6.3	0.9	
居住地域別	旧旭村	425	73.9	34.6	7.5	20.7	4.7	12.7	0.9	
	旧銚田町	994	86.2	49.8	5.6	16.0	2.8	5.6	1.7	
	旧大洋村	387	73.1	34.1	7.8	28.7	1.6	9.3	2.1	

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】「広報ほこた」で40歳代以上が80%を超えており、30歳代以下より高くなっている。

「銚田市議会だより」も同様に、40歳代以上が50%前後を占め、30歳代以下より高くなっている。また、「銚田市ホームページ」は10歳代・30歳代・40歳代で8.0%・9.7%・9.6%と、他の年齢層よりわずかながら高くなっている。

【居住地域別】旧銚田町が「広報ほこた」・「銚田市議会だより」で86.2%・49.8%と、他の地域より高くなっている。「新聞、雑誌」では旧大洋村が28.7%と、他の地域より高くなっている。

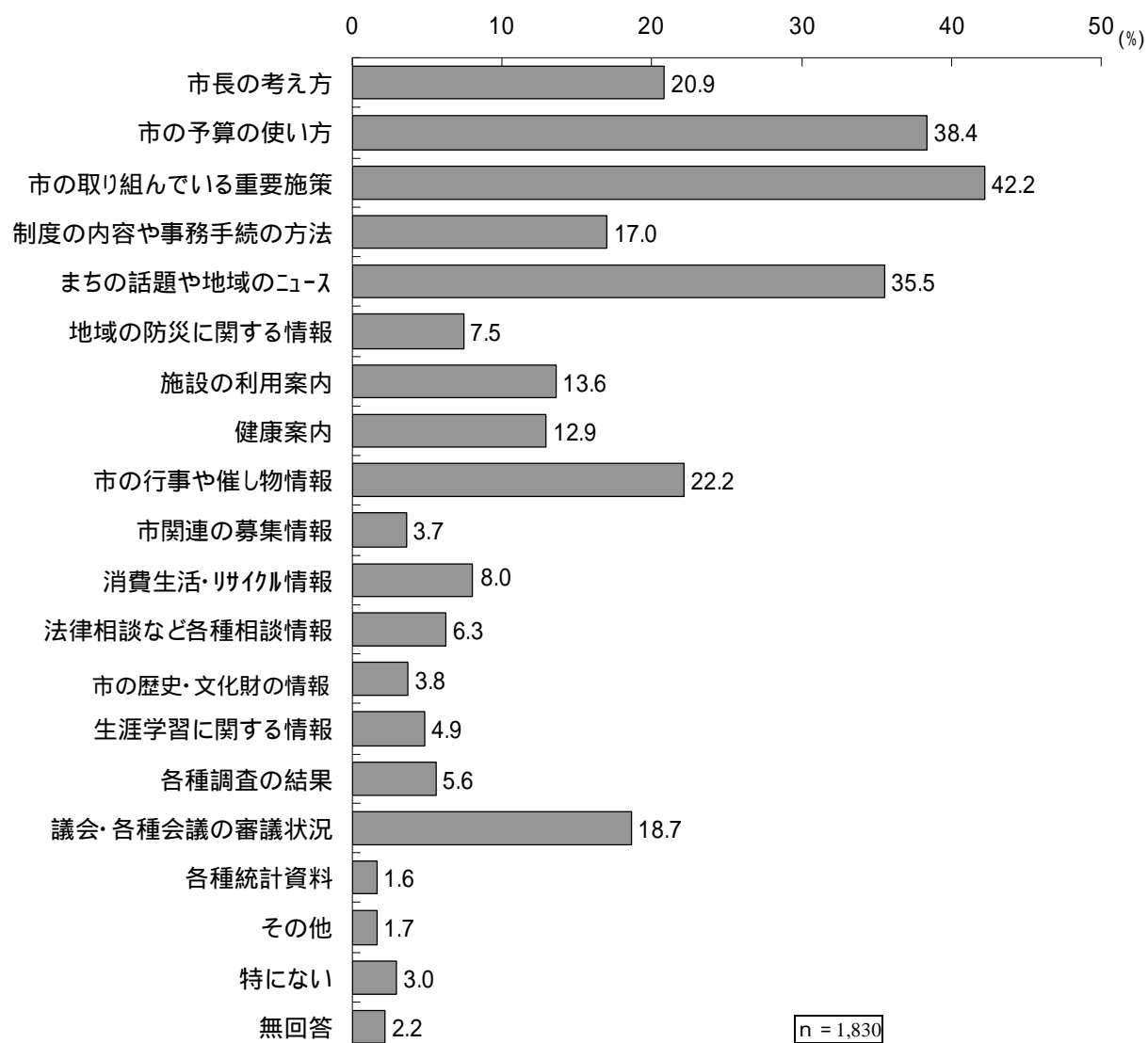
(3) 知りたい市政情報

「市の取り組んでいる重要施策」42.2%、「市の予算の使い方」38.4%、「まちの話題や地域のニュース」35.5%が上位。

問8 あなたは、広報紙などから得られる情報のうち、市政について、日ごろ特に知りたいと思っているのはどのようなことですか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	市長の考え方	20.9	%
2	市の予算の使い方	38.4	
3	市の取り組んでいる重要施策	42.2	
4	制度の内容や事務手続の方法	17.0	
5	まちの話題や地域のニュース	35.5	
6	地域の防災に関する情報	7.5	
7	施設の利用案内	13.6	
8	健康案内	12.9	
9	市の行事や催し物情報	22.2	
10	市関連の募集情報	3.7	
11	消費生活・リサイクル情報	8.0	
12	法律相談など各種相談情報	6.3	
13	市の歴史・文化財の情報	3.8	
14	生涯学習に関する情報	4.9	
15	各種調査の結果	5.6	
16	議会・各種会議の審議状況	18.7	
17	各種統計資料	1.6	
18	その他	1.7	
19	特にない	3.0	
	無回答	2.2	{ n = 1,830 }

< 図表 3 - 5 > 知りたい市政情報（全体）



【全体】知りたい市政情報については、「市の取り組んでいる重要施策」（42.2%）、「市の予算の使い方」（38.4%）、「まちの話題や地域のニュース」（35.5%）が高くなっている。その他、「市の行事や催し物情報」（22.2%）、「市長の考え方」（20.9%）、「議会・各種会議の審議状況」（18.7%）が2割前後で続いている。

< 図表 3 - 6 > 知りたい市政情報（全体・性別・年齢別・居住地域別）

	合計 (n)	市長の考え方	市の予算の使い方	市の取り組み 重要施策	市の取り組み 重要施策	制度の内容や 事務手続	まちの話題や 地域のニュース	地域の防災に 関する情報	施設の利用 案内	健康案内	市の行事や 催し物情報	市関連の募 集情報	消費生活・ リサイクル 情報	法律相談な ど各種相談 情報	市の歴史・ 文化財の情 報	生涯学習に 関する情報	各種調査の 結果	議会・各種 会議の審議 状況	各種統計資 料	その他	特にな い	無回 答
全体	1830	20.9	38.4	42.2	17.0	35.5	7.5	13.6	12.9	22.2	3.7	8.0	6.3	3.8	4.9	5.6	18.7	1.6	1.7	3.0	2.2	
性別	男性	858	26.5	44.9	48.7	14.8	30.1	6.9	10.0	9.1	16.9	2.6	7.1	7.1	4.2	3.7	8.0	25.1	2.3	1.9	2.6	1.7
	女性	916	15.2	32.4	36.7	19.4	40.7	8.2	17.1	16.5	27.8	4.8	8.8	5.6	3.5	5.9	3.7	12.6	1.0	1.6	3.3	2.1
年齢別	10歳代	50	10.0	46.0	24.0	8.0	36.0	12.0	16.0	8.0	28.0	6.0	10.0	0.0	2.0	8.0	12.0	8.0	8.0	2.0	6.0	0.0
	20歳代	253	11.1	38.7	32.8	17.8	36.4	8.7	22.5	9.9	20.6	8.3	8.7	8.7	4.3	3.6	6.3	5.5	2.0	3.2	7.1	1.6
	30歳代	269	10.8	38.3	39.4	23.4	36.4	11.9	16.4	13.4	27.5	3.7	7.1	5.9	2.2	5.2	4.8	8.9	1.1	3.0	4.1	1.1
	40歳代	343	18.7	37.9	43.1	21.6	33.2	7.3	14.0	12.5	25.7	3.5	10.5	7.0	2.9	5.2	4.7	16.6	1.2	1.5	2.6	2.3
	50歳代	511	23.1	39.7	44.2	16.2	38.9	5.7	10.4	13.5	20.2	3.1	7.4	5.1	2.9	4.3	6.5	26.6	1.6	0.6	1.2	2.7
	60歳代	240	32.5	35.8	51.3	11.7	31.7	5.8	10.8	11.7	21.7	0.8	6.3	7.9	6.3	5.8	5.4	26.7	1.7	2.5	1.7	1.7
	70歳以上	111	40.5	36.0	52.3	9.0	31.5	5.4	8.1	19.8	16.2	1.8	6.3	4.5	8.1	4.5	5.4	29.7	0.9	0.0	0.9	0.9
居住地域別	旧旭村	425	20.2	40.5	36.7	17.2	36.0	8.7	14.4	13.2	18.8	4.9	6.6	6.4	3.5	6.1	5.6	17.4	2.6	2.4	4.2	1.4
	旧鉾田町	994	20.8	38.7	44.1	17.6	36.2	7.2	13.3	11.5	22.8	3.7	7.5	6.3	4.1	4.3	5.7	18.9	1.4	1.6	2.3	2.3
	旧大洋村	387	22.0	34.6	43.7	15.0	34.4	7.0	13.4	16.3	24.5	2.3	10.9	6.5	3.4	4.7	5.2	19.6	1.0	1.3	3.1	2.6

【性別】男性が、女性と比較して、高くなっているものとしては、「市長の考え方」、「市の予算の使い方」、「市の取り組んでいる重要施策」、「議会・各種会議の審議状況」などがある。一方、女性の方が高くなっているものとしては、「まちの話題や地域のニュース」、「施設の利用案内」、「健康案内」、「市の行事や催し物情報」などがある。

【年齢別】「市長の考え方」で60歳代・70歳以上が32.5%・40.5%と、他の年齢層より高くなっている。「市の取り組んでいる重要施策」も60歳代・70歳以上が51.3%・52.3%と、年齢が上がるにつれ、高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

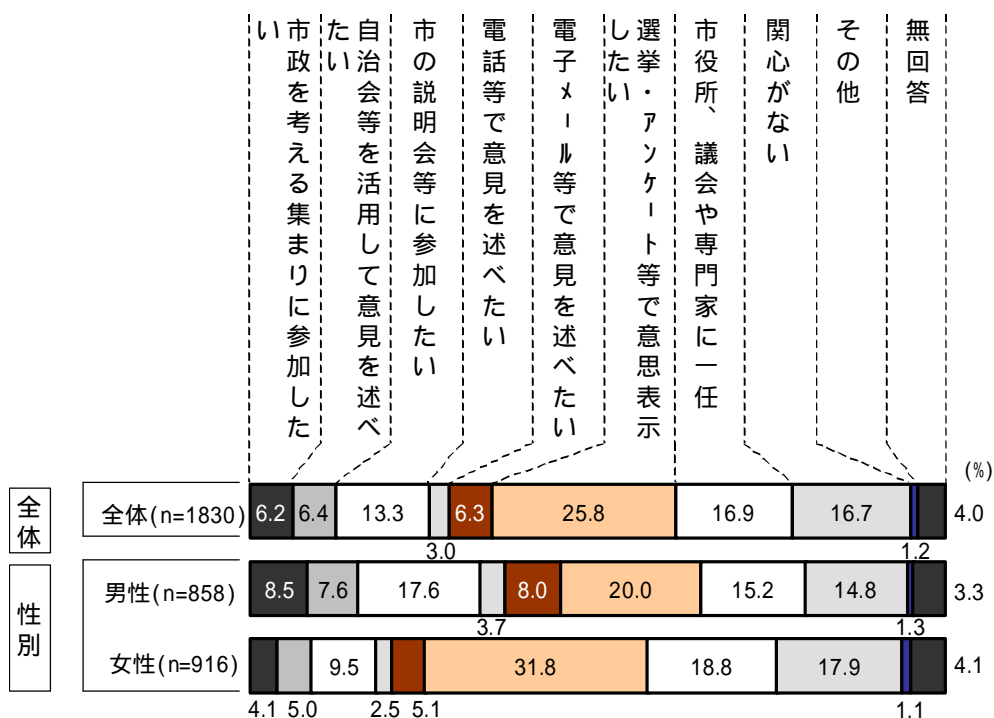
(4) 市政への参加意向

「選挙やアンケートなどで意思表示したい」25.8%、「市役所、議会や専門家に一任」16.9%、「関心がない」16.7%、「市の説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」13.3%の順。

問9 あなたは、市政への参加についてどのようにお考えですか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】

1	市政を考える自主的な集まりや組織に参加したい	6.2 %
2	自治会や各種の団体（地域団体）を活用して意見を述べたい	6.4
3	市の説明会や公聴会、懇談会などに参加したい	13.3
4	電話をしたり、市役所に行って意見を述べたい	3.0
5	電子メール・ファックスで意見を述べたい	6.3
6	選挙やアンケートなどで意思表示したい	25.8
7	市役所、議会や専門家に一任	16.9
8	関心がない	16.7
9	その他	1.2
	無回答	4.0 [n = 1,830]

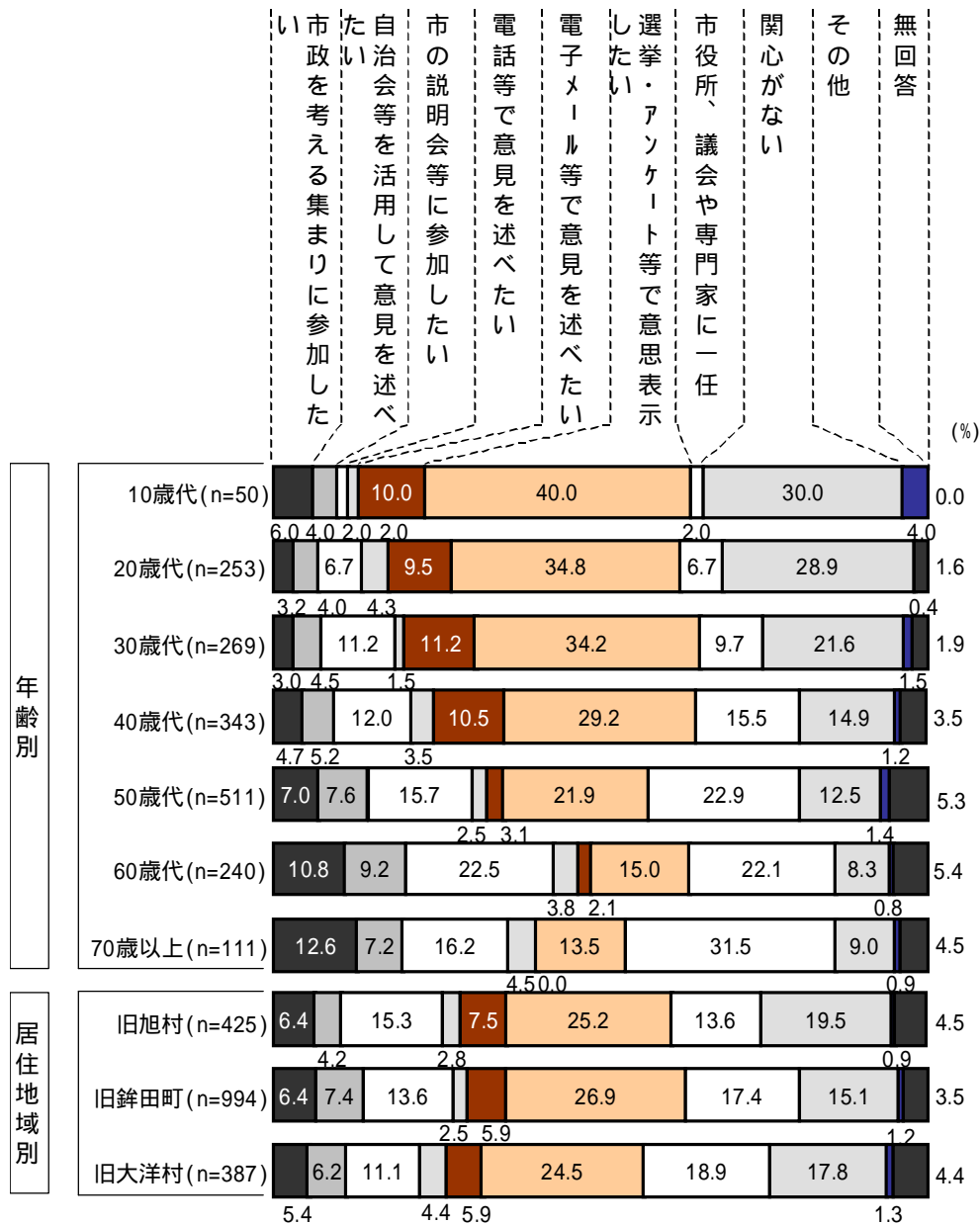
< 図表 3 - 7 > 市政への参加意向（全体・性別）



【全体】市政への参加意向については、「選挙やアンケートなどで意思表示したい」が25.8%と最も高くなっている。続いて、「市役所、議会や専門家に一任」(16.9%)、「関心がない」(16.7%)、「市の説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」(13.3%)となっている。

【性別】男性で高いものとしては、「市の説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」が 17.6%となっており、女性より 8.1 ポイント高くなっている。一方、女性で高いものとしては、「選挙やアンケートなどで意思表示したい」が 31.8%となっており、男性より 11.8 ポイント高くなっている。

< 図表 3 - 8 > 市政への参加意向（年齢別・居住地域別）



【年齢別】選挙やアンケートなどで意思表示したい」が 10 歳代・20 歳代・30 歳代で 40.0%・34.8%・34.2%と、他の年齢層より高くなっている。「関心がない」も 10 歳代・20 歳代で 30.0%・28.9%と高くなっている。また、「市の説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」が 60 歳代で 22.5%と他の年齢層より高い。「市役所、議会や専門家に一任」は 70 歳以上で 31.5%と、他の年齢層より高い。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

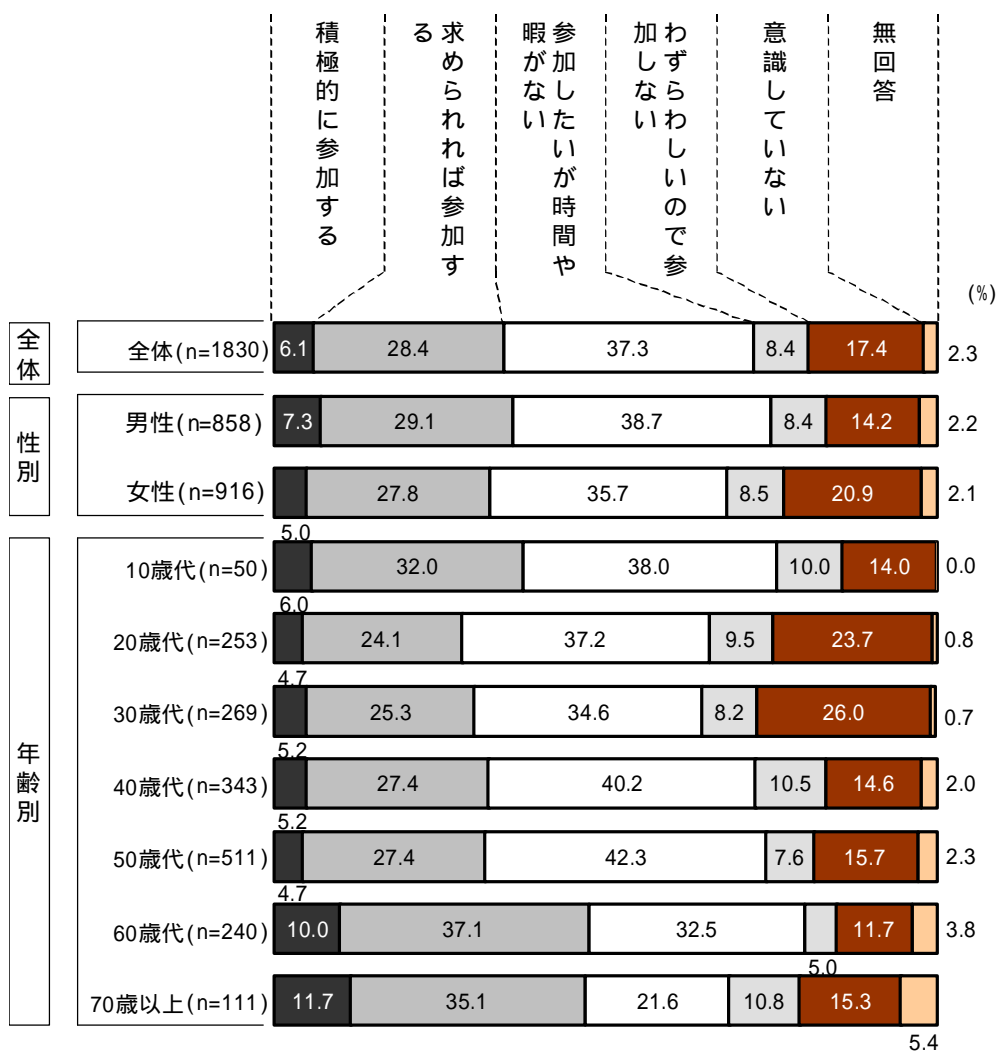
4 コミュニティについて

(1) まちづくり等への参加意向

「参加したいが時間や暇がない」37.3%、「求められれば参加する」28.4%、「意識していない」17.4%の順。

問10 地域の「まちづくり」や「コミュニティ（地域社会）づくり」などへの参加について、どのようにお考えですか。次の中から選んでください。【は1つだけ】		
1	積極的に参加する	6.1 %
2	求められれば参加する	28.4
3	参加したいが時間や暇がない	37.3
4	わずらわしいので参加しない	8.4
5	意識していない	17.4
	無回答	2.3 [n = 1,830]

<図表4 - 1>まちづくり等への参加意向（全体・性別・年齢別）



【全体】まちづくり等への参加意向については、「参加したいが時間や暇がない」が最も高く、37.3%となっている。続いて「求められれば参加する」28.4%、「意識していない」17.4%となっている。

【性別】大きな差異はみられないが、女性の「意識していない」が20.9%と、男性より6.7ポイント高くなっている。

【年齢別】60歳代・70歳以上では、「求められれば参加する」が37.1%・35.1%と、「参加したいが時間や暇がない」より高くなっている。

< 図表4 - 2 > まちづくり等への参加意向（全体・居住年数別・職業別・居住地域別）

		合計 (n)	積極的に参加する	求められれば参加する	参加したいが時間や暇がない	わずらわしいので参加しない	意識していない	無回答
全体		1830	6.1	28.4	37.3	8.4	17.4	2.3
居住年数別	5年未満	157	5.7	33.1	28.0	7.6	22.3	3.2
	5～9年	110	8.2	29.1	33.6	16.4	10.9	1.8
	10～19年	240	7.1	28.8	34.2	9.2	18.3	2.5
	20年以上	1291	5.8	27.5	39.7	7.7	17.3	2.1
職業別	農業	343	4.4	25.7	46.1	6.4	14.6	2.9
	林業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	漁業	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業	190	10.0	30.0	41.6	5.3	10.5	2.6
	家事従事	181	4.4	30.9	29.3	11.0	23.2	1.1
	パートアルバイト	201	2.0	26.9	35.3	8.0	25.4	2.5
	会社員	442	4.1	21.3	45.0	9.3	18.8	1.6
	公務員	110	9.1	32.7	40.0	7.3	10.0	0.9
	団体職員	16	12.5	18.8	31.3	12.5	25.0	0.0
	学生	75	9.3	33.3	38.7	4.0	13.3	1.3
	無職	195	12.8	37.9	13.3	14.9	16.4	4.6
	その他	55	5.5	41.8	27.3	1.8	21.8	1.8
居住地域別	旧旭村	425	5.6	27.5	36.9	8.9	19.3	1.6
	旧鉾田町	994	5.4	27.7	40.1	8.0	16.7	2.0
	旧大洋村	387	8.5	31.0	30.7	8.5	17.8	3.4

【居住年数別】5～9年で「わずらわしいので参加しない」が16.4%と、他より高くなっている。

【職業別】基数が少ないものは分析の対象外とする。

「積極的に参加する」で無職が、「求められれば参加する」で公務員・学生・無職・その他が、「参加したいが時間や暇がない」で農業・自営業・会社員・公務員が、それぞれ他の職業より高くなっている。

【居住地域別】旧大洋村が「参加したいが時間や暇がない」で30.7%と、他の地域より低くなっている。

(2) 参加したい地域活動

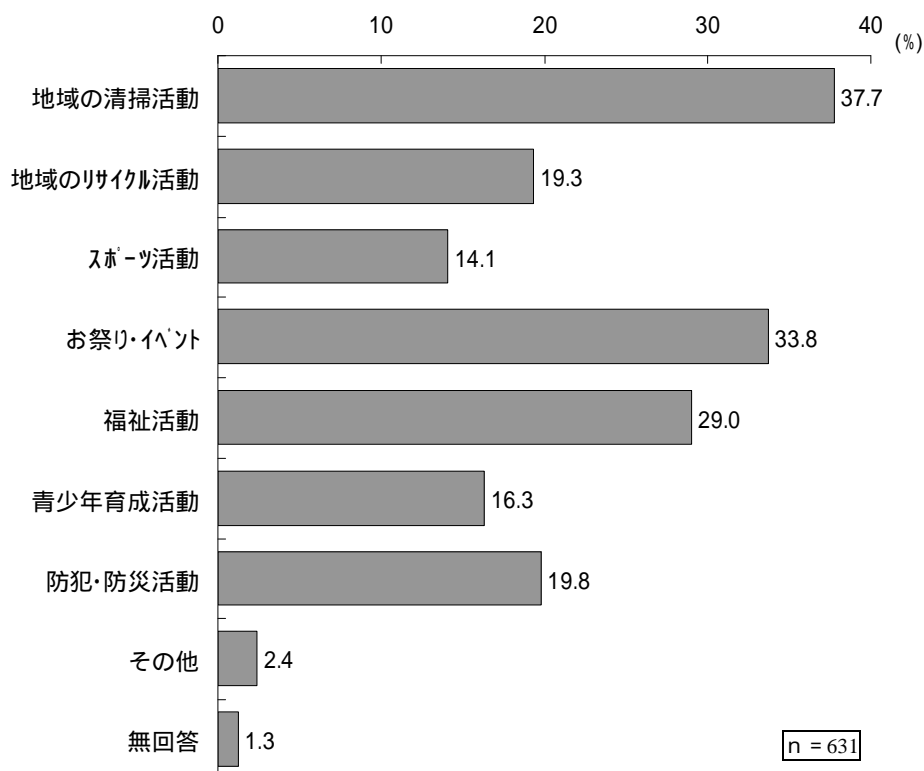
「地域の清掃活動」37.7%、「お祭り・イベント」33.8%、「福祉活動」29.0%の順。

<問10で1、2のいずれかを回答された方のみにおたずねします>

問10-1 主にどのような地域活動に参加したいとお考えですか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つまで】

1	地域の清掃活動	37.7	%
2	地域のリサイクル活動	19.3	
3	スポーツ活動(少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など)	14.1	
4	お祭り・イベント	33.8	
5	福祉活動(福祉団体,子育て支援など)	29.0	
6	青少年育成活動	16.3	
7	防犯・防災活動	19.8	
8	その他	2.4	
	無回答	1.3	{ n = 631 }

<図表4-3> 参加したい地域活動(全体)



【全体】参加したい地域活動については、「地域の清掃活動」が37.7%と最も高くなっている。その他「お祭り・イベント」(33.8%)、「福祉活動」(29.0%)と続いている。

< 図表 4 - 4 > 参加したい地域活動（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	地域の 清掃活動	地域の リサイクル活動	スポーツ 活動	お祭り・ イベント	福祉活動	青少年 育成活動	防犯・ 防災活動	その他	無回答
全体		631	37.7	19.3	14.1	33.8	29.0	16.3	19.8	2.4	1.3
性別	男性	313	38.0	16.0	19.2	30.0	17.9	21.4	28.8	3.8	1.0
	女性	301	37.9	22.9	9.6	37.2	40.2	11.6	11.0	1.0	1.0
年齢別	10歳代	19	21.1	21.1	31.6	57.9	26.3	0.0	10.5	0.0	0.0
	20歳代	73	26.0	6.8	30.1	49.3	28.8	9.6	20.5	1.4	0.0
	30歳代	82	35.4	12.2	12.2	43.9	36.6	9.8	20.7	0.0	1.2
	40歳代	112	33.0	17.0	21.4	30.4	28.6	25.9	17.0	5.4	0.0
	50歳代	164	40.9	24.4	9.8	29.9	28.0	20.7	18.9	1.8	1.2
	60歳代	113	47.8	27.4	5.3	23.0	25.7	17.7	22.1	4.4	1.8
	70歳以上	52	44.2	21.2	7.7	25.0	26.9	9.6	26.9	0.0	3.8
居住地域別	旧旭村	141	34.0	17.7	16.3	41.1	30.5	14.9	19.1	2.1	0.7
	旧鉾田町	329	36.5	17.0	14.0	31.6	30.1	17.9	20.4	2.7	1.5
	旧大洋村	153	43.8	26.1	12.4	31.4	25.5	14.4	19.0	1.3	1.3

【性別】女性が高いものとして「福祉活動」があり、40.2%と男性より22.3ポイント高くなっている。同じように「お祭り・イベント」も、男性より7.2ポイント高くなっている。一方、男性が高いものとして、「スポーツ活動」・「青少年育成活動」・「防犯・防災活動」がある。

【年齢別】「地域の清掃活動」で50歳代以上が4割を超えており、40歳代以下より高くなっている。一方、「スポーツ活動」では、10歳代・20歳代で3割を超えており、30歳代以上より高くなっている。同じように「お祭り・イベント」では10歳代・20歳代・30歳代で4割を超え、40歳代以上より高くなっている。

【居住地域別】「地域の清掃活動」で旧大洋村が43.8%と、他の地域より高くなっている。「お祭り・イベント」では旧旭村が41.1%と、他の地域より高くなっている。

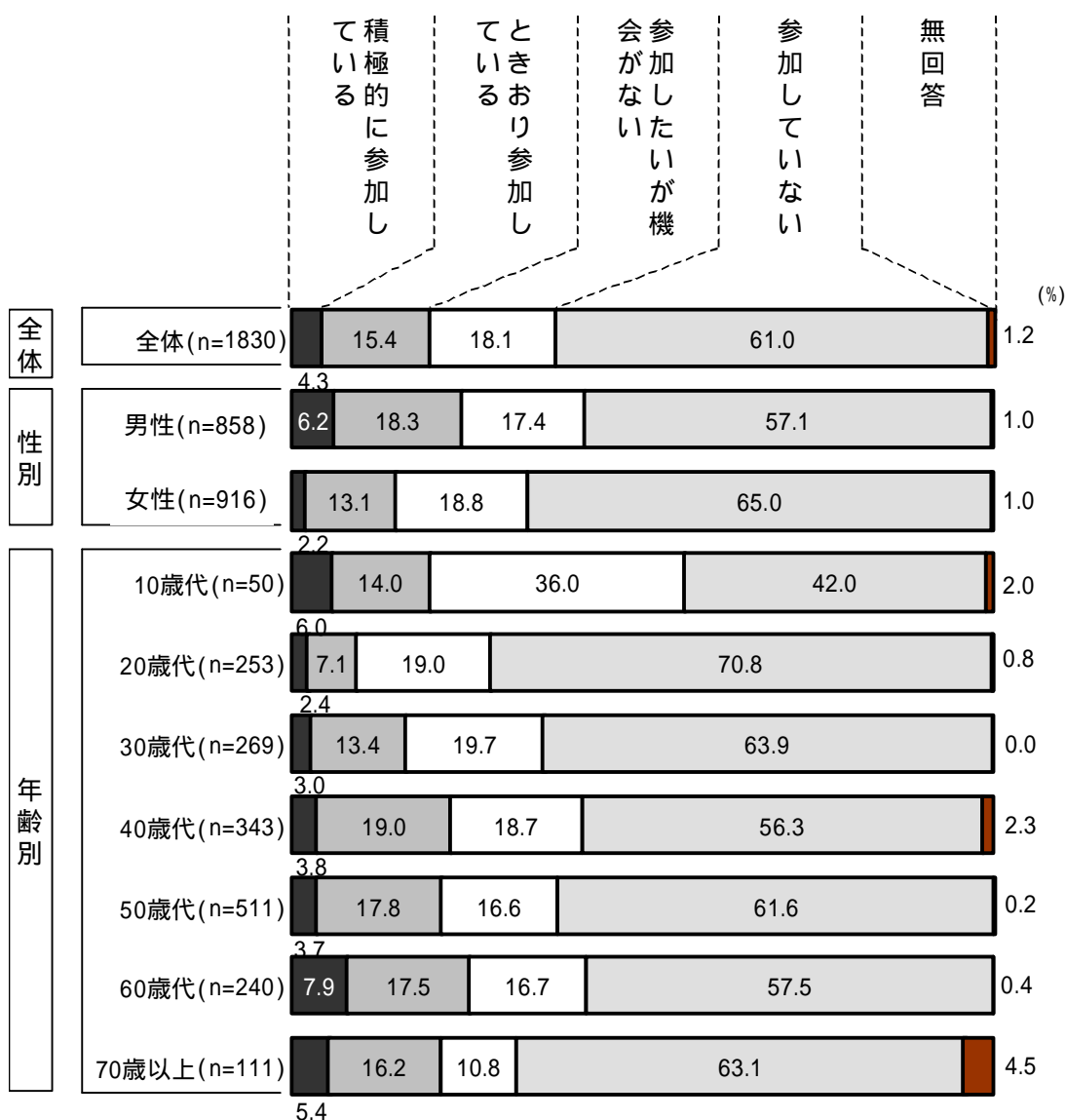
(3) ボランティア活動への参加度

『参加している』（「積極的に参加している」+「ときおり参加している」=19.7%）は約2割。

問11 あなたは、ボランティア活動に参加していますか。次の中から選んでください。
【 は1つだけ】

1	積極的に参加している	4.3	%
2	ときおり参加している	15.4	
3	参加したいが機会がない	18.1	
4	参加していない	61.0	
	無回答	1.2	{ n = 1,830 }

<図表4-5> ボランティア活動への参加度（全体・性別・年齢別）



【全体】ボランティア活動への参加度については、「参加していない」が最も高く、61.0%となっている。「積極的に参加している」と「ときおり参加している」を合わせた『参加している』は、19.7%となっている。

【性別】「参加していない」で女性が65.0%と、男性より7.9ポイント高くなっている。

【年齢別】10歳代で「参加したいが機会がない」が36.0%と、他の年齢層より高くなっている。

< 図表 4 - 6 > ボランティア活動への参加度（全体・居住年数別・職業別・居住地域別）

		合計 (n)	い 積 極 的 に 参 加 し て	い と き お り 参 加 し て	が 参 加 し た い が 機 会 が な い	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1830	4.3	15.4	18.1	61.0	1.2
居 住 年 数 別	5年未満	157	2.5	10.2	22.9	63.7	0.6
	5～9年	110	6.4	8.2	20.9	64.5	0.0
	10～19年	240	3.3	14.2	17.9	63.3	1.3
	20年以上	1291	4.5	17.0	17.4	60.1	1.1
職 業 別	農業	343	5.0	14.3	12.0	67.9	0.9
	林業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	漁業	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自営業	190	6.8	20.5	19.5	52.1	1.1
	家事従事	181	0.6	16.0	13.8	69.1	0.6
	パート・アルバイト	201	3.0	10.4	19.9	66.2	0.5
	会社員	442	4.3	13.8	22.9	57.9	1.1
	公務員	110	2.7	28.2	12.7	55.5	0.9
	団体職員	16	0.0	25.0	12.5	56.3	6.3
	学生	75	5.3	17.3	29.3	46.7	1.3
	無職	195	5.1	12.8	19.0	61.0	2.1
	その他	55	7.3	14.5	18.2	60.0	0.0
域 居 住 地 別	旧旭村	425	3.1	15.1	18.6	62.6	0.7
	旧鉾田町	994	3.7	16.8	18.5	60.1	0.9
	旧大洋村	387	7.0	12.4	17.3	61.8	1.6

【居住年数別】居住年数別による大きな差異はみられない。

【職業別】基数が少ないものは分析の対象外とする。

自営業が『参加している』で27.3%と、他の職業より高くなっている。同じように、公務員が『参加している』で30.9%と、他の職業より高くなっている。また、学生が「参加したいが機会がない」で29.3%と、他の職業より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

(4) 参加しているボランティア活動

「環境美化活動」が6割を越し突出。

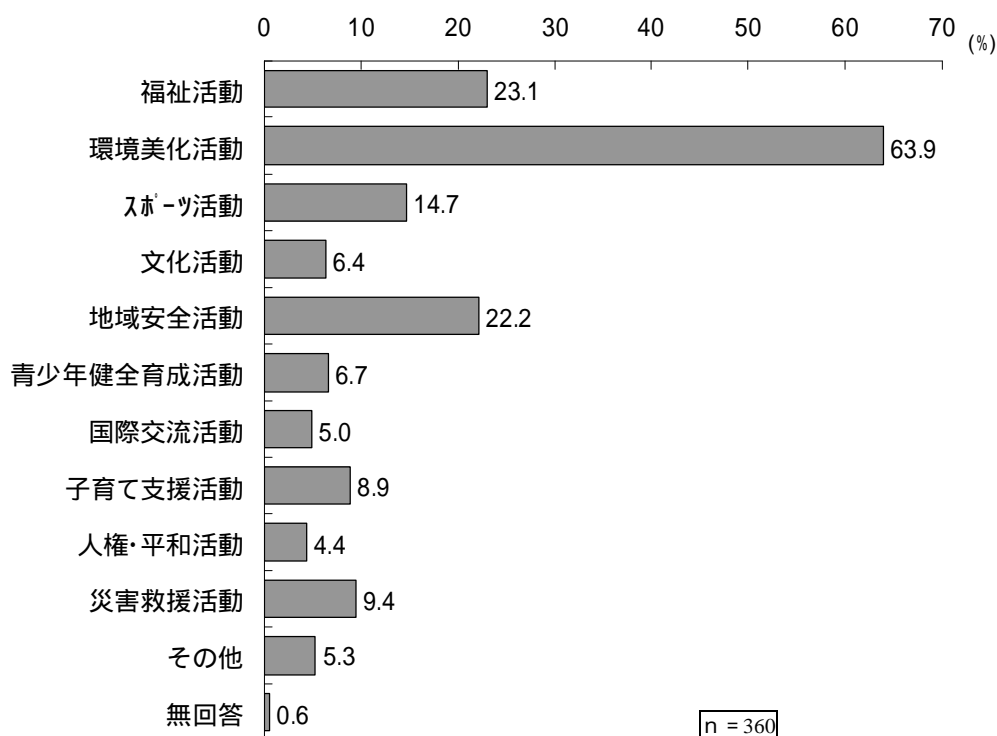
<問11で1、2のいずれかを回答された方のみにおたずねします>

問11-1 主にどのようなボランティア活動に参加されていますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	福祉活動（高齢者・病人・身障者の介護など）	23.1	%
2	環境美化活動（道路・公園・河川等の清掃など）	63.9	
3	スポーツ活動（少年野球・バレーボール・サッカー等の指導など）	14.7	
4	文化活動（書道・絵画・手芸等の指導など）	6.4	
5	地域安全活動（交通整理・事故防止運動、犯罪防止活動など）	22.2	
6	青少年健全育成活動（非行防止運動、キャンプ等の指導など）	6.7	
7	国際交流活動	5.0	
8	子育て支援活動	8.9	
9	人権・平和活動	4.4	
10	災害救援活動	9.4	
11	その他	5.3	
	無回答	0.6	

{ n = 360 }

<図表4-7> 参加しているボランティア活動（全体）



【全体】参加しているボランティア活動については、「環境美化活動」が 63.9%で突出している。その他「福祉活動」(23.1%)、「地域安全活動」(22.2%)と続いている。

< 図表 4 - 8 > 参加しているボランティア活動 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		福祉活動	環境美化活動	スポーツ活動	文化活動	地域安全活動	青少年健全育成活動	国際交流活動	子育て支援活動	人権・平和活動	災害救援活動	その他	無回答	
合計 (n)														
全体		360	23.1	63.9	14.7	6.4	22.2	6.7	5.0	8.9	4.4	9.4	5.3	0.6
性別	男性	210	17.1	66.2	18.1	5.2	22.9	6.7	5.7	4.3	5.2	13.3	6.7	0.0
	女性	140	32.9	60.7	10.0	7.9	20.7	6.4	4.3	14.3	3.6	3.6	2.9	1.4
年齢別	10歳代	10	30.0	70.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	20歳代	24	37.5	37.5	29.2	8.3	8.3	0.0	4.2	16.7	8.3	16.7	4.2	0.0
	30歳代	44	25.0	56.8	15.9	4.5	15.9	0.0	2.3	4.5	4.5	20.5	4.5	2.3
	40歳代	78	15.4	61.5	25.6	2.6	16.7	6.4	6.4	11.5	2.6	6.4	5.1	0.0
	50歳代	110	22.7	70.9	10.0	4.5	29.1	8.2	5.5	10.0	7.3	6.4	4.5	0.0
	60歳代	61	21.3	70.5	8.2	11.5	29.5	11.5	3.3	4.9	1.6	6.6	6.6	0.0
	70歳以上	24	37.5	62.5	4.2	12.5	16.7	4.2	4.2	0.0	4.2	12.5	8.3	4.2
居住地域別	旧旭村	77	27.3	46.8	14.3	6.5	16.9	5.2	1.3	9.1	6.5	11.7	9.1	0.0
	旧鉾田町	204	22.5	69.1	15.7	4.9	22.1	7.8	5.9	10.3	3.4	7.8	4.9	1.0
	旧大洋村	75	18.7	68.0	12.0	10.7	28.0	5.3	6.7	5.3	5.3	12.0	1.3	0.0

【性別】男性が高いものとして、「スポーツ活動」・「災害救援活動」があり、それぞれ 8.1 ポイント・9.7 ポイント女性より高くなっている。一方、女性が高いものとして、「福祉活動」・「子育て支援活動」があり、それぞれ 15.8 ポイント・10.0 ポイント高くなっている。

【年齢別】基数が少ないため数字は参考程度でしかないが、「環境美化活動」で 20 歳代・50 歳代・60 歳代が 70.0%・70.9%・70.5%と、他の年齢層より高くなっている。また、「地域安全活動」で 50 歳代・60 歳代が 29.1%・29.5%と、他の年齢層より高くなっている。

その他、「子育て支援活動」で 20 歳代が 16.7%、「災害救援活動」で 20 歳代・30 歳代が 16.7%・20.5%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】旧旭村で「環境美化活動」が 46.8%と、他の地域より低くなっている。

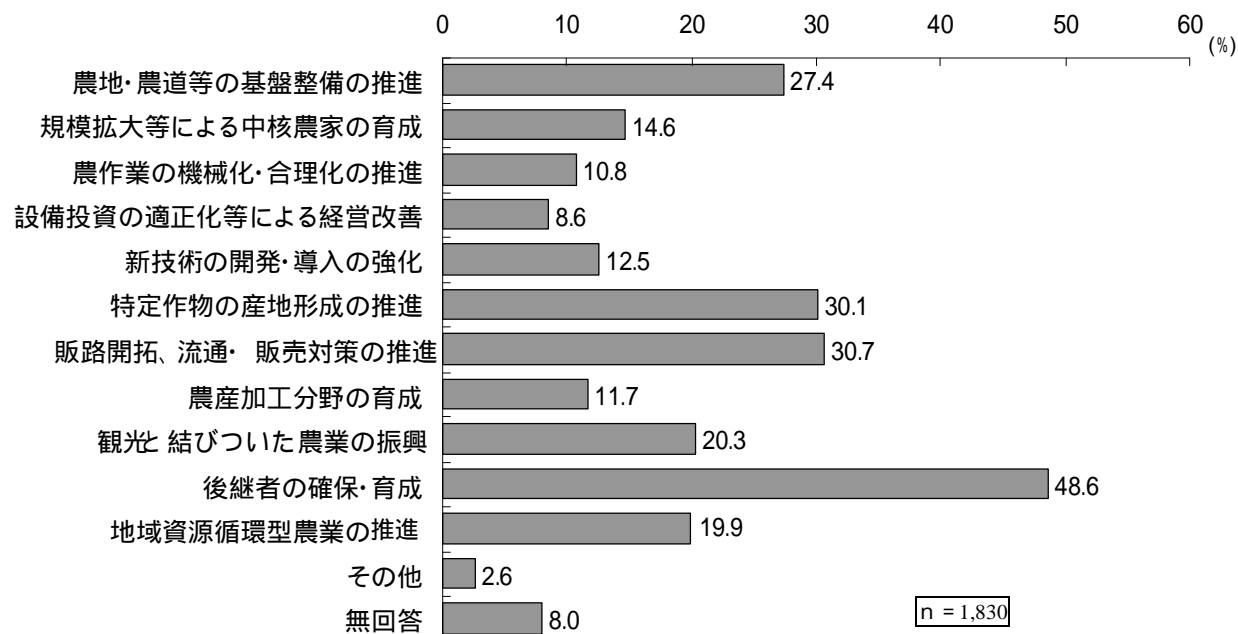
5 施策について

(5) 農業振興で重要なこと

約半数の人が「後継者の確保・育成」をあげた。その他「農産物の流通改善や販路開拓、直販事業などの流通・販売対策の推進」、「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」、「農地や農道、用排水路などの基盤整備の推進」などが3割前後で上位。

問12 銚田市の農業振興について何が重要だとお考えですか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】	
1 農地や農道、用排水路などの基盤整備の推進	27.4 %
2 農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成	14.6
3 農作業の機械化・合理化の推進	10.8
4 協業化の推進や設備投資の適正化などによる経営改善	8.6
5 新技術の開発・導入や研究開発機能の強化	12.5
6 特定作物の産地形成やブランド対策の推進	30.1
7 農産物の流通改善や販路開拓、直販事業などの流通・販売対策の推進	30.7
8 農業と相互振興する農産加工分野の育成	11.7
9 体験農業や観光農業など観光と結びついた農業の振興	20.3
10 後継者の確保・育成	48.6
11 良質な土づくりのための地域資源循環型農業の推進	19.9
12 その他	2.6
無回答	8.0
[n = 1,830]	

< 図表 5 - 1 > 農業振興で重要なこと (全体)



【全体】農業振興で重要なことについては、「後継者の確保・育成」が 48.6%と、半数近くを占めている。その他「農産物の流通改善や販路開拓、直販事業などの流通・販売対策の推進」(30.7%)、「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」(30.1%)、「農地や農道、用排水路などの基盤整備の推進」(27.4%)が3割前後で続いている。

< 図表 5 - 2 > 農業振興で重要なこと (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	整備地・農道等の基盤	核農家の育成による中	規模拡大による中	農作の機械化・合理化の推進	農機の導入	設備投資の適正化等	新技術の開発・導入	特定作物の産地形成	販路開拓、流通・販売	農産加工分野の育成	観光と結びついた農業の振興	後継者の確保・育成	地域資源循環型農業の推進	その他	無回答
全体		1830	27.4	14.6	10.8	8.6	12.5	30.1	30.7	11.7	20.3	48.6	19.9	2.6	8.0	(%)	
性別	男性	858	29.6	19.1	12.6	9.6	14.7	32.8	30.0	11.4	20.4	45.8	18.3	2.8	6.6		
	女性	916	25.4	10.3	9.5	7.9	10.5	28.2	31.8	12.3	21.1	51.1	22.1	2.3	8.3		
年齢別	10歳代	50	24.0	6.0	10.0	4.0	18.0	44.0	18.0	4.0	26.0	56.0	12.0	2.0	6.0		
	20歳代	253	24.5	9.1	13.0	9.9	10.3	39.9	26.1	7.5	26.1	47.8	14.6	3.2	6.3		
	30歳代	269	22.3	11.9	11.2	9.3	16.0	32.3	26.4	10.4	23.0	45.4	21.2	4.5	4.8		
	40歳代	343	24.8	16.0	10.8	9.9	13.4	25.7	34.4	14.0	19.5	51.3	20.4	2.0	5.8		
	50歳代	511	28.2	15.5	9.8	7.2	12.5	30.9	35.8	14.9	18.2	49.3	22.3	2.0	7.4		
	60歳代	240	35.0	17.1	9.6	8.3	11.3	23.3	30.8	12.1	19.2	49.2	25.0	2.9	9.2		
	70歳以上	111	37.8	24.3	14.4	9.0	8.1	24.3	25.2	8.1	18.0	42.3	13.5	0.0	18.9		
居住地域別	旧旭村	425	28.7	13.2	11.5	8.2	12.7	28.7	32.7	12.7	18.1	41.9	22.8	3.8	8.7		
	旧鉾田町	994	26.9	16.4	11.2	9.4	13.5	31.4	31.8	11.4	20.2	53.0	18.8	2.7	5.4		
	旧大洋村	387	28.4	12.4	8.8	7.2	10.3	27.9	26.6	11.9	23.3	45.5	19.9	1.3	12.1		

【性別】「農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成」で男性が 19.1%と、女性より 8.8 ポイント高くなっている。

【年齢別】「農地や農道、用排水路などの基盤整備の推進」で 60 歳代・70 歳以上が 35.0%・37.8%と、他の年齢層より高くなっている。「農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成」では 70 歳以上が 24.3%と、他の年齢層より高くなっている。また、「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」では 20 歳代・30 歳代が 44.0%・39.9%と、他の年齢層より高くなっている。

その他、「農産物の流通改善や販路開拓、直販事業などの流通・販売対策の推進」では 40 歳代・50 歳代・60 歳代が 34.4%・35.8%・30.8%と、「体験農業や観光農業など観光と結びついた農業の振興」では 20 歳代・30 歳代・40 歳代が 26.0%・26.1%・23.0%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】「後継者の確保・育成」で旧鉾田町が 53.0%と、他の地域より高くなっている。

(6) 商工業の振興で重要なこと

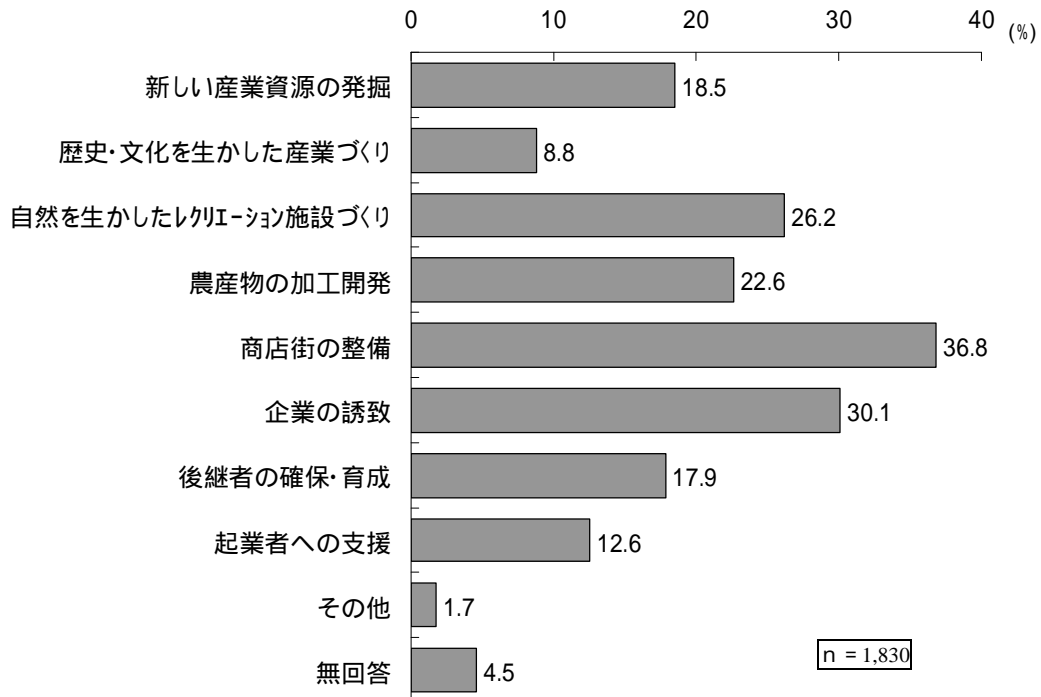
「商店街の整備」36.8%、「企業の誘致」30.1%、「豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり」26.2%、「農産物の加工開発」22.6%が上位。

問13 銚田市の商業や工業の振興について何が重要だとお考えですか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つまで】

1	新しい産業資源の発掘	18.5	%
2	歴史・文化資産を生かした施設や産業づくり	8.8	
3	豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり	26.2	
4	農産物の加工開発	22.6	
5	商店街の整備	36.8	
6	企業の誘致	30.1	
7	後継者の確保・育成	17.9	
8	起業者への支援	12.6	
9	その他	1.7	
	無回答	4.5	

[n = 1,830]

< 図表 5 - 3 > 商工業の振興で重要なこと（全体）



【全体】商工業の振興で重要なことについては、「商店街の整備」が36.8%で最も高く、「企業の誘致」(30.1%)、「豊かな自然を生かしたレジャー・レクリエーション施設づくり」(26.2%)、「農産物の加工開発」(22.6%)が続いている。

< 図表 5 - 4 > 商工業の振興で重要なこと（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	新しい産業資源の発掘	歴史・文化を生かした産業づくり	自然を生かしたレクリエーション施設づくり	農産物の加工開発	商店街の整備	企業の誘致	後継者の確保・育成	起業家への支援	その他	無回答
全体		1830	18.5	8.8	26.2	22.6	36.8	30.1	17.9	12.6	1.7	4.5
性別	男性	858	23.0	8.4	24.2	23.7	31.7	34.7	16.4	13.4	2.3	3.8
	女性	916	14.2	9.3	28.7	21.4	42.5	25.9	19.0	12.1	1.1	4.4
年齢別	10歳代	50	20.0	10.0	28.0	14.0	58.0	14.0	12.0	10.0	0.0	4.0
	20歳代	253	10.7	10.7	33.2	15.4	47.8	21.7	13.8	14.2	2.0	4.0
	30歳代	269	15.6	5.9	28.6	19.7	45.4	30.9	11.9	15.6	0.7	2.2
	40歳代	343	21.0	9.0	25.7	20.4	35.3	29.4	15.7	14.9	2.0	5.0
	50歳代	511	19.0	8.6	24.1	26.6	31.5	35.4	21.3	11.7	1.8	3.7
	60歳代	240	25.0	11.3	23.8	29.2	29.2	31.7	21.3	8.8	2.5	3.8
	70歳以上	111	18.9	5.4	26.1	22.5	36.0	29.7	25.2	10.8	0.9	8.1
居住地域別	旧旭村	425	16.7	12.7	26.6	23.8	35.5	24.9	17.9	13.2	2.1	4.9
	旧鉾田町	994	19.7	7.3	25.8	21.8	39.4	31.0	17.3	13.3	1.8	3.2
	旧大洋村	387	18.1	8.8	26.9	24.0	31.5	32.0	19.9	10.6	1.3	6.2

(%)

【性別】「商店街の整備」で女性が42.5%と、男性より10.8ポイント高くなっている。一方、「企業の誘致」では男性で34.7%と、女性より8.8ポイント高くなっている。

【年齢別】「農産物の加工開発」で50歳代・60歳代が26.6%・29.2%と、他の年齢層より高くなっている。同じように「後継者の確保・育成」で50歳代・60歳代・70歳以上が21.3%・21.3%・25.2%と、他の年齢層より高くなっている。一方、「商店街の整備」では、10歳代・20歳代・30歳代が58.0%・47.8%・45.4%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

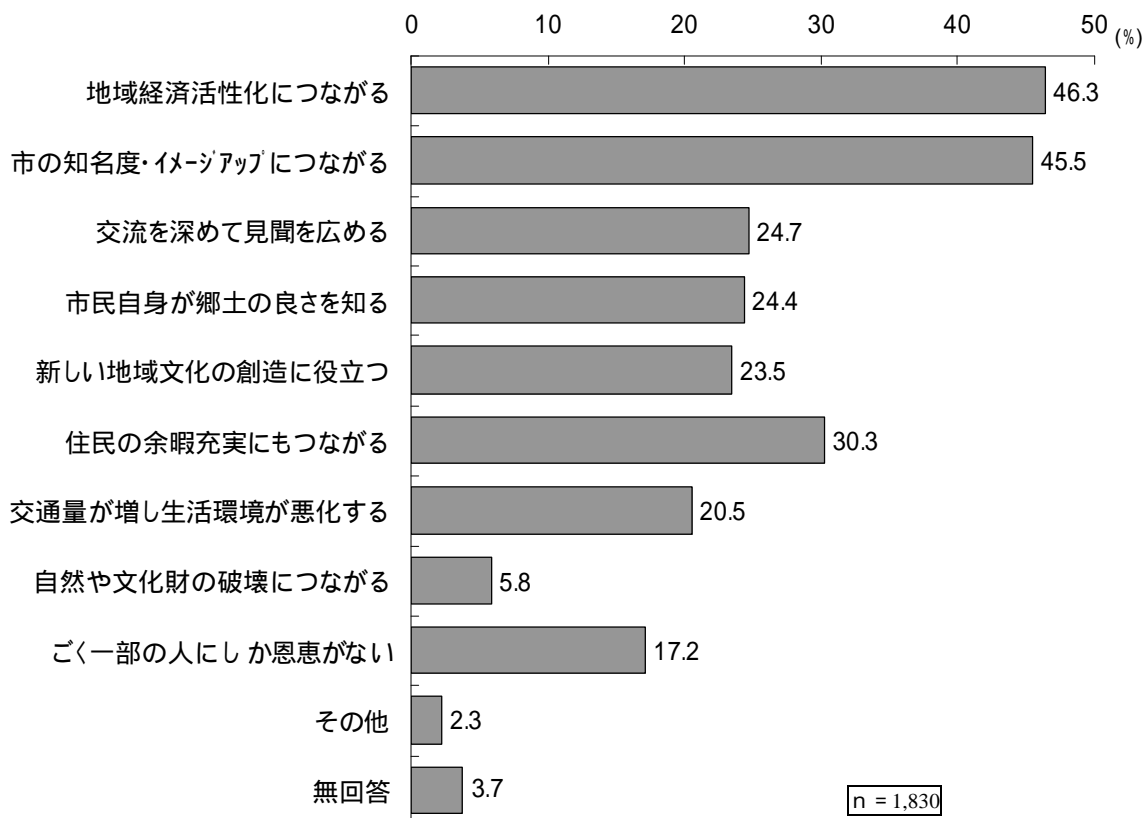
(7) 観光への取組みに対する考え

「雇用の拡大や地域経済活性化につながる」と「市の知名度向上やイメージアップにつながる」が45%前後で高い。続いて「観光客ばかりでなく、住民の余暇充実にもつながる」30.3%など。

問14 あなたは、観光への取組みに対して、どのようにお考えでしょうか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1 雇用の拡大や地域経済活性化につながる	46.3 %
2 市の知名度向上やイメージアップにつながる	45.5
3 多くの人とふれあい、交流を深めたり見聞を広めることができる	24.7
4 市民自身が郷土の良さを知り、学ぶよい機会となる	24.4
5 イベントなど、新しい地域文化の創造に役立つ	23.5
6 観光客ばかりでなく、住民の余暇充実にもつながる	30.3
7 交通量が増加し、ゴミも多くなって生活環境が悪化する	20.5
8 自然や文化財などの破壊につながる	5.8
9 観光業者など、ごく一部の人にしか恩恵がない	17.2
10 その他	2.3
無回答	3.7 [n = 1,830]

< 図表5 - 5 > 観光への取組みに対する考え（全体）



【全体】観光への取組みに対する考えについては、「雇用の拡大や地域経済活性化につながる」が46.3%、「市の知名度向上やイメージアップにつながる」が45.5%と、高くなっている。その他「観光客ばかりでなく、住民の余暇充実にもつながる」(30.3%)などが続いている。

< 図表 5 - 6 > 観光への取組みに対する考え (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	地域 が 経済 活 性 化 に つ な が る	市の 知 名 度 上 が つ な が る	交 流 を 深 め て 見 聞 を 広 め る	市 民 自 身 が 郷 土 の 良 さ を 知 る	新 し い 地 域 文 化 の 創 造 に 役 立 つ	住 民 の 余 暇 充 実 に も つ な が る	境 が 悪 化 す る	交 通 量 が 増 し 生 活 環 境 が 悪 化 す る	自 然 や 文 化 財 の 破 壊 に つ な が る	ご く 一 部 の 人 に し か 恩 恵 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		1830	46.3	45.5	24.7	24.4	23.5	30.3	20.5	5.8	17.2	2.3	3.7	(%)
性別	男性	858	49.0	47.3	23.1	23.2	23.3	30.1	22.7	5.1	18.5	2.9	3.1	
	女性	916	44.5	45.0	26.4	25.7	24.0	30.1	18.7	6.4	15.6	1.7	3.5	
年齢別	10歳代	50	38.0	50.0	26.0	14.0	28.0	24.0	24.0	4.0	18.0	0.0	4.0	
	20歳代	253	41.1	47.0	24.5	16.6	30.8	24.9	23.7	7.5	16.6	2.8	2.0	
	30歳代	269	43.9	52.0	17.8	19.3	23.4	28.6	21.6	6.7	14.9	2.6	2.6	
	40歳代	343	48.4	49.9	21.9	17.8	22.7	28.3	22.2	6.1	20.7	1.7	3.5	
	50歳代	511	48.5	43.8	26.2	27.2	23.5	30.5	19.2	5.3	18.6	2.5	2.9	
	60歳代	240	52.9	38.3	33.3	37.1	20.8	32.9	19.2	5.0	15.0	2.5	3.3	
	70歳以上	111	43.2	44.1	27.0	40.5	17.1	44.1	14.4	4.5	9.0	1.8	8.1	
居住地域別	旧旭村	425	43.3	47.3	27.1	22.6	24.0	29.6	17.9	5.4	15.5	3.1	4.2	
	旧銚田町	994	48.7	48.3	24.2	25.7	23.6	31.3	17.5	5.5	16.9	1.9	2.5	
	旧大洋村	387	44.7	38.0	24.3	23.8	23.5	29.5	30.5	6.7	19.6	2.6	4.4	

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】「市民自身が郷土の良さを知り、学ぶよい機会となる」で60歳代・70歳以上が37.1%・40.5%と、他の年齢層より高くなっている。また、「観光客ばかりでなく、住民の余暇充実にもつながる」で、70歳以上が44.1%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】「交通量が増加し、ゴミも多くなって生活環境が悪化する」で旧大洋村が30.5%と、他の地域より高くなっている。また、「市の知名度向上やイメージアップにつながる」では旧大洋村が38.0%と、他の地域より低くなっている。

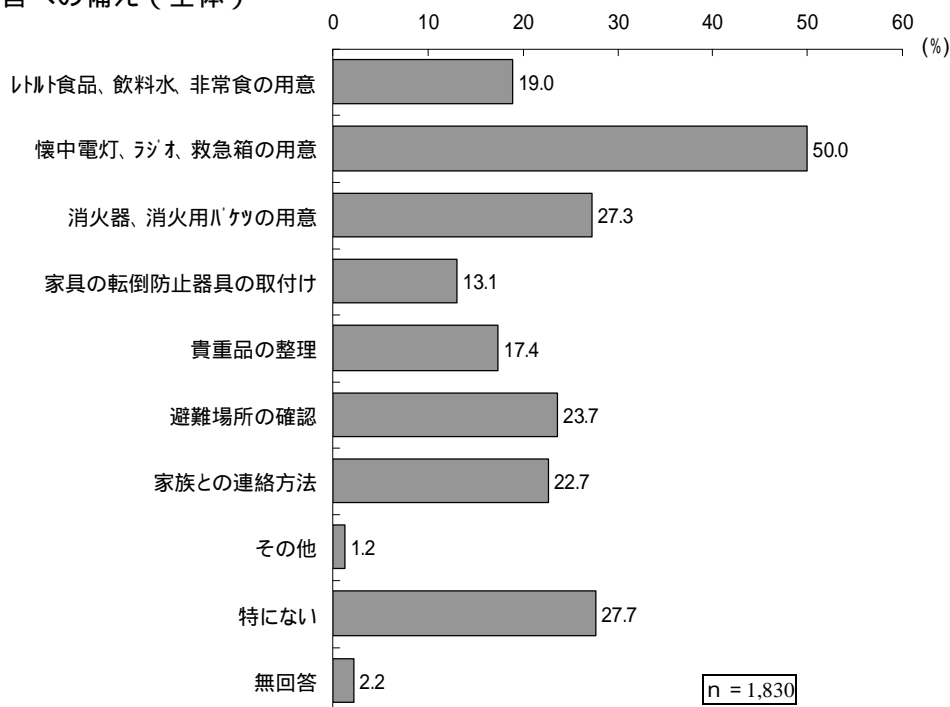
(8) 災害への備え

半数の人が「懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意」をしている。続いて「消火器、消火用バケツなどの用意」、「避難場所の確認」、「家族との連絡方法」など。他方で「特にない」が27.7%存在。

問15 地震などの災害に備えてあなたはどのような準備をしていますか。次の中から該当するものをすべて選んでください。【 はいいくつでも】

1	レトルト食品、飲料水など非常食の用意	19.0	%
2	懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意	50.0	
3	消火器、消火用バケツなどの用意	27.3	
4	家具の転倒防止器具などの取付け	13.1	
5	貴重品の整理	17.4	
6	避難場所の確認	23.7	
7	家族との連絡方法	22.7	
8	その他	1.2	
9	特にない	27.7	
	無回答	2.2	[n = 1,830]

< 図表5 - 7 > 災害への備え（全体）



【全体】災害への備えについては、「懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意」が50.0%と最も高く、半数の人が準備している。続いて「特にない」(27.7%)が高く、その他「消火器、消火用バケツなどの用意」(27.3%)、「避難場所の確認」(23.7%)、「家族との連絡方法」(22.7%)と続いている。

< 図表 5 - 8 > 災害への備え（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	非常食の用意、レトルト食品、飲料水、箱の用意	懐中電灯、ラジオ、救急箱の用意	消火器、消火用バケツの用意	家具の転倒防止器具の取付け	貴重品の整理	避難場所の確認	家族との連絡方法	その他	特にない	無回答
全体		1830	19.0	50.0	27.3	13.1	17.4	23.7	22.7	1.2	27.7	2.2
性別	男性	858	18.1	51.4	29.1	13.6	16.8	22.7	22.7	1.3	27.9	2.3
	女性	916	19.7	49.2	25.1	12.4	18.0	24.3	22.6	1.1	27.7	1.2
年齢別	10歳代	50	16.0	28.0	20.0	8.0	22.0	20.0	12.0	0.0	46.0	0.0
	20歳代	253	15.8	34.0	13.4	7.5	20.6	23.3	22.9	0.8	38.3	1.2
	30歳代	269	14.9	33.1	18.2	14.1	13.0	21.9	16.7	0.7	37.5	2.2
	40歳代	343	18.1	49.9	29.2	12.5	12.8	22.2	21.6	1.2	24.8	2.3
	50歳代	511	18.6	56.8	28.2	10.8	14.1	21.7	22.7	1.4	25.4	2.0
	60歳代	240	28.3	67.5	38.3	20.8	23.3	28.8	30.4	1.7	17.9	0.8
	70歳以上	111	21.6	73.0	48.6	20.7	35.1	32.4	29.7	1.8	12.6	1.8
居住地域別	旧旭村	425	15.5	45.2	27.1	10.4	16.7	31.1	21.4	1.4	30.8	1.6
	旧鉾田町	994	18.1	50.2	26.8	12.6	17.7	19.5	22.1	1.2	28.2	2.0
	旧大洋村	387	24.5	55.0	28.7	17.8	17.6	25.6	25.3	1.0	23.3	2.6

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】「懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意」で50歳代・60歳代・70歳以上が56.8%・67.5%・73.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「消火器、消火用バケツなどの用意」、「家具の転倒防止器具などの取付け」、「貴重品の整理」、「避難場所の確認」、「家族との連絡方法」で、60歳代・70歳以上が、他の年齢層より高くなっている。一方、「特にない」では10歳代・20歳代・30歳代が46.0%・38.3%・37.5%と、他の年齢層より高くなっている。

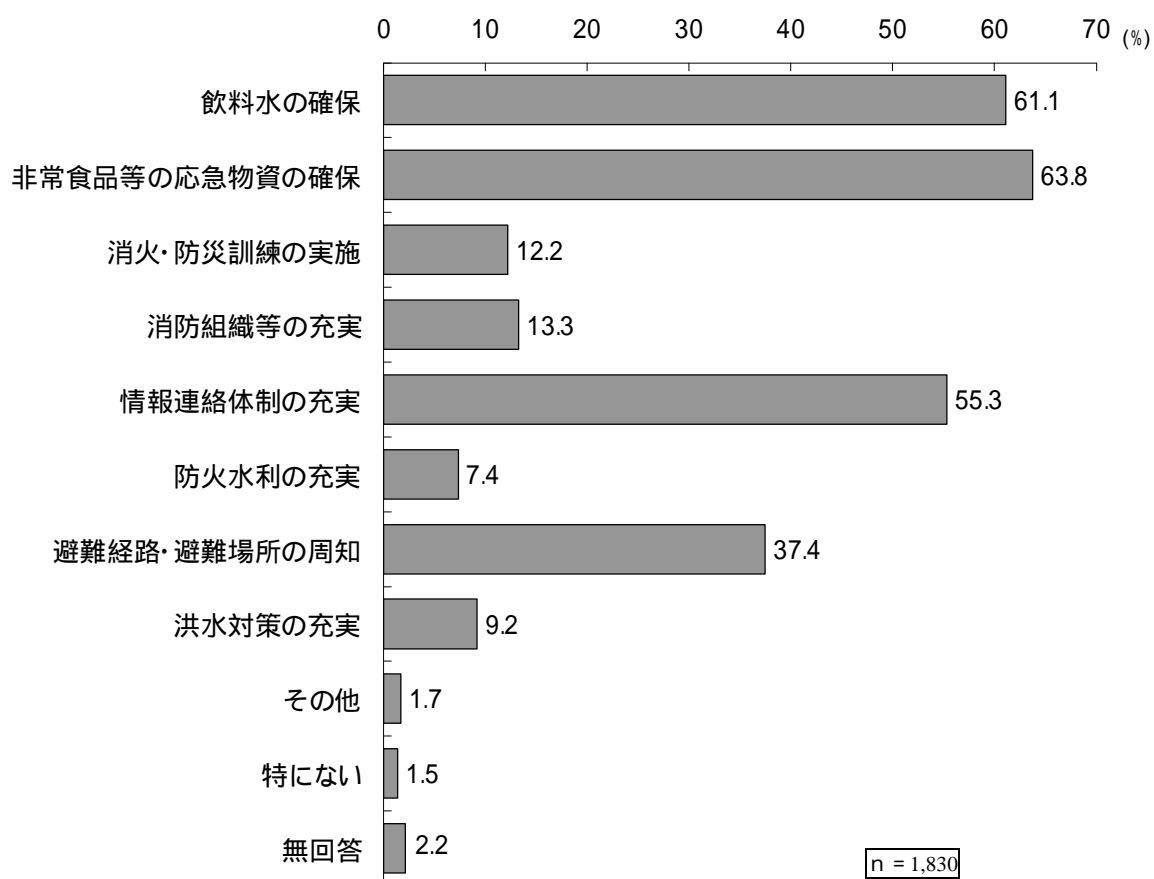
【居住地域別】「レトルト食品、飲料水など非常食の用意」、「懐中電灯、ラジオ、救急箱などの用意」で旧大洋村が24.5%・55.0%と、他の地域より高くなっている。また、「避難場所の確認」では旧旭村が31.1%と、他の地域より高くなっている。

(9) 行政に力を入れてほしい災害対策

6割を超える人が「非常食品などの応急物資の確保」・「飲料水の確保」をあげた。続いて「情報連絡体制の充実」が55.3%。

問16 行政に対しては、災害のための対策としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】		
1	飲料水の確保	61.1 %
2	非常食品などの応急物資の確保	63.8
3	消火・防災訓練の実施	12.2
4	消防組織等の充実	13.3
5	情報連絡体制の充実	55.3
6	防火水利の充実	7.4
7	避難経路・避難場所の周知	37.4
8	洪水対策の充実（河川改修等の推進）	9.2
9	その他	1.7
10	特にない	1.5
	無回答	2.2
		[n = 1,830]

< 図表5 - 9 > 行政に力を入れてほしい災害対策（全体）



【全体】行政に力を入れてほしい災害対策については、「非常食品などの応急物資の確保」(63.8%)、「飲料水の確保」(61.1%)が6割を超え、高くなっている。その他「情報連絡体制の充実」(55.3%)、「避難経路・避難場所の周知」(37.4%)が続いている。

< 図表 5 - 10 > 行政に力を入れてほしい災害対策 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	飲料水の確保	非常食品等の 応急物資の確保	消火・防災訓練の実施	消防組織等の充実	情報連絡体制の充実	防火水利の充実	知避難経路・避難場所の周知	洪水対策の充実	その他	特にない	無回答
全体		1830	61.1	63.8	12.2	13.3	55.3	7.4	37.4	9.2	1.7	1.5	2.2
性別	男性	858	61.1	63.8	12.5	14.8	54.7	8.7	32.9	8.4	1.7	1.9	2.3
	女性	916	62.4	64.4	11.8	12.1	56.7	5.8	42.0	10.3	1.7	1.0	1.5
年齢別	10歳代	50	68.0	68.0	12.0	18.0	44.0	6.0	48.0	10.0	4.0	0.0	0.0
	20歳代	253	67.2	72.7	9.9	15.4	50.6	6.3	36.4	6.7	2.4	1.6	2.4
	30歳代	269	71.0	66.9	8.6	12.6	51.7	4.5	39.0	7.8	1.9	1.1	1.9
	40歳代	343	59.8	66.5	10.2	15.2	59.5	4.4	35.6	9.9	2.6	1.2	2.0
	50歳代	511	55.8	57.7	15.1	10.8	57.3	10.2	39.9	11.5	1.6	1.2	1.6
	60歳代	240	60.8	64.6	13.8	11.7	60.0	5.8	36.7	7.9	0.4	2.5	1.7
	70歳以上	111	61.3	56.8	16.2	18.9	54.1	13.5	27.9	9.9	0.0	1.8	3.6
居住地域別	旧旭村	425	60.9	66.4	11.3	12.5	54.1	7.3	39.1	6.6	2.1	2.4	1.6
	旧鉾田町	994	60.9	62.8	12.4	14.0	57.1	6.9	36.9	10.4	1.7	1.1	2.3
	旧大洋村	387	63.0	63.6	13.2	12.9	53.0	8.0	36.7	9.3	1.3	1.3	2.1

【性別】「避難経路・避難場所の周知」で女性が42.0%と、男性より9.1ポイント高くなっている。
 【年齢別】「飲料水の確保」で10歳代・20歳代・30歳代が68.0%・67.2%・71.0%と、他の年齢層よりわずかに高くなっている。「非常食品などの応急物資の確保」では50歳代・70歳以上が57.7%・56.8%と他の年齢層より低くなっている。また、「情報連絡体制の充実」で10歳代が44.0%と、「避難経路・避難場所の周知」で70歳以上が27.9%と、他の年齢層より低くなっている。
 【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

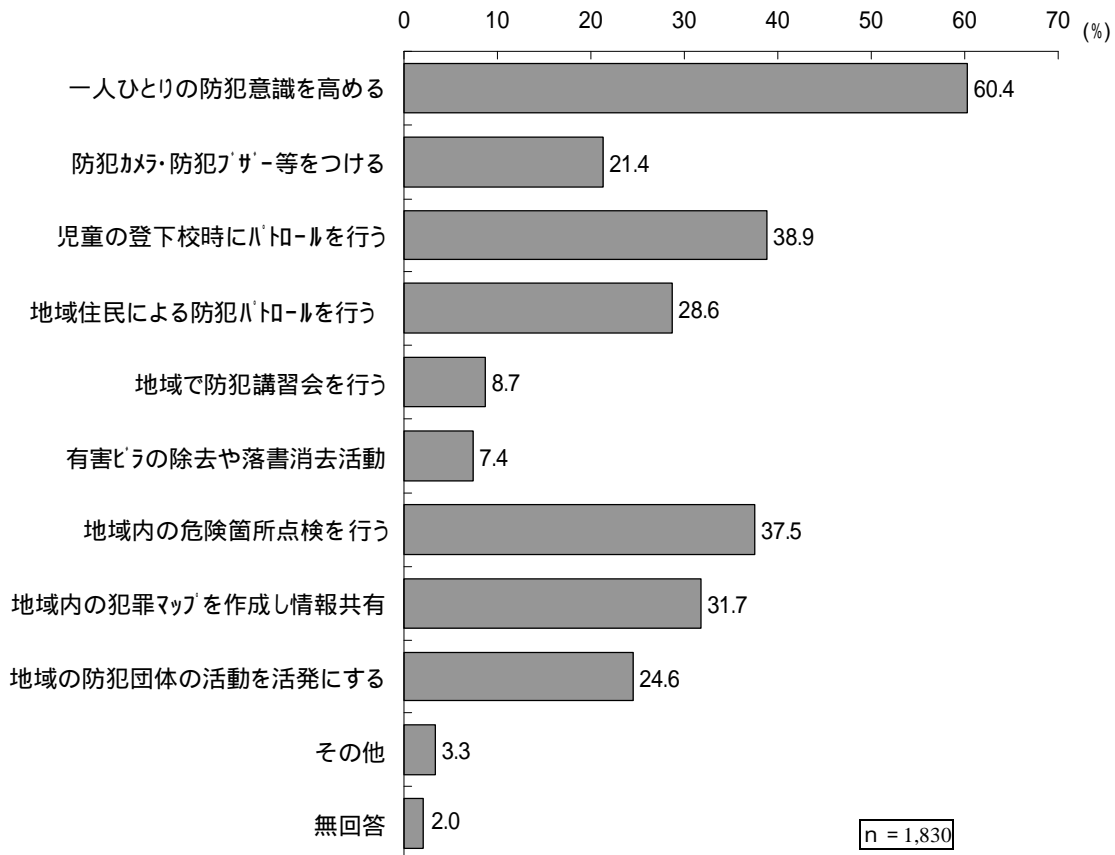
(10) 安全なまちづくりに有効な取組み

約6割の人が「一人ひとりの防犯意識を高める」をあげ、最も高い。続いて「児童の登下校時にパトロールを行う」、「地域内の危険箇所点検を行う」など。

問17 あなたは、犯罪や事故のない安全なまちをつかっていくためには、あなた自身や地域でどのような取組み、対策が有効だと思いますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	一人ひとりの防犯意識を高める	60.4	%
2	防犯カメラ・防犯ブザー等をつける	21.4	
3	児童の登下校時にパトロールを行う	38.9	
4	地域住民による防犯パトロールを行う	28.6	
5	地域で防犯講習会を行う	8.7	
6	有害ビラの除去や落書消去活動を行う	7.4	
7	地域内の危険箇所点検を行う	37.5	
8	地域内の犯罪マップを作成し情報を共有する	31.7	
9	地域の防犯団体の活動を活発にする	24.6	
10	その他	3.3	
	無回答	2.0	{ n = 1,830 }

< 図表5 - 11 > 安全なまちづくりに有効な取組み（全体）



【全体】安全なまちづくりに有効な取組みについては、「一人ひとりの防犯意識を高める」が60.4%と最も高くなっている。その他「児童の登下校時にパトロールを行う」(38.9%)、「地域内の危険箇所点検を行う」(37.5%)と続いている。

< 図表 5 - 12 > 安全なまちづくりに有効な取組み (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	を一人ひとりの防犯意識を高める	ザンカ等をつける	防犯カメラ・防犯ブザー	児童の登下校時にパトロールを行う	児童の登下校時にパトロールを行う	地域住民による防犯パトロールを行う	地域で防犯講習会を行う	有害ビラの除去や落書き活動	地域内の危険箇所点検を行う	地域内の情報共有マップを作成	地域内の犯罪マップを地域に活用する	地域の防犯団体の活動	その他	無回答
全体		1830	60.4	21.4	38.9	28.6	8.7	7.4	37.5	31.7	24.6	3.3	2.0	(%)		
性別	男性	858	58.5	22.3	35.0	29.6	10.1	8.5	36.8	31.1	27.2	4.0	2.0			
	女性	916	62.2	21.2	43.7	27.8	7.3	6.3	39.1	32.5	22.7	2.8	1.2			
年齢別	10歳代	50	64.0	22.0	50.0	30.0	4.0	4.0	38.0	28.0	18.0	2.0	0.0			
	20歳代	253	49.8	26.5	51.0	30.4	4.7	9.1	37.5	33.2	19.8	4.7	1.2			
	30歳代	269	53.5	23.0	49.8	30.1	7.4	5.6	30.9	34.2	24.2	3.3	1.9			
	40歳代	343	62.1	18.1	38.5	27.7	8.2	7.6	34.4	32.9	23.9	5.0	1.5			
	50歳代	511	62.4	19.8	31.7	29.0	9.4	6.7	44.4	31.5	27.4	2.3	1.6			
	60歳代	240	68.8	22.1	35.0	25.8	13.8	8.3	38.8	30.8	25.4	2.9	2.1			
	70歳以上	111	66.7	26.1	33.3	27.9	9.9	10.8	36.9	23.4	31.5	1.8	1.8			
居住地域別	旧旭村	425	58.1	22.4	41.6	25.6	8.0	8.5	40.2	33.4	20.9	4.7	1.4			
	旧鉾田町	994	60.8	21.1	38.1	30.4	8.6	8.2	37.7	30.5	25.6	2.8	1.9			
	旧大洋村	387	62.8	20.2	38.0	27.4	9.8	4.4	35.1	32.8	26.6	3.4	2.3			

【性別】「児童の登下校時にパトロールを行う」で女性が43.7%と、男性より8.7ポイント高くなっている。

【年齢別】「一人ひとりの防犯意識を高める」で20歳代・30歳代が49.8%・53.5%と、他の年齢層より低くなっている。また、「児童の登下校時にパトロールを行う」で10歳代・20歳代・30歳代が50.0%・51.0%・49.8%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

(11) 警察・行政に支援してほしい防犯活動

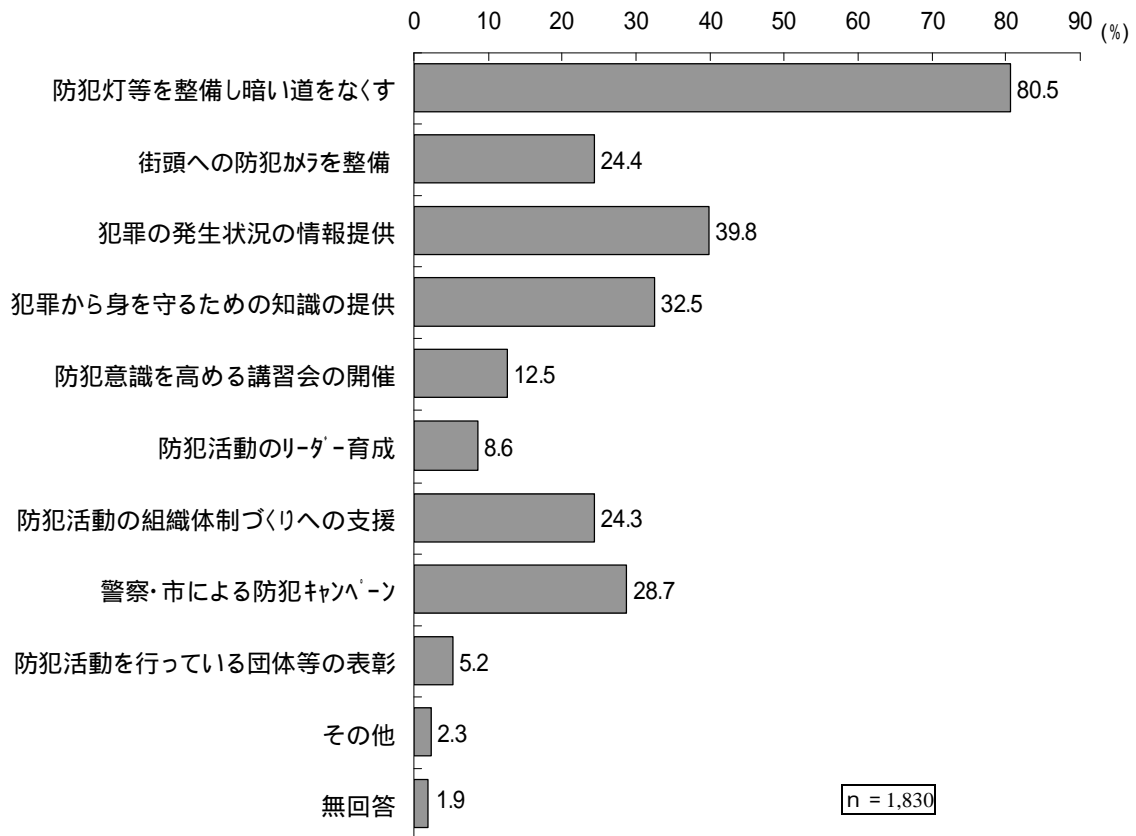
約 8 割の人が「防犯灯等を整備し暗い道をなくす」をあげ、突出して高い。続いて「犯罪の発生状況の情報提供」が約 4 割。

問 18 あなたは、地域で取り組む防犯活動に対して、警察や行政に支援してほしいことは何ですか。次の中から該当するものを 3 つ以内で選んでください。【 は 3 つまで】

1	防犯灯等を整備し暗い道をなくす	80.5 %
2	街頭への防犯カメラを整備	24.4
3	犯罪の発生状況の情報提供	39.8
4	犯罪から身を守るための知識の提供	32.5
5	防犯意識を高めるための講習会の開催	12.5
6	防犯活動のリーダー育成	8.6
7	防犯活動の組織体制づくりへの支援	24.3
8	警察・市による防犯キャンペーン	28.7
9	防犯活動を行っている人や団体の表彰	5.2
10	その他	2.3
	無回答	1.9

[n = 1,830]

< 図表 5 - 13 > 警察・行政に支援してほしい防犯活動（全体）



【全体】警察・行政に支援してほしい防犯活動については、「防犯灯等を整備し暗い道をなくす」（80.5%）を約8割の人があげ、突出して高くなっている。その他「犯罪の発生状況の情報提供」（39.8%）、「犯罪から身を守るための知識の提供」（32.5%）、「警察・市による防犯キャンペーン」（28.7%）と続いている。

< 図表 5 - 14 > 警察・行政に支援してほしい防犯活動（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	防犯灯等を整備し暗い道をなくす	街頭への防犯カメラを整備	犯罪の発生状況の情報提供	犯罪から身を守るための知識の提供	防犯意識を高める講習会の開催	防犯活動のリーダー育成	防犯活動の組織体制づくりへの支援	警察・市による防犯キャンペーン	防犯活動を行っている団体等の表彰	その他	無回答
全体		1830	80.5	24.4	39.8	32.5	12.5	8.6	24.3	28.7	5.2	2.3	1.9
性別	男性	858	77.2	25.4	36.7	29.7	14.1	8.0	28.3	31.8	7.1	2.3	1.7
	女性	916	84.6	24.0	43.2	35.0	11.4	8.7	21.3	26.0	3.4	2.3	1.4
年齢別	10歳代	50	74.0	24.0	40.0	32.0	6.0	4.0	28.0	30.0	10.0	0.0	0.0
	20歳代	253	85.0	24.1	35.2	28.9	6.7	7.9	20.9	34.0	7.1	2.8	1.6
	30歳代	269	80.7	28.3	45.0	28.6	10.0	8.2	23.8	20.4	3.7	3.0	2.6
	40歳代	343	77.6	26.2	41.1	32.7	13.7	9.3	21.9	28.6	5.5	4.1	2.0
	50歳代	511	81.8	20.9	41.3	34.8	14.9	8.6	26.8	28.4	4.5	1.4	1.2
	60歳代	240	80.8	24.2	38.8	31.3	18.8	7.1	30.0	32.1	4.2	1.7	1.7
	70歳以上	111	83.8	30.6	32.4	40.5	9.9	11.7	22.5	31.5	5.4	0.9	0.9
居住地域別	旧旭村	425	82.6	22.1	37.6	34.8	11.3	9.2	25.4	28.5	7.1	2.8	1.2
	旧鉾田町	994	79.8	23.6	40.6	33.2	14.3	8.8	24.3	28.8	4.7	1.8	1.8
	旧大洋村	387	80.9	27.6	40.8	28.7	9.3	8.0	23.3	28.4	4.1	3.4	2.3

【性別】「防犯活動の組織体制づくりへの支援」で男性が28.3%と、女性より7.0ポイント高くなっている。一方、「防犯灯等を整備し暗い道をなくす」で女性が84.6%と、男性より7.4ポイント高くなっている。また、「犯罪の発生状況の情報提供」で女性が43.2%と、男性より6.5ポイント高くなっている。

【年齢別】年齢別による大きな差異はみられない。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

(12) 環境保全に必要な対策

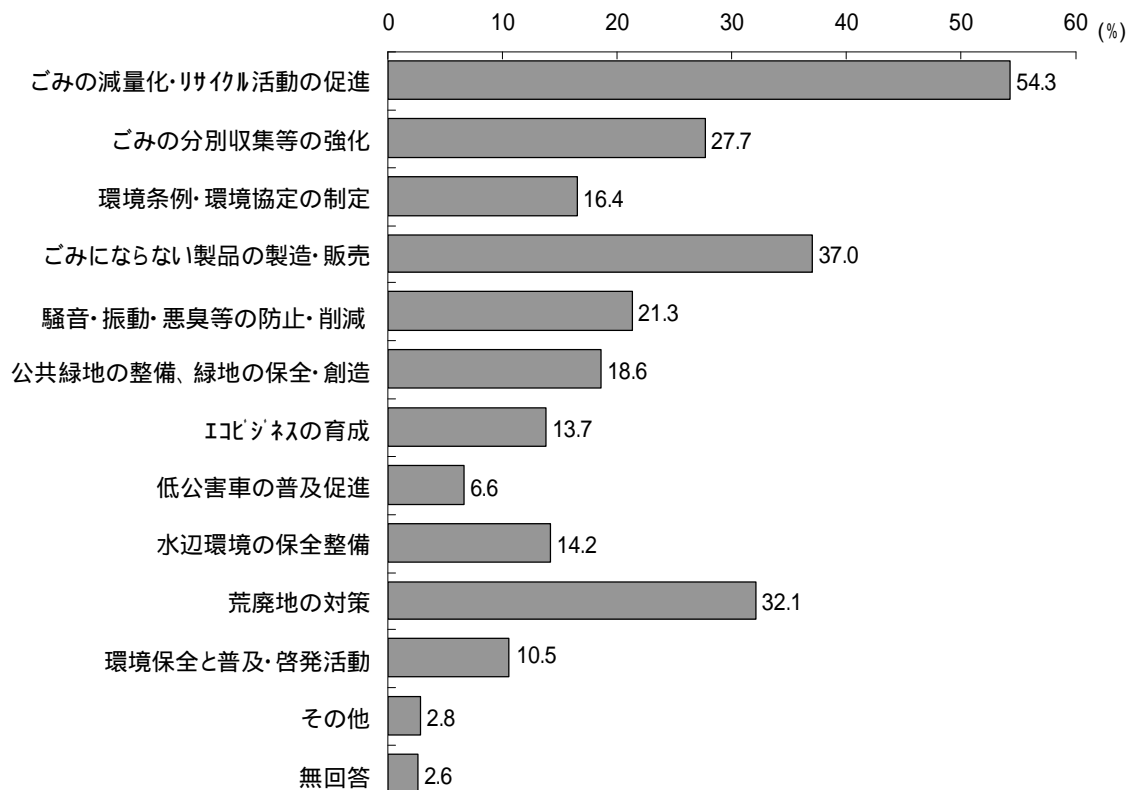
半数を超える人が「ごみ減量化・リサイクル活動の促進」をあげた。続いて「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」、「荒廃地の対策」、「ごみの分別収集等の強化」など。

問19 あなたは、市の環境を保全するためにどのような対策が必要だとお考えですか。
次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	ごみ減量化・リサイクル活動の促進	54.3	%
2	ごみの分別収集等の強化	27.7	
3	環境条例・環境協定の制定	16.4	
4	ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進	37.0	
5	工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減	21.3	
6	公園等公共緑地の整備、民有地における緑地協定など緑地	18.6	
7	の保全・創造	13.7	
8	エコビジネス（環境に配慮した業務を行うビジネス）の育成	6.6	
9	低公害車の普及促進	14.2	
10	水辺環境の保全整備	32.1	
11	荒廃地の対策	10.5	
12	環境保全と普及・啓発活動	2.8	
	その他	2.6	
	無回答		

[n = 1,830]

< 図表 5 - 15 > 環境保全に必要な対策（全体）



n = 1,830

【全体】環境保全に必要な対策については、「ごみ減量化・リサイクル活動の促進」が 54.3%と半数を越し、最も高くなっている。その他「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」(37.0%)、「荒廃地の対策」(32.1%)、「ごみの分別収集等の強化」(27.7%)と続いている。

< 図表 5 - 16 > 環境保全に必要な対策 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	ごみ活動の減量化・リサイクル	ごみの分別収集等の強化	環境条例・環境協定の制定	ごみにならない製品の製造・販売	騒音・振動・悪臭等の防止・削減	公共緑地の整備、緑地の保全・創造	エコビジネスの育成	低公害車の普及促進	水辺環境の保全整備	荒廃地の対策	環境保全と普及・啓発活動	その他	無回答
全体		1830	54.3	27.7	16.4	37.0	21.3	18.6	13.7	6.6	14.2	32.1	10.5	2.8	2.6
性別	男性	858	52.0	29.5	20.3	32.3	21.2	16.8	12.6	7.8	17.2	33.2	11.9	4.3	2.1
	女性	916	56.7	25.5	12.4	41.9	21.9	20.5	15.0	5.8	11.7	31.9	9.4	1.6	2.1
年齢別	10歳代	50	60.0	24.0	18.0	42.0	30.0	18.0	30.0	12.0	14.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	20歳代	253	53.8	25.3	13.4	31.6	23.7	24.1	20.9	7.1	15.4	25.7	5.1	2.4	1.2
	30歳代	269	52.4	32.3	12.6	30.1	21.6	23.8	14.5	5.9	11.2	29.7	8.6	4.5	2.6
	40歳代	343	49.9	26.2	16.9	36.4	19.5	16.3	16.6	7.9	18.4	30.6	11.7	3.8	2.6
	50歳代	511	54.2	26.2	17.6	39.7	20.7	17.8	11.5	5.9	12.3	32.7	14.9	2.3	2.3
	60歳代	240	57.5	27.1	18.8	45.0	24.6	15.8	6.3	7.1	16.3	41.3	8.8	3.8	1.7
	70歳以上	111	64.9	33.3	17.1	38.7	17.1	12.6	6.3	6.3	13.5	48.6	9.0	0.0	2.7
居住地域別	旧旭村	425	52.7	28.0	18.4	32.0	27.8	16.7	15.5	5.4	13.4	27.1	13.2	3.1	2.4
	旧鉾田町	994	53.6	27.0	16.6	39.0	19.9	19.7	13.9	6.7	14.3	35.1	9.4	2.5	2.3
	旧大洋村	387	58.7	28.9	14.0	37.2	17.1	17.8	11.6	7.5	15.0	30.7	10.9	3.6	3.1

【性別】「ごみにならない製品の製造・販売・購入の促進」で女性が 41.9%と、男性より 9.6 ポイント高くなっている。一方、「環境条例・環境協定の制定」で男性が 20.3%と、女性より 7.9 ポイント高くなっている。

【年齢別】「エコビジネスの育成」で 10 歳代が 30.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「荒廃地の対策」で 60 歳代・70 歳以上が 41.3%・48.6%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】「工場や道路・鉄道などの騒音・振動・悪臭などの防止・削減」で旧旭村が 27.8%と、他の地域より高くなっている。

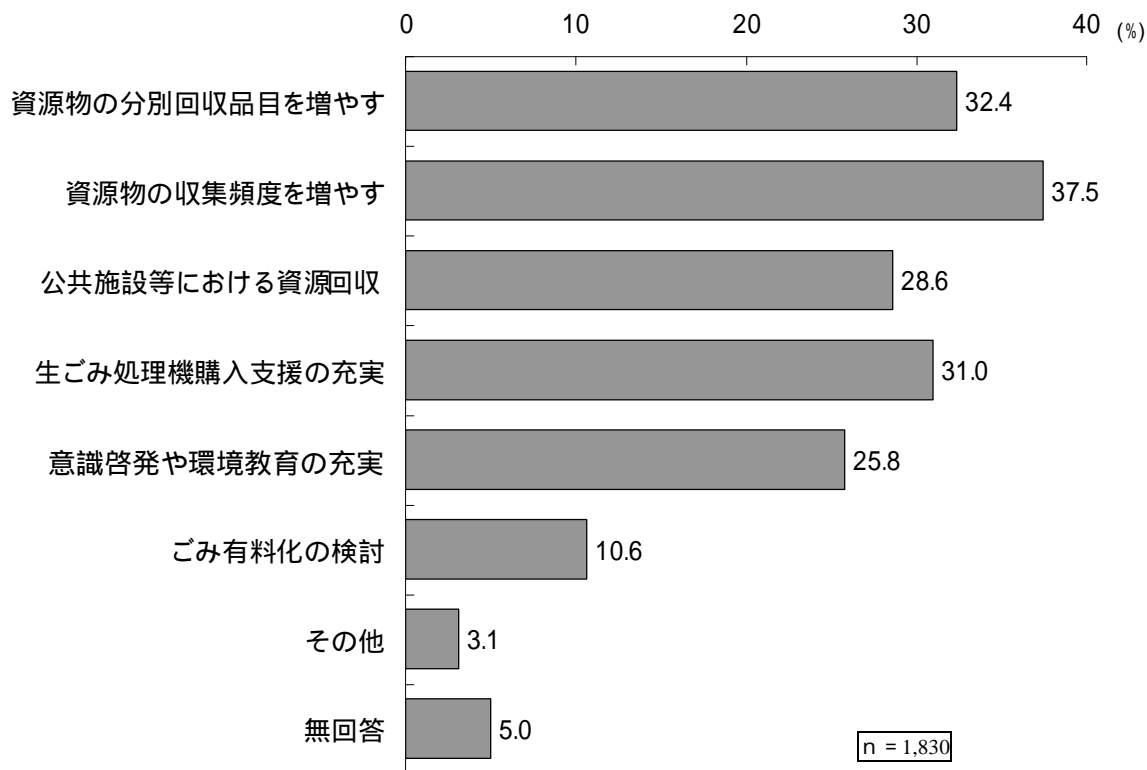
(13) ごみ減量化に必要な対策

「資源物の収集頻度を増やす」37.5%、「資源物の分別回収品目を増やす」32.4%、「生ごみ処理機購入支援の充実」31.0%、「公共施設などにおける資源回収」28.6%、「意識啓発や環境教育の充実」25.8%の順。

問20 市のごみ減量化対策についてうかがいます。市ではごみを可燃ごみ、不燃ごみ、資源物などに分別し収集していますが、ごみを減らすためにどのような対策が必要だと考えますか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つだけ】

1	資源物の分別回収品目を増やす	32.4	%
2	資源物の収集頻度を増やす	37.5	
3	公共施設などにおける資源回収	28.6	
4	生ごみ処理機購入支援の充実	31.0	
5	意識啓発や環境教育の充実	25.8	
6	ごみ有料化の検討	10.6	
7	その他	3.1	
	無回答	5.0	{ n = 1,830 }

< 図表5 - 17 > ごみ減量化に必要な対策（全体）



【全体】ごみ減量化に必要な対策については、「資源物の収集頻度を増やす」が37.5%と最も高く、「資源物の分別回収品目を増やす」(32.4%)、「生ごみ処理機購入支援の充実」(31.0%)、「公共施設などにおける資源回収」(28.6%)、「意識啓発や環境教育の充実」(25.8%)と続いている。

< 図表 5 - 18 > ごみ減量化に必要な対策 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	増 や す	資 源 物 の 分 別 回 収 品 目 を 増 や す	資 源 物 の 回 収 頻 度 を 増 や す	公 共 施 設 等 に お け る 資 源 回 収	充 実	生 ご み 処 理 機 購 入 支 援 の 充 実	意 識 啓 発 や 環 境 教 育 の 充 実	ご み 有 料 化 の 検 討	そ の 他	無 回 答
全体		1830	32.4	37.5	28.6	31.0	25.8	10.6	3.1	5.0	(%)	
性別	男性	858	34.3	38.9	28.6	27.4	25.8	12.8	3.1	4.2		
	女性	916	30.6	36.7	29.3	34.9	26.2	8.1	3.1	4.8		
年齢別	10歳代	50	20.0	40.0	30.0	36.0	18.0	10.0	4.0	4.0		
	20歳代	253	24.5	41.9	40.3	31.6	17.8	7.1	2.8	4.3		
	30歳代	269	30.5	42.8	27.9	30.9	20.4	9.7	3.3	3.0		
	40歳代	343	34.7	40.8	29.4	29.4	26.2	9.3	3.8	3.5		
	50歳代	511	34.6	35.6	24.1	33.1	33.1	10.2	2.2	4.1		
	60歳代	240	33.3	32.5	27.1	30.0	30.0	14.2	5.4	5.8		
	70歳以上	111	42.3	27.0	28.8	29.7	18.9	15.3	0.0	11.7		
居住地域別	旧旭村	425	33.2	37.9	29.4	32.5	22.8	9.4	1.9	4.0		
	旧鉾田町	994	32.1	38.7	26.9	32.0	27.7	11.4	3.3	3.9		
	旧大洋村	387	33.3	33.9	32.8	26.9	24.8	10.1	3.6	8.0		

【性別】「生ごみ処理機購入支援の充実」で女性が34.9%と、男性より7.5ポイント高くなっている。

【年齢別】「資源物の分別回収品目を増やす」で70歳以上が42.3%と、他の年齢層より高くなっている。また、「公共施設などにおける資源回収」で20歳代が40.3%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

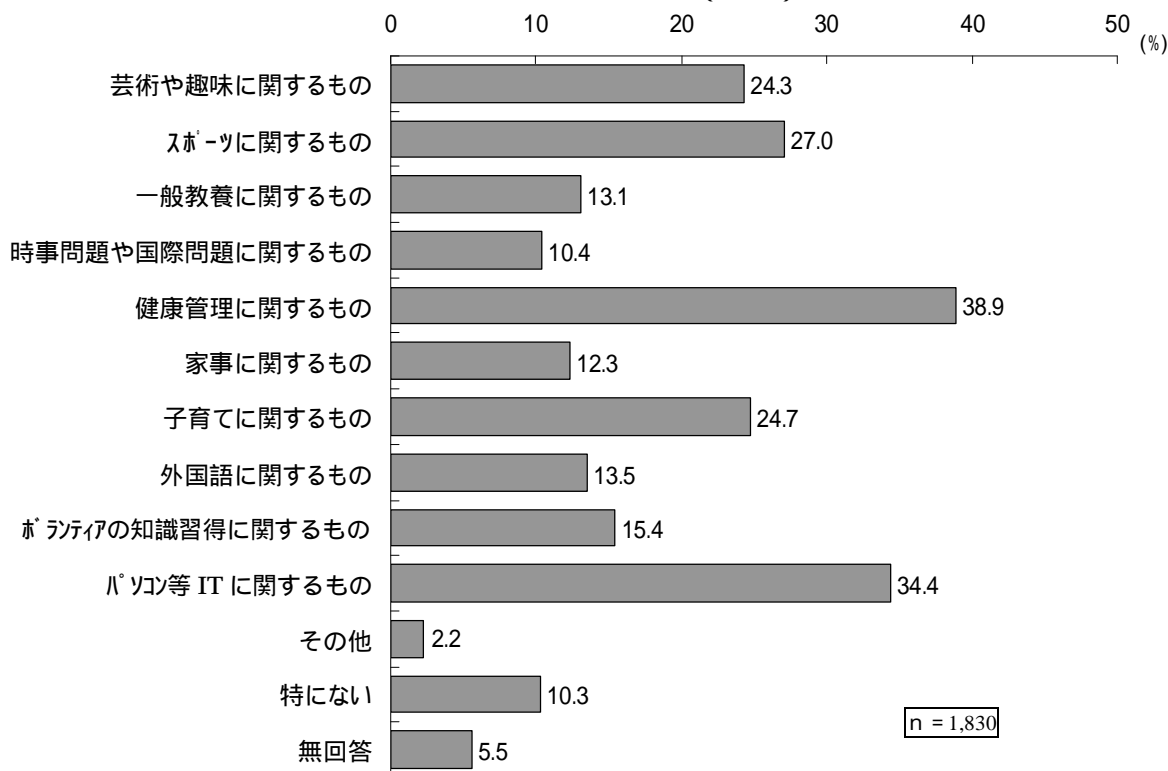
(14) 公民館などで開催してほしい教室・講演会

「医学や栄養などを含めた健康管理に関するもの」38.9%、「パソコン等ITに関するもの」34.4%が3割を超し、続いて「スポーツに関するもの」、「子育てに関するもの」、「芸術や趣味に関するもの」など。

問2 1 市では、公民館やスポーツ施設などでいろいろな教室及び講演会を開催していますが、あなたはどのようなものを行ってほしいと思いますか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	絵画、工芸、書道、華道など、芸術や趣味に関するもの	24.3	%
2	テニス、バレーボール、ハイキングなど、スポーツに関するもの	27.0	
3	郷土史、文学など、一般教養に関するもの	13.1	
4	政治、経済、福祉など、社会・時事問題や国際問題に関するもの	10.4	
5	医学や栄養などを含めた健康管理に関するもの	38.9	
6	和・洋裁や料理など、家事に関するもの	12.3	
7	育児やしつけなど、子育てに関するもの	24.7	
8	英会話など外国語に関するもの	13.5	
9	ボランティア活動に必要な知識や技能の習得に関するもの	15.4	
10	パソコンなどIT（情報通信技術）に関するもの	34.4	
11	その他	2.2	
12	特になし	10.3	
	無回答	5.5	
		[n = 1,830]	

< 図表 5 - 19 > 公民館などで開催してほしい教室・講演会（全体）



【全体】公民館などで開催してほしい教室・講演会については、「医学や栄養などを含めた健康管理に関するもの」が38.9%と最も高く、「パソコンなどITに関するもの」が34.4%で続いている。その他「テニス、バレーボール、ハイキングなど、スポーツに関するもの」(27.0%)、「育児やしつけなど、子育てに関するもの」(24.7%)、「絵画、工芸、書道、華道など、芸術や趣味に関するもの」(24.3%)と続いている。

< 図表 5 - 20 > 公民館などで開催してほしい教室・講演会（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	芸術や趣味に関するもの	スポーツに関するもの	一般教養に関するもの	時事問題や国際問題に関するもの	健康管理に関するもの	家事に関するもの	子育てに関するもの	外国語に関するもの	ポランテアの知識習得に関するもの	パソコン等ITに関するもの	その他	特になし	無回答
全体		1830	24.3	27.0	13.1	10.4	38.9	12.3	24.7	13.5	15.4	34.4	2.2	10.3	5.5
性別	男性	858	20.5	28.8	17.1	15.5	38.1	5.8	23.3	12.0	15.3	34.5	2.0	10.5	5.9
	女性	916	28.3	25.7	9.2	5.5	39.2	18.3	26.0	15.4	15.0	35.3	2.6	10.5	4.5
年齢別	10歳代	50	20.0	52.0	0.0	8.0	24.0	14.0	24.0	36.0	12.0	52.0	0.0	6.0	4.0
	20歳代	253	23.7	32.0	6.7	7.9	27.7	18.6	36.0	18.6	11.9	39.9	3.2	8.7	3.6
	30歳代	269	22.3	32.3	8.2	7.1	29.4	13.4	31.2	24.5	10.8	43.5	1.9	11.9	1.5
	40歳代	343	26.8	29.4	9.6	11.4	38.5	7.6	17.5	15.5	16.6	42.9	2.6	10.2	2.6
	50歳代	511	24.9	25.2	13.9	9.0	42.5	13.1	21.9	8.2	17.8	28.4	2.5	12.7	5.7
	60歳代	240	25.0	18.3	24.2	16.3	50.8	10.4	25.0	5.4	17.1	25.8	1.7	7.9	8.8
	70歳以上	111	24.3	10.8	27.9	17.1	50.5	9.0	17.1	4.5	14.4	18.9	1.8	9.0	16.2
居住地域別	旧旭村	425	27.5	28.5	11.1	10.6	37.6	13.6	24.5	10.8	12.7	34.4	3.3	11.5	4.2
	旧鉾田町	994	22.7	25.6	13.3	11.3	39.8	12.2	25.9	15.2	16.6	34.9	2.2	10.4	4.5
	旧大洋村	387	25.6	29.7	15.5	8.3	38.2	11.4	22.5	12.4	15.5	33.1	1.3	7.8	8.8

【性別】男性が高いものとして「郷土史、文学など、一般教養に関するもの」(17.1%)・「政治、経済、福祉など、社会・時事問題や国際問題に関するもの」(15.5%)があり、それぞれ7.9ポイント・10.0ポイント女性より高くなっている。一方、女性が高いものとして「絵画、工芸、書道、華道など、芸術や趣味に関するもの」(28.3%)・「和・洋裁や料理など、家事に関するもの」(18.3%)があり、それぞれ7.8ポイント・12.5ポイント男性より高くなっている。

【年齢別】「郷土史、文学など、一般教養に関するもの」で60歳代・70歳以上が24.2%・27.9%と、他の年齢層より高くなっている。同じように「医学や栄養などを含めた健康管理に関するもの」で60歳代・70歳以上が50.8%・50.5%と、他の年齢層より高くなっている。また、「パソコンなどIT(情報通信技術)に関するもの」で10~40歳代が50歳代以上より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

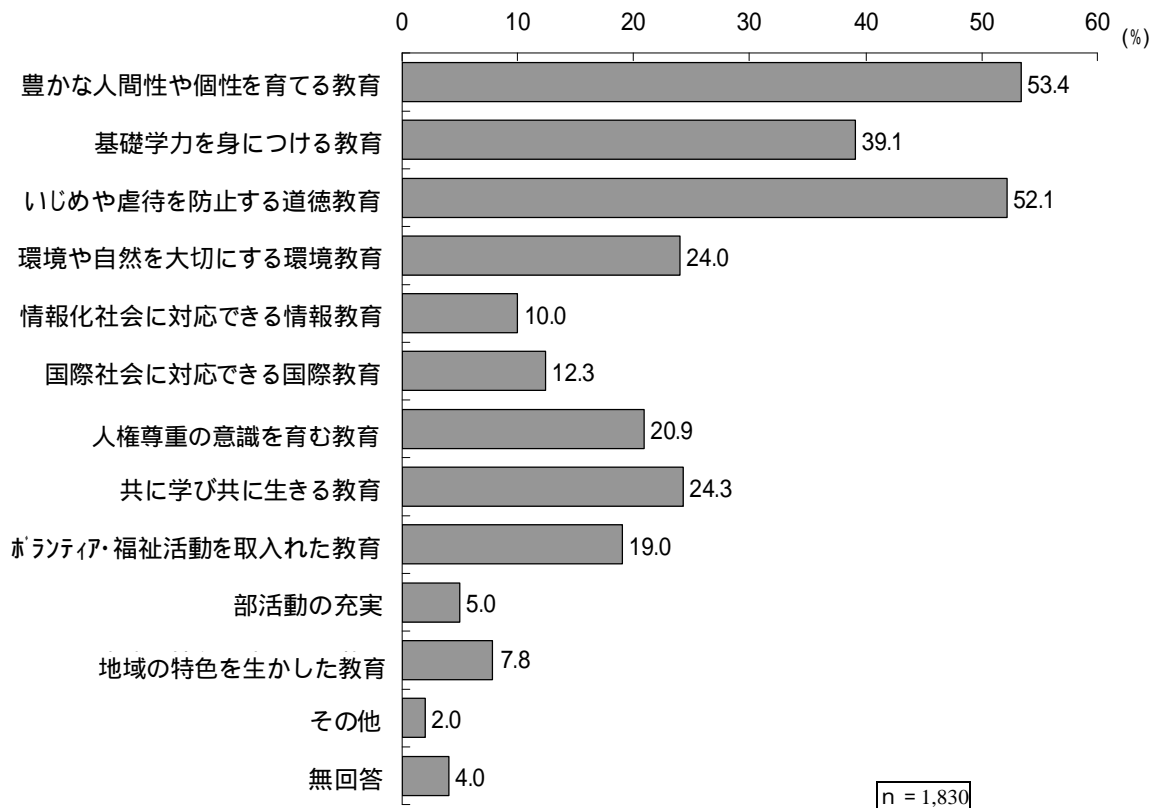
(15) 今後力を入れるべき教育方針

半数を超える人が「豊かな人間性や個性を育てる教育」・「いじめや虐待を防止する道德教育」をあげた。続いて「基礎学力を身につける教育」が約4割。

問2 2 あなたは、市の教育方針として、今後どのような教育に力を入れるべきとお考えですか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	豊かな人間性や個性を育てる教育	53.4	%
2	基礎学力を身につける教育	39.1	
3	いじめや虐待を防止する道德教育	52.1	
4	環境や自然を大切にする環境教育	24.0	
5	高度な情報化社会に対応できる情報教育	10.0	
6	国際社会に対応できる国際教育	12.3	
7	人権尊重の意識を育む教育	20.9	
8	障害のあるなしにかかわらず、共に学び共に生きる教育	24.3	
9	ボランティア活動や福祉活動を取り入れた教育	19.0	
10	部活動の充実	5.0	
11	それぞれの地域の特色を生かした教育	7.8	
12	その他	2.0	
	無回答	4.0	{ n = 1,830 }

< 図表 5 - 21 > 今後力を入れるべき教育方針（全体）



【全体】今後力を入れるべき教育方針については、「豊かな人間性や個性を育てる教育」(53.4%)と、「いじめや虐待を防止する道徳教育」(52.1%)が半数を超し、高くなっている。「基礎学力を身につける教育」が39.1%で続いている。その他「障害のあるなしにかかわらず、共に学び共に生きる教育」(24.3%)、「環境や自然を大切にする環境教育」(24.0%)となっている。

< 図表 5 - 22 > 今後力を入れるべき教育方針 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	豊かな人間性や個性を育てる教育	基礎学力を身につける教育	いじめや虐待を防止する道徳教育	環境や自然を大切にする環境教育	情報化社会に対応できる情報教育	国際社会に対応できる国際教育	人権尊重の意識を育む教育	共に学び共に生きる教育	ボランティア教育・福祉活動を取り入れた教育	部活動の充実	地域の特色を生かした教育	その他	無回答
全体		1830	53.4	39.1	52.1	24.0	10.0	12.3	20.9	24.3	19.0	5.0	7.8	2.0	4.0
性別	男性	858	52.2	38.6	52.0	24.5	12.5	11.8	23.4	21.9	16.2	5.8	8.0	2.9	4.0
	女性	916	53.8	40.0	52.9	24.2	8.0	13.3	18.7	27.1	21.5	4.3	7.5	1.3	3.5
年齢別	10歳代	50	40.0	30.0	42.0	18.0	14.0	18.0	18.0	24.0	26.0	24.0	8.0	4.0	4.0
	20歳代	253	48.2	34.0	51.8	22.9	13.0	15.0	17.4	26.1	22.1	6.7	7.9	2.4	2.0
	30歳代	269	52.8	44.6	52.4	23.4	11.5	17.5	18.2	22.7	24.5	7.8	4.5	1.9	1.5
	40歳代	343	52.5	41.7	53.4	23.3	8.5	10.8	21.6	25.7	20.7	2.6	7.3	3.5	1.7
	50歳代	511	55.8	34.4	55.0	27.0	9.4	10.4	21.7	23.7	19.6	3.9	8.6	1.8	3.7
	60歳代	240	56.7	43.3	48.3	24.2	10.8	12.9	23.3	27.5	8.8	2.9	10.0	0.8	7.5
	70歳以上	111	53.2	47.7	53.2	22.5	7.2	7.2	25.2	21.6	8.1	2.7	9.0	0.9	10.8
居住地域別	旧旭村	425	53.6	38.6	53.9	22.4	9.2	12.5	20.9	25.9	18.6	5.6	8.5	2.4	3.1
	旧銚田町	994	54.3	39.3	52.1	24.6	10.6	13.3	21.0	24.1	20.1	5.0	8.1	1.9	2.8
	旧大洋村	387	51.9	39.3	50.4	25.1	9.0	10.3	20.7	23.5	17.1	3.9	6.7	1.6	7.5

【性別】「障害のあるなしにかかわらず、共に学び共に生きる教育」で女性が27.1%と、男性より5.2ポイント、わずかに高くなっている。同じように「ボランティア活動や福祉活動を取り入れた教育」で女性が21.5%と、男性より5.3ポイント、わずかに高くなっている。

【年齢別】「部活動の充実」で10歳代が24.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「ボランティア活動や福祉活動を取り入れた教育」で60歳代・70歳以上が8.8%・8.1%と、他の年齢層より低くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

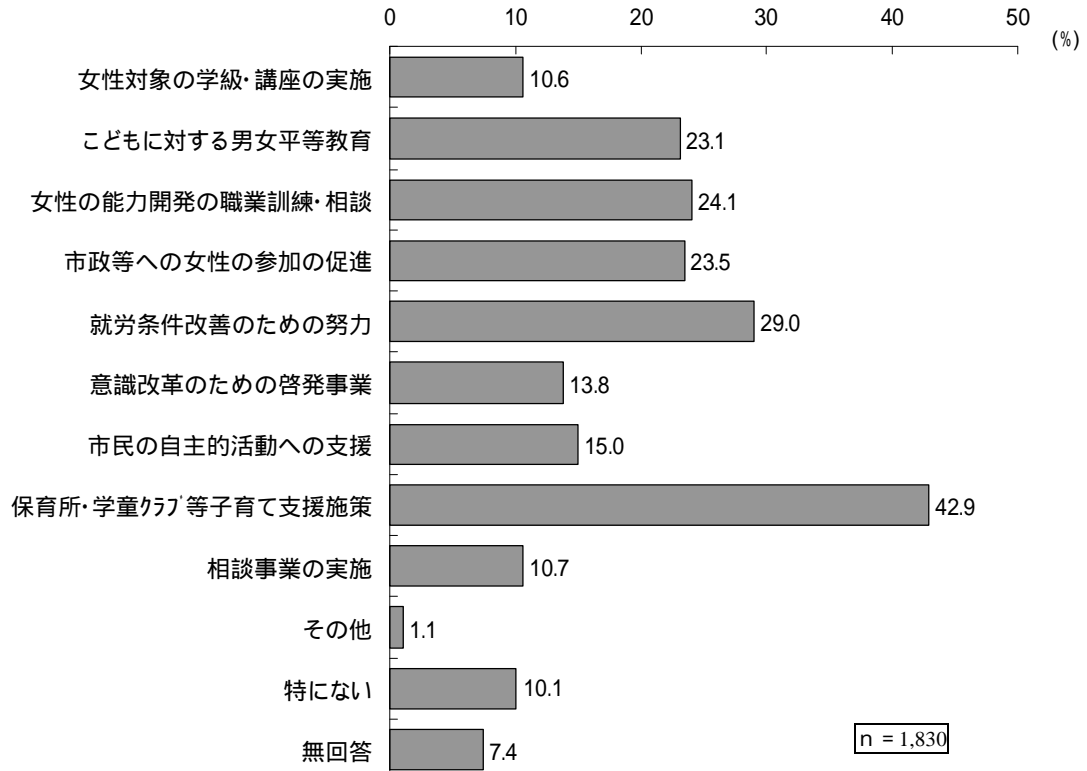
(16) 市に推進してほしい男女共同参画施策

「保育所・学童クラブなど子育て支援のための施策」が42.9%と最も高い。続いて「就労条件改善のための努力」、「女性の能力開発のための職業訓練・職業相談」、「市政などへの女性の参加の促進」、「こどもに対する男女平等教育」など。

問23 平成11年に男女共同参画社会基本法が施行されて以降、男女共同参画を推進する動きが広がっています。男女共同参画に関する施策で、あなたが市に推進してもらいたいとお考えになるのはどのようなことですか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1 女性対象の学級・講座の実施	10.6 %
2 こどもに対する男女平等教育	23.1
3 女性の能力開発のための職業訓練・職業相談	24.1
4 市政などへの女性の参加の促進	23.5
5 就労条件改善のための努力	29.0
6 意識改革のための啓発事業	13.8
7 市民の自主的活動への支援	15.0
8 保育所・学童クラブなど子育て支援のための施策	42.9
9 相談事業の実施	10.7
10 その他	1.1
11 特にない	10.1
無回答	7.4 [n = 1,830]

< 図表5 - 23 > 市に推進してほしい男女共同参画施策（全体）



【全体】市に推進してほしい男女共同参画施策については、「保育所・学童クラブなど子育て支援のための施策」が42.9%と最も高くなっている。その他「就労条件改善のための努力」(29.0%)、「女性の能力開発のための職業訓練・職業相談」(24.1%)、「市政などへの女性の参加の促進」(23.5%)、「こどもに対する男女平等教育」(23.1%)と続いている。

< 図表 5 - 24 > 市に推進してほしい男女共同参画施策 (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	女性 対象の 学級・ 講座の 実施	こども に対する 男女平等 教育	女性 の能力 開発の 職業訓 練・相 談	市政 等への 女性の 参加の 促進	就労 条件 改善の ための 努力	意識 改革 のため の啓発 事業	市民 の自主 的活動 への支 援	保育 所・学 童クラ ブ等子 育て支 援施策	相談 事業の 実施	その他	特に ない	無回 答
全体		1830	10.6	23.1	24.1	23.5	29.0	13.8	15.0	42.9	10.7	1.1	10.1	7.4
性別	男性	858	7.3	28.8	17.6	28.2	26.9	14.9	17.6	39.4	12.0	1.4	10.6	7.1
	女性	916	13.9	18.1	30.0	19.2	31.9	13.0	12.2	47.1	9.1	0.9	9.6	6.9
年齢別	10歳代	50	2.0	40.0	34.0	30.0	36.0	12.0	18.0	38.0	8.0	0.0	4.0	4.0
	20歳代	253	10.7	26.5	27.7	16.2	31.2	7.9	7.9	52.2	11.5	0.8	10.3	3.6
	30歳代	269	8.2	26.4	32.0	14.9	34.2	12.3	7.8	55.8	10.4	1.1	8.2	3.3
	40歳代	343	10.5	21.9	25.1	23.9	31.8	17.2	11.1	40.8	14.0	0.6	11.4	6.1
	50歳代	511	10.6	15.9	21.9	27.4	28.4	17.4	18.8	40.3	8.2	1.0	11.2	8.0
	60歳代	240	14.2	27.5	16.3	30.4	23.8	10.8	24.6	37.1	9.6	2.1	9.2	9.2
	70歳以上	111	15.3	31.5	16.2	25.2	19.8	12.6	17.1	32.4	10.8	2.7	9.9	18.9
居住地	旧旭村	425	12.2	22.4	25.9	23.5	27.1	13.4	15.1	38.8	10.6	0.9	11.1	7.8
	旧鉾田町	994	9.7	23.8	23.3	23.5	31.6	15.5	14.0	44.9	11.2	1.1	9.7	5.8
	旧大洋村	387	11.6	22.5	25.1	23.3	25.1	10.3	18.1	41.9	9.0	1.3	10.6	10.1

【性別】男性が高いものとして「こどもに対する男女平等教育」(28.8%)・「市政などへの女性の参加の促進」(28.2%)があり、それぞれ10.7ポイント・9.0ポイント女性より高くなっている。一方、女性が高いものとして「女性対象の学級・講座の実施」(13.9%)・「女性の能力開発のための職業訓練・職業相談」(30.0%)・「保育所・学童クラブなど子育て支援のための施策」(47.1%)があり、それぞれ6.6ポイント・12.4ポイント・7.7ポイント男性より高くなっている。

【年齢別】「こどもに対する男女平等教育」で10歳代が40.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「保育所・学童クラブなど子育て支援のための施策」で20歳代・30歳代が52.2%・55.8%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

(17) 今後力を入れるべき人権分野

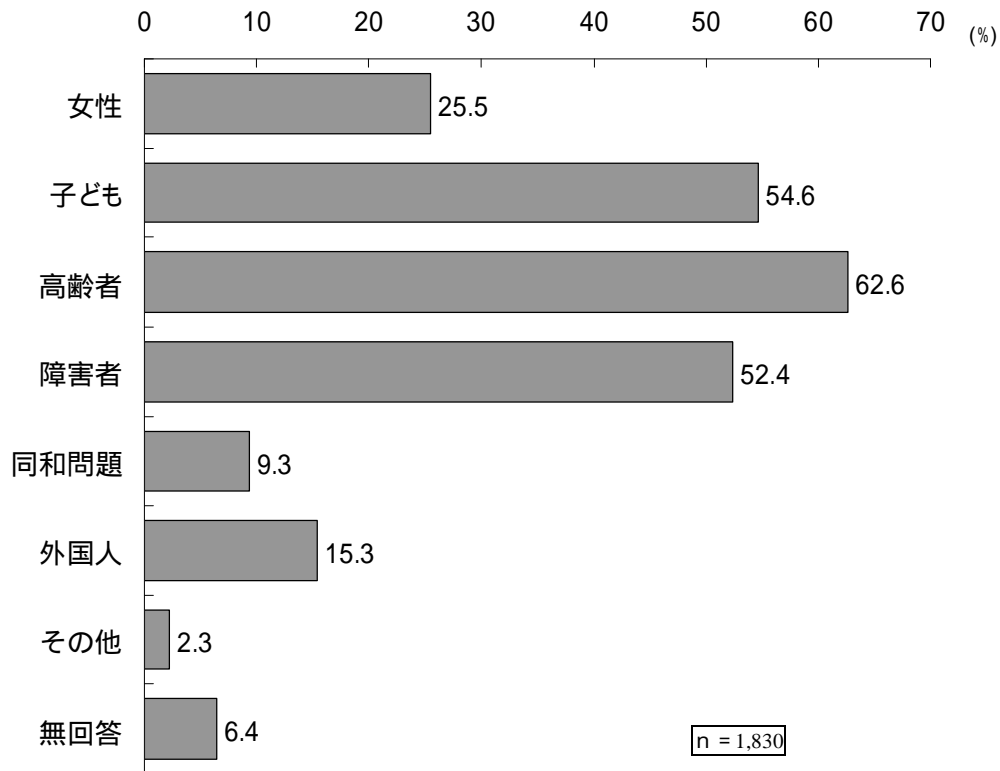
「高齢者」62.6%、「子ども」54.6%、「障害者」52.4%が上位。

問24 人権に関してはさまざまな課題がありますが、今後どの分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から選んでください。【はいいくつでも】

1 女性	25.5 %
2 子ども	54.6
3 高齢者	62.6
4 障害者	52.4
5 同和問題	9.3
6 外国人	15.3
7 その他	2.3
無回答	6.4

[n = 1,830]

<図表5 - 25> 今後力を入れるべき人権分野（全体）



【全体】今後力を入れるべき人権分野については、「高齢者」が62.6%と最も高く、続いて「子ども」(54.6%)、「障害者」(52.4%)となっている。

< 図表 5 - 26 > 今後力を入れるべき人権分野（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		女性	子ども	高齢者	障害者	同和問題	外国人	その他	無回答	
合計 (n)										
全体		1830	25.5	54.6	62.6	52.4	9.3	15.3	2.3	6.4
性別	男性	858	21.7	52.2	60.8	52.1	11.4	18.2	2.3	6.4
	女性	916	29.7	57.6	64.4	53.5	7.3	13.1	2.3	5.9
年齢別	10歳代	50	18.0	48.0	58.0	60.0	2.0	24.0	6.0	6.0
	20歳代	253	26.9	57.7	58.5	53.8	10.7	20.6	2.8	4.3
	30歳代	269	29.0	63.2	53.9	52.0	9.3	15.6	1.9	2.6
	40歳代	343	24.8	54.5	61.5	59.8	9.0	19.0	2.3	5.8
	50歳代	511	24.7	50.5	65.4	49.3	8.2	12.3	2.0	6.8
	60歳代	240	23.3	55.4	71.3	50.8	14.2	12.9	2.1	7.5
	70歳以上	111	33.3	55.0	70.3	49.5	6.3	9.0	2.7	12.6
居住地域別	旧旭村	425	24.9	56.5	61.9	53.4	8.2	16.7	1.4	5.9
	旧鉾田町	994	24.6	55.0	63.5	54.5	9.6	15.6	2.6	5.6
	旧大洋村	387	28.4	51.9	61.8	45.7	9.3	13.2	2.3	8.5

(%)

【性別】「女性」で女性が 29.7%と、男性より 8.0 ポイント高くなっている。

【年齢別】「子ども」で 30 歳代が 63.2%と、他の年齢層より高くなっている。また、「高齢者」で 60 歳代・70 歳以上が 71.3%・70.3%と、他の年齢層よりわずかに高くなっている。

【居住地域別】「障害者」で旧大洋村が 45.7%と、他の地域より低くなっている。

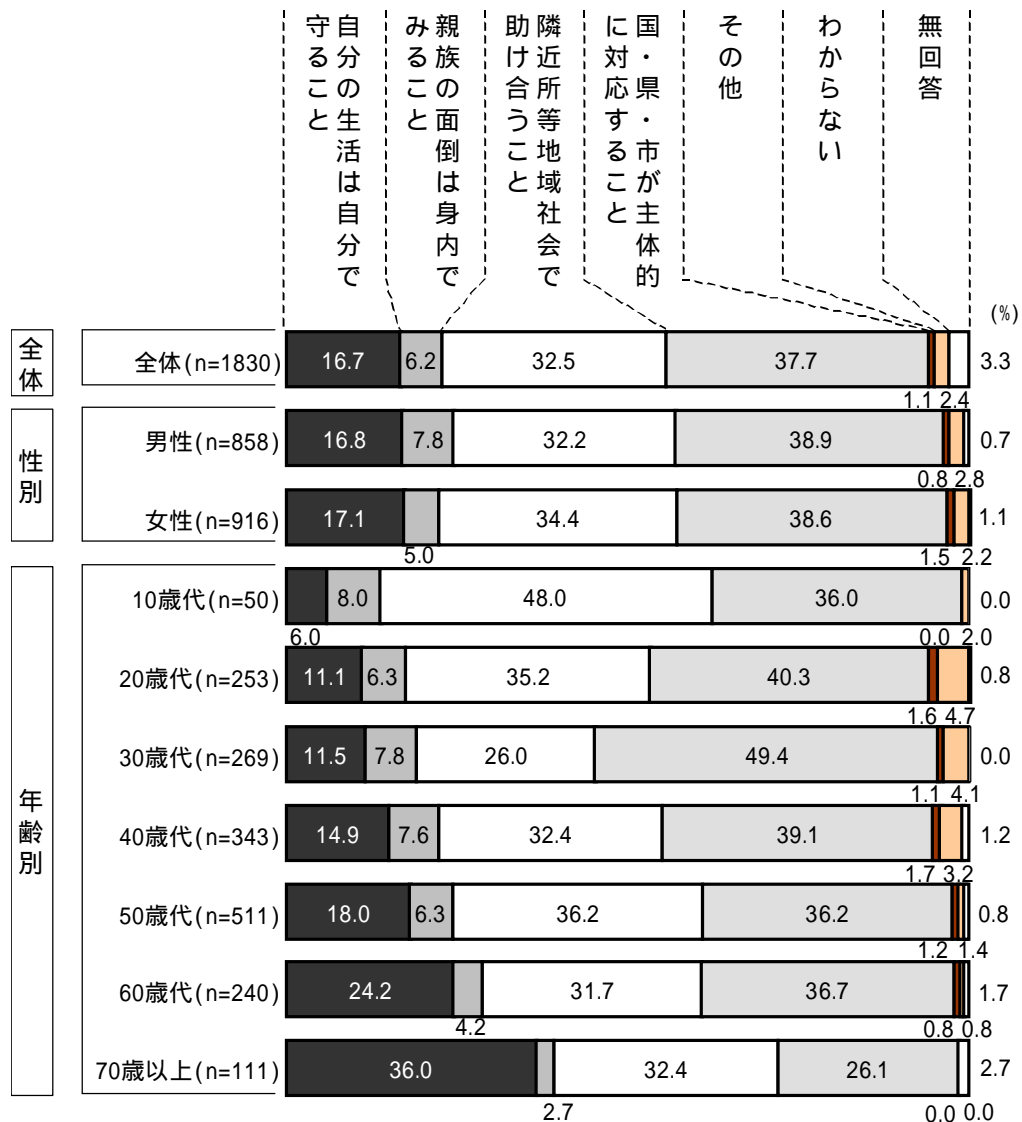
(18) 高齢化社会対策で重要なこと

「国・県・市が主体的に対応すること」37.7%、「隣近所など地域社会でお互いに助け合うこと」32.5%が高く、次いで「自分の生活は自分で守ること」16.7%。

問 2 5 高齢化社会対策には幅広い対応が必要であるといわれていますが、最も重要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。【 は1つだけ】

1	自分の生活は自分で守ること	16.7 %
2	親族の面倒は身内でみること	6.2
3	隣近所など地域社会でお互いに助け合うこと	32.5
4	国・県・市が主体的に対応すること	37.7
5	その他	1.1
6	わからない	2.4
	無回答	3.3 [n = 1,830]

< 図表 5 - 27 > 高齢化社会対策で重要なこと（全体）



【全体】高齢化社会対策で重要なことについては、「国・県・市が主体的に対応すること」が 37.7%、次いで「隣近所など地域社会でお互いに助け合うこと」が 32.5%と高くなっている。「自分の生活は自分で守ること」が 16.7%で続いている。

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】「自分の生活は自分で守ること」で 70 歳以上が 36.0%と、年齢が上がるにつれ高くなっている。また、「国・県・市が主体的に対応すること」で 30 歳代が 49.4%と、他の年齢層より高くなっている。

< 図表 5 - 28 > 高齢化社会対策で重要なこと（全体・居住地域別）

		合計 (n)	守自 分の 生活 は自 分で	み親 る族 の面 倒は 身内 で	助隣 け近 合所 う等 こと 地域 社会 で	に国 対・ 県・ 市が 主体 的	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		1830	16.7	6.2	32.5	37.7	1.1	2.4	3.3
域居 別住 地	旧旭村	425	13.4	7.5	32.2	38.6	1.4	3.5	3.3
	旧銚田町	994	17.0	6.0	33.6	37.1	1.3	1.8	3.1
	旧大洋村	387	19.4	5.2	30.0	39.5	0.3	2.3	3.4

(%)

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

(19) 市に望む高齢化社会対策

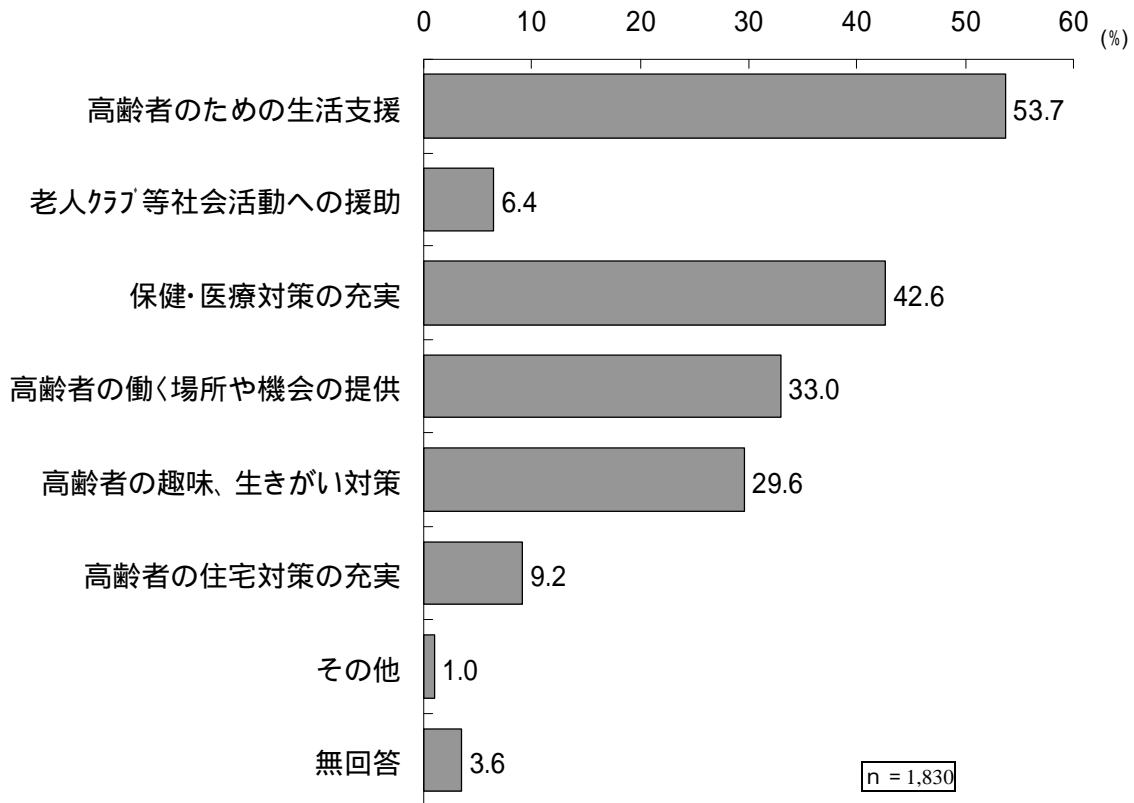
「一人暮らしの高齢者や高齢世帯のための生活支援」53.7%、「病気の予防、健康保持のための保健・医療対策の充実」42.6%、「シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供」33.0%、「高齢者の趣味、文化・社会活動等の生きがい対策」29.6%の順。

問 2 6 高齢化社会への対応として、あなたは市に何を望みますか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つまで】

1 一人暮らしの高齢者や高齢世帯のための生活支援	53.7 %
2 老人クラブなど社会活動への援助	6.4
3 病気の予防、健康保持のための保健・医療対策の充実	42.6
4 シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供	33.0
5 高齢者の趣味、文化・社会活動等の生きがい対策	29.6
6 高齢者の住宅対策の充実	9.2
7 その他	1.0
無回答	3.6

[n = 1,830]

< 図表 5 - 29 > 市に望む高齢化社会対策（全体）



【全体】市に望む高齢化社会対策については、「一人暮らしの高齢者や高齢世帯のための生活支援」が53.7%で最も高くなっている。その他「病気の予防、健康保持のための保健・医療対策の充実」(42.6%)、「シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供」(33.0%)、「高齢者の趣味、文化・社会活動等の生きがい対策」(29.6%)の順で続いている。

< 図表5 - 30 > 市に望む高齢化社会対策（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	支 援 高 齢 者 の た め の 生 活	動 老 人 へ の ク ラ ブ 等 社 会 活	実 保 健 ・ 医 療 対 策 の 充	機 高 齢 者 の 働 く 場 所 や	が 高 齢 者 の 趣 味 、 生 き	充 高 齢 者 の 住 宅 対 策 の	そ の 他	無 回 答	(%)
全体		1830	53.7	6.4	42.6	33.0	29.6	9.2	1.0	3.6	
性別	男性	858	55.6	6.9	44.4	32.9	30.5	9.7	1.3	0.6	
	女性	916	54.7	6.2	43.2	34.7	30.2	9.2	0.8	1.3	
年齢別	10歳代	50	38.0	20.0	34.0	44.0	44.0	6.0	0.0	0.0	
	20歳代	253	57.3	7.5	33.2	34.0	30.4	13.4	0.8	1.6	
	30歳代	269	58.0	5.6	38.7	36.8	26.0	12.6	0.7	1.1	
	40歳代	343	55.1	5.2	42.9	33.2	25.9	11.4	2.0	0.6	
	50歳代	511	53.0	5.3	46.4	36.0	32.5	8.0	1.0	1.2	
	60歳代	240	55.0	7.1	52.1	32.1	34.2	4.2	0.8	0.8	
	70歳以上	111	60.4	9.0	55.9	18.0	29.7	5.4	0.0	1.8	
居住地域別	旧旭村	425	52.5	6.8	43.5	31.8	32.2	9.4	0.7	3.5	
	旧鉾田町	994	55.7	6.7	41.9	30.6	29.6	10.5	1.0	3.1	
	旧大洋村	387	49.9	5.2	44.4	41.3	27.9	5.7	1.3	3.4	

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】10歳代で、基数が少ないので参考程度であるが、「一人暮らしの高齢者や高齢世帯のための生活支援」で38.0%と他の年齢層より低く、「老人クラブなど社会活動への援助」・「シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供」・「高齢者の趣味、文化・社会活動等の生きがい対策」では他の年齢層より高くなっている。一方、「シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供」は70歳以上で18.0%と、他の年齢層より低くなっている。また、「病気の予防、健康保持のための保健・医療対策の充実」は10歳代を除き、年齢が上がるにつれ高くなっている。

【居住地域別】「シルバー人材センターなど、高齢者の働く場所や機会の提供」で旧大洋村が41.3%と、他の地域より高くなっている。

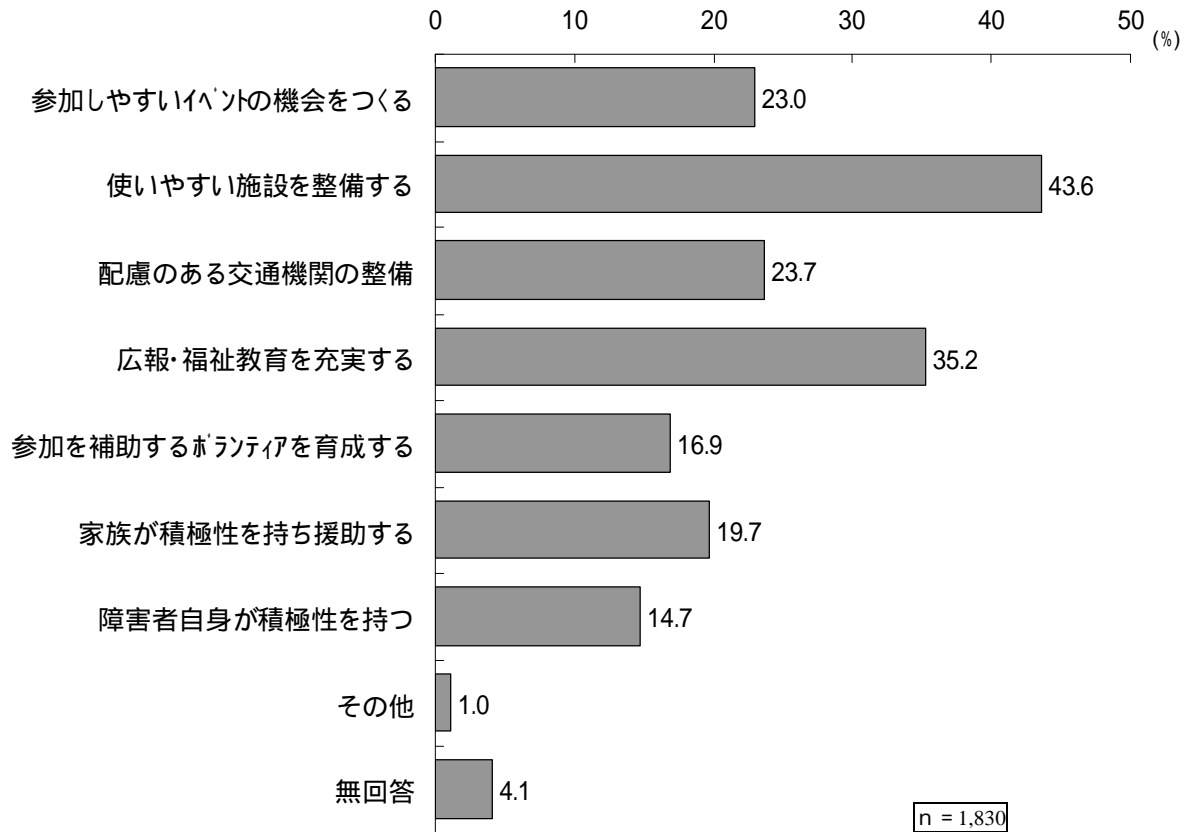
(20) 障害者の社会参加に大切なこと

「障害のある人でも使いやすい施設を整備する」43.6%、「地域や社会の人々が障害のある人を受け入れるように広報や福祉教育を充実する」35.2%が上位。

問27 障害のある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、特に大切なことはどのようなことだとお考えですか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【 は2つまで】

1 障害のある人が参加しやすいイベントやバザーなどの機会をつくる	23.0 %
2 障害のある人でも使いやすい施設を整備する	43.6
3 障害のある人に配慮して交通機関や道路を整備する	23.7
4 地域や社会の人々が障害のある人を受け入れるように広報や福祉教育を充実する	35.2
5 障害のある人の参加を補助するボランティアを育成する	16.9
6 家族が積極性を持ち、障害のある人が社会に出るのを援助する	19.7
7 障害のある人自身が積極性を持つ	14.7
8 その他	1.0
無回答	4.1
[n = 1,830]	

< 図表5 - 31 > 障害者の社会参加に大切なこと（全体）



【全体】障害者の社会参加に大切なことについては、「障害のある人でも使いやすい施設を整備する」が43.6%で最も高くなっている。「地域や社会の人々が障害のある人を受け入れるように広報や福祉教育を充実する」が35.2%で続き、その他「障害のある人に配慮して交通機関や道路を整備する」(23.7%)、「障害のある人が参加しやすいイベントやバザーなどの機会をつくる」(23.0%)となっている。

< 図表 5 - 32 > 障害者の社会参加に大切なこと（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	ト参加の機会をすつくイベント	備使すいやすい施設を整	の配慮のある交通機関	実広す報る・福祉教育を充	ン参加を補助する育成するボラ	援家が族が積極性を持ち	を障害者自身が積極性	その他	無回答
全体		1830	23.0	43.6	23.7	35.2	16.9	19.7	14.7	1.0	4.1
性別	男性	858	26.0	42.5	25.9	33.6	18.6	18.8	15.3	1.4	1.5
	女性	916	21.2	46.9	23.1	38.5	16.4	21.4	15.0	0.8	1.5
年齢別	10歳代	50	28.0	60.0	42.0	16.0	20.0	10.0	6.0	2.0	0.0
	20歳代	253	27.3	51.0	34.8	24.9	12.3	16.2	11.1	0.8	1.2
	30歳代	269	26.8	49.8	30.9	38.3	13.8	14.1	10.8	0.7	0.0
	40歳代	343	19.8	48.4	22.2	38.8	18.7	18.1	12.5	1.7	2.0
	50歳代	511	22.1	37.4	15.7	41.7	20.5	24.3	20.2	1.0	2.0
	60歳代	240	23.3	38.3	23.3	42.9	16.7	26.7	15.8	0.8	1.7
	70歳以上	111	23.4	47.7	27.0	18.9	19.8	20.7	21.6	0.9	3.6
居住地域別	旧旭村	425	25.2	45.2	23.1	37.6	17.2	16.5	13.4	0.2	4.2
	旧鉾田町	994	21.9	44.9	24.6	34.3	16.8	20.8	14.7	1.4	3.3
	旧大洋村	387	22.7	39.0	22.7	35.9	17.1	20.2	16.8	1.0	4.9

【性別】性別による大きな差異はみられない。

【年齢別】「障害のある人でも使いやすい施設を整備する」で50歳代・60歳代が37.4%・38.3%と、他の年齢層より低くなっている。「障害のある人に配慮して交通機関や道路を整備する」で50歳代が15.7%と、他の年齢層より低くなっている。また、「地域や社会の人々が障害のある人を受け入れるように広報や福祉教育を充実する」で30歳代・40歳代・50歳代・60歳代が38.3%・38.8%・41.7%・42.9%と、他の年齢層より高くなっている。

【居住地域別】「障害のある人でも使いやすい施設を整備する」で旧大洋村が39.0%と、他の地域より低くなっている。

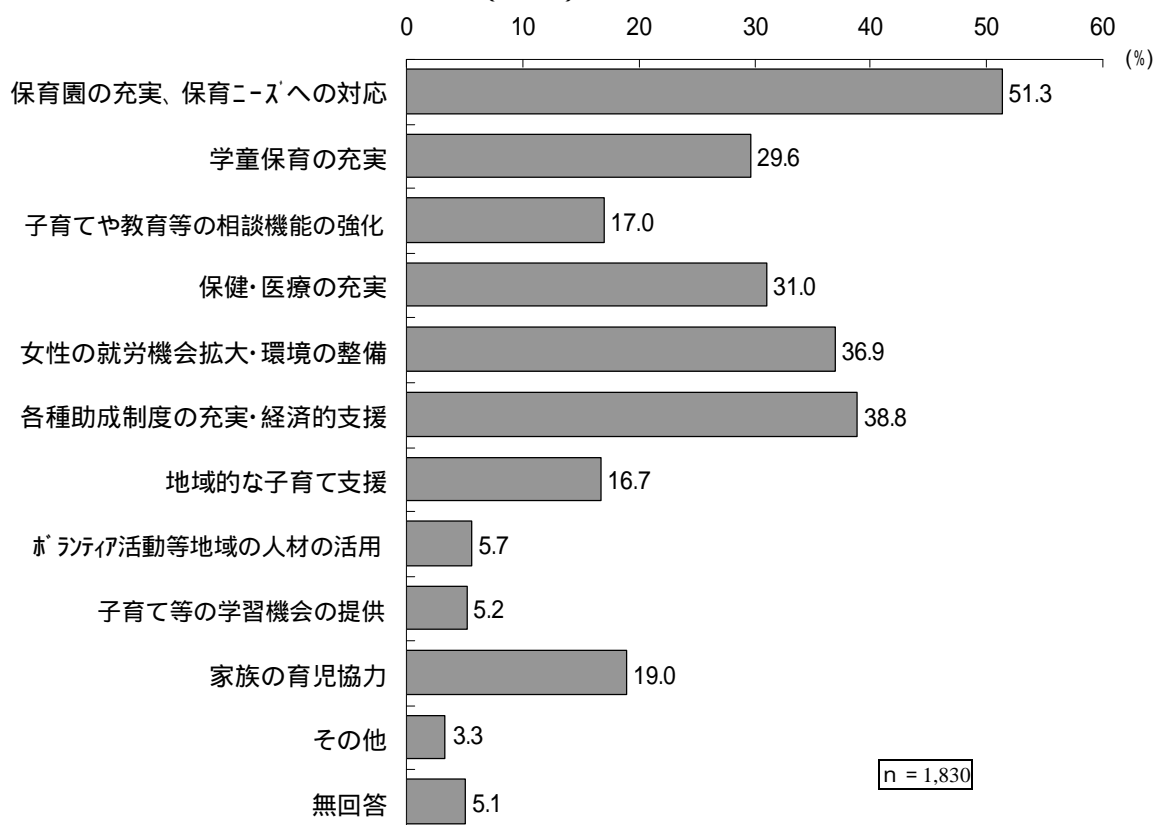
(21) 少子化対策で重要なこと

半数を超える人が「保育園の充実や多様な保育ニーズへの対応」をあげた。続いて「各種助成制度の充実等の経済的支援」、「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」、「保健・医療の充実」、「学童保育の充実」など。

問 2 8 今後の少子化社会に対応するためには何が重要だとお考えですか。次の中から該当するものを3つ以内で選んでください。【 は3つまで】

1	保育園の充実や多様な保育ニーズ（一時保育や延長保育など）への対応	51.3	%
2	学童保育の充実	29.6	
3	子育てや教育などの相談機能の強化	17.0	
4	保健・医療の充実	31.0	
5	女性の就労機会の拡大や就労環境の整備	36.9	
6	各種助成制度の充実等の経済的支援	38.8	
7	地域的な子育て支援（情報の提供や高齢者、異年齢者との交流など）	16.7	
8	ボランティア活動など地域の人材の活用・育成	5.7	
9	子育て等の学習機会の提供	5.2	
10	家族の育児協力	19.0	
11	その他	3.3	
	無回答	5.1	
			[n = 1,830]

< 図表 5 - 33 > 少子化対策で重要なこと（全体）



【全体】少子化対策で重要なことについては、「保育園の充実や多様な保育ニーズへの対応」が51.3%で最も高くなっている。その他「各種助成制度の充実等の経済的支援」(38.8%)、「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」(36.9%)、「保健・医療の充実」(31.0%)、「学童保育の充実」(29.6%)と続いている。

< 図表 5 - 34 > 少子化対策で重要なこと (全体・性別・年齢別・居住地域別)

		合計 (n)	保育園の充実、 保育ニーズへの対応	学童保育の充実	子育てや教育等の 相談機能の強化	保健・医療の充実	女性の就労機会 拡大・環境の整備	各種助成制度の 充実・経済的支援	地域的な子育て 支援	ボランティア 活動等地域の 活用	子育て等の学 習機会の提供	家族の育児 協力	その他	無回答
全体		1830	51.3	29.6	17.0	31.0	36.9	38.8	16.7	5.7	5.2	19.0	3.3	5.1
性別	男性	858	50.2	28.2	20.9	29.3	34.5	43.0	18.6	6.5	6.4	18.5	3.6	2.3
	女性	916	55.1	32.8	14.4	34.3	41.2	37.0	15.8	5.2	4.3	20.5	3.3	2.3
年齢別	10歳代	50	42.0	34.0	36.0	30.0	30.0	26.0	28.0	4.0	8.0	28.0	2.0	0.0
	20歳代	253	57.7	25.7	19.0	33.2	40.3	42.7	17.4	4.0	4.3	21.3	1.6	0.8
	30歳代	269	58.0	31.6	10.0	39.4	40.9	46.5	12.6	5.9	3.0	14.1	3.0	1.1
	40歳代	343	49.3	32.4	16.3	33.2	35.9	39.7	16.3	4.1	4.7	18.7	5.5	2.9
	50歳代	511	52.3	29.4	16.0	28.4	38.9	40.1	18.2	5.7	6.7	20.7	3.1	2.0
	60歳代	240	50.8	34.6	21.3	26.7	38.3	34.2	19.2	9.2	5.8	19.6	4.6	4.2
	70歳以上	111	50.5	27.9	25.2	33.3	29.7	36.9	16.2	9.9	6.3	20.7	1.8	8.1
居住地域別	旧旭村	425	51.1	28.2	16.2	33.2	35.1	39.3	15.3	4.7	5.9	19.1	3.5	4.2
	旧鉾田町	994	51.9	30.9	16.8	31.2	37.6	41.0	17.4	5.6	5.2	18.8	3.5	4.4
	旧大洋村	387	50.9	28.4	19.1	29.2	37.7	33.1	16.0	7.2	4.7	19.1	2.8	6.7

【性別】「子育てや教育などの相談機能の強化」で男性が20.9%と、女性より6.5ポイント高くなっている。同じように「各種助成制度の充実等の経済的支援」で男性が43.0%と、女性より6.0ポイント高くなっている。一方、「女性の就労機会の拡大や就労環境の整備」で女性が41.2%と、男性より6.7ポイント高くなっている。

【年齢別】「保育園の充実や多様な保育ニーズへの対応」で20歳代・30歳代が57.7%・58.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「子育てや教育などの相談機能の強化」で30歳代が10.0%と、他の年齢層より低くなっている。

【居住地域別】「各種助成制度の充実等の経済的支援」で旧大洋村が33.1%と、他の地域より低くなっている。

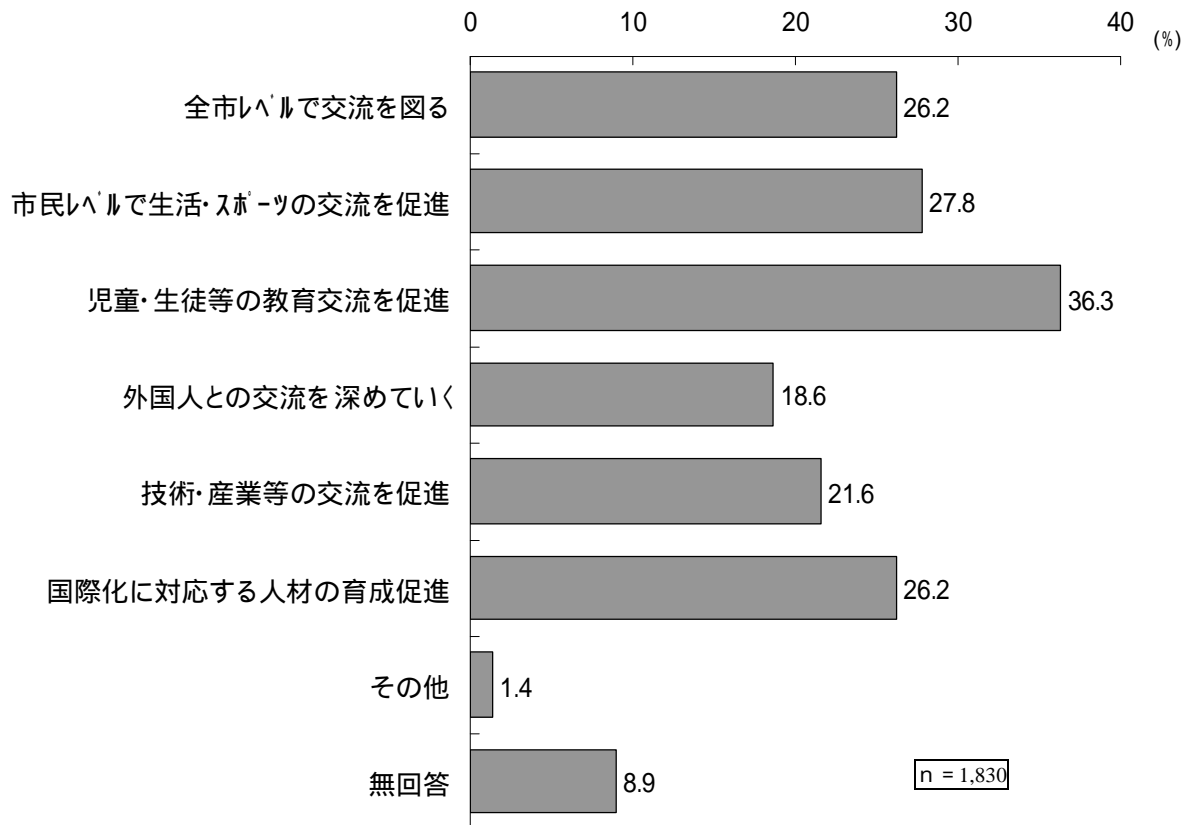
(22) 国際交流の促進方法

「児童・生徒などの教育交流を促進する」が36.3%と高く、続いて「市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する」、「海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る」、「国際化に対応するための人材の育成を促進する」など。

問29 あなたは、国際化社会に対応して本市の国際交流をどのように促進するのが望ましいとお考えですか。次の中から該当するものを2つ以内で選んでください。【は2つまで】

1 海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る	26.2 %
2 市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する	27.8
3 児童・生徒などの教育交流を促進する	36.3
4 外国人との交流を深めていく	18.6
5 技術・産業・物産面などの交流を促進する	21.6
6 国際化に対応するための人材の育成を促進する	26.2
7 その他	1.4
無回答	8.9 [n = 1,830]

< 図表5 - 35 > 国際交流の促進方法（全体）



【全体】国際交流の促進方法については、「児童・生徒などの教育交流を促進する」が 36.3%と最も高くなっている。その他「市民レベルでの生活・文化・スポーツの交流を促進する」(27.8%)、「海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る」、「国際化に対応するための人材の育成を促進する」(26.2%)と続いている。

< 図表 5 - 36 > 国際交流の促進方法（全体・性別・年齢別・居住地域別）

		合計 (n)	全市 レベル で交 流を 図る	ポ ー 市 民 レ ッ の ベ ル で 生 活 ・ ス	を 児 童 ・ 生 徒 等 の 教 育 交 流	い 外 国 人 と の 交 流 を 深 め て	進 技 術 ・ 産 業 等 の 交 流 を 促	育 国 際 化 に 対 応 す る 人 材 の	そ の 他	無 回 答
全体		1830	26.2	27.8	36.3	18.6	21.6	26.2	1.4	8.9
性別	男性	858	30.3	27.7	31.0	20.9	24.2	28.3	1.7	6.3
	女性	916	23.9	29.5	43.0	17.5	20.2	25.8	1.2	6.3
年齢別	10歳代	50	32.0	28.0	28.0	40.0	20.0	18.0	0.0	6.0
	20歳代	253	30.4	30.0	38.7	19.4	21.3	20.2	1.6	3.6
	30歳代	269	27.9	26.8	44.2	19.7	19.7	23.0	1.1	4.8
	40歳代	343	25.7	30.0	36.7	21.9	19.5	25.4	2.0	4.7
	50歳代	511	25.6	29.4	35.4	18.0	25.4	29.7	1.4	5.5
	60歳代	240	27.1	26.7	37.5	14.6	23.8	34.2	1.7	9.2
	70歳以上	111	25.2	26.1	30.6	13.5	21.6	33.3	0.9	18.9
居住地域別	旧旭村	425	26.8	26.4	33.4	16.9	24.5	28.5	2.1	9.2
	旧鉾田町	994	26.7	27.9	38.0	20.5	20.9	25.2	1.0	7.4
	旧大洋村	387	25.1	30.0	35.9	15.2	20.9	27.1	1.3	11.4

【性別】「海外の都市と姉妹都市提携を結ぶなど全市レベルで交流を図る」で男性が 30.3%と、女性より 6.4 ポイント高くなっている。一方、「児童・生徒などの教育交流を促進する」で女性が 43.0%と、男性より 12.0 ポイント高くなっている。

【年齢別】「外国人との交流を深めていく」で 10 歳代が 40.0%と、他の年齢層より高くなっている。また、「児童・生徒などの教育交流を促進する」で 30 歳代が 44.2%と、他の年齢層よりわずかに高くなっている。

【居住地域別】居住地域別による大きな差異はみられない。

6 自由回答について

問37 市政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので、お書きください。

市政に関する意見・要望として、694人からの回答が寄せられた。ここでは、その回答文中の主な意見・要望の集計を試みた。その結果は次のとおりである。

	意見・要望の種類	意見・要望の数
1	道路・歩道の整備	70
2	経費削減、効率的な予算執行	55
3	防犯対策（街灯の設置、パトロールの実施等）	40
4	市職員の意識向上	36
4	上下水道整備	36
6	市議会議員定数削減	33
7	バス網の整備	23
8	大規模ショッピングセンターの誘致	21
9	公園整備	18
10	医療体制の充実	17
11	商店街の活性化	16
12	旧3町村のバランスをとった発展、調和	15
13	悪臭対策	13
14	災害放送、時報、お知らせメールの改善	12
14	児童手当の拡充	12
16	減税	10
16	文化センターの建設	10
18	広報各戸配布の徹底	9
19	市役所窓口の土曜日・日曜日・祝日の受付け	8
20	企業・工場の誘致	7